

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

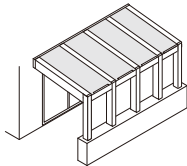
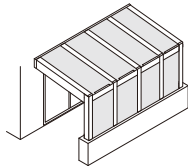
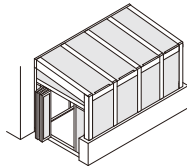
※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※タイプによって参照する取付説明書が異なります。下記を参照した後に施工を行なってください。

タイプ	オープンテラスタイプ 	サイドスルータイプ 	ガーデンルームタイプ 
略図			
参照 取付説明書	  【施工終了】	    【施工終了】	

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
＜電気配線工事について＞

⚠ 警告

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実にこなってください。
- 本製品には専用のトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。AC100Vと直接接続しないでください。
- 電線の接続は有資格者がこなってください。

＜施工の前に＞

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 屋根材へ接触する部品へシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、竪樋に排水路ヒーター等を取付けるか、排水位置を高い位置に変更してください。
- 入隅の場合は、「φ4.5×63丸木ネジ」を現場で手配してください。
- 本製品は躯体に設置してください。ただし躯体に設置せず独立して施工する場合は「施工補助部材」を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

🔑 ポイント

- スプレー式シリコン系潤滑剤は部品箱に同梱のもの、または現場手配してください。またアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- 必要に応じて、「呼びφ40排水パイプ」、「コンクリートブロック（腰壁タイプの場合）」、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。
- 照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
- 照明を取付ける際に電源スイッチが必要な場合は現場で手配してください。

ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- ココマIIはタイプ（仕様）によって専用の手順が存在します。
本書では、タイプ（仕様）専用の手順を下記の記号で記載していますので施工を行なう前に必ず確認してください。

《記号の意味》

タイプ		： ガーデンルームタイプ	床		： デッキ仕様
		： サイドスルータイプ			： 土間仕様
		： オープンテラスタイプ			
腰壁		： 前面腰壁	土間		： 床既設置仕様
		： L字腰壁			： ベース材仕様（後土間仕上げ）
			地域		： 一般地域仕様
					： 積雪地域仕様

《手順内記載例》

例 1：

タイプ	腰壁	床	土間	地域
				

※上記は、『基本ガーデンルームタイプでデッキ仕様』専用の施工手順を示しています。
それ以外の「腰壁」「土間」については種類を問いません。

例 2：

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

※上記は、全タイプで施工が必要な場合に記載しています。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）
 - ・φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑 ポイント

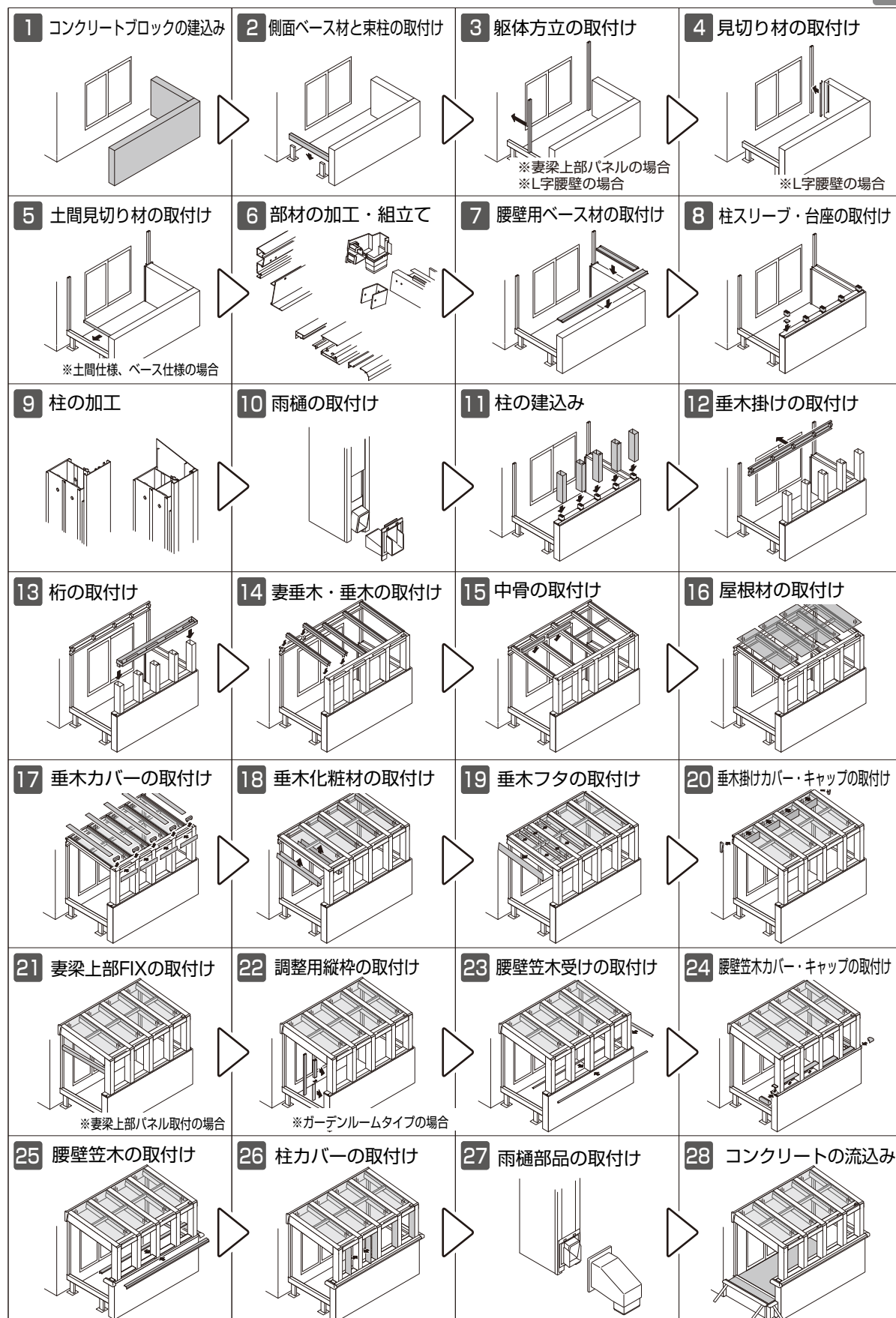
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

INDEX

1	施工工程一覧	6	12	腰壁部の施工	72
2	各部の名称	8	1	部材の加工	72
1	前面腰壁	8	2	腰壁用ベース材の取付け	76
2	L字腰壁	9	13	フレーム部の施工	78
3	施工前の重要確認事項	10	1	柱スリーブの取付け	78
1	本製品の施工について	10	2	柱の組立て	79
4	梱包明細表	19	3	雨樋の取付け	80
5	基本寸法	37	4	柱の建込み	82
1	ガーデンルームタイプ	37	5	入隅の場合	83
2	サイドスルータイプ	39	6	垂木掛けの取付け	84
3	オープンテラスタイプ	41	7	桁の取付け	87
4	L字腰壁タイプ	43	8	妻垂木・垂木の取付け	88
6	断面納まり図	44	9	中骨の取付け	89
1	ガーデンルームタイプ	44	10	屋根材の取付け	90
2	オープンテラスタイプ、サイドスルータイプ	48	11	垂木カバーの取付け	91
7	柱の位置出し	52	12	テラス用上枠の取付け	96
8	施工前の準備	53	13	垂木化粧材の取付け	97
1	水盛遣方・水糸張り	53	14	垂木フタの取付け	102
2	配線工事 オプション	54	15	垂木掛けカバーの取付け	103
9	腰壁の施工	56	16	垂木掛けキャップの取付け	104
1	コンクリートブロックの建込み	56	17	妻梁上部FIXの取付け	105
10	位置決め施工	59	14	腰壁部の取付け	110
1	側面ベース材と束柱の取付け	59	1	腰壁調整縦枠の取付け	110
2	躯体方立の取付け	61	2	前面腰壁の場合	112
3	土間見切り材の取付け	66	3	L字腰壁の場合	116
11	部材の組立て	68	4	柱カバーの取付け	124
1	垂木掛けの組立て	68	5	雨樋受け部品の取付け	125
2	桁の組立て	70	6	雪下ろし指示シールの貼付け	126
			7	コンクリートの流し込み	126
			8	コンクリートブロックの表面仕上げ	127
			9	施工の後に	127

1 施工工程一覧

腰壁ガーデンルームタイプ、腰壁サイドスルータイプ



腰壁オープンテラスタイプ

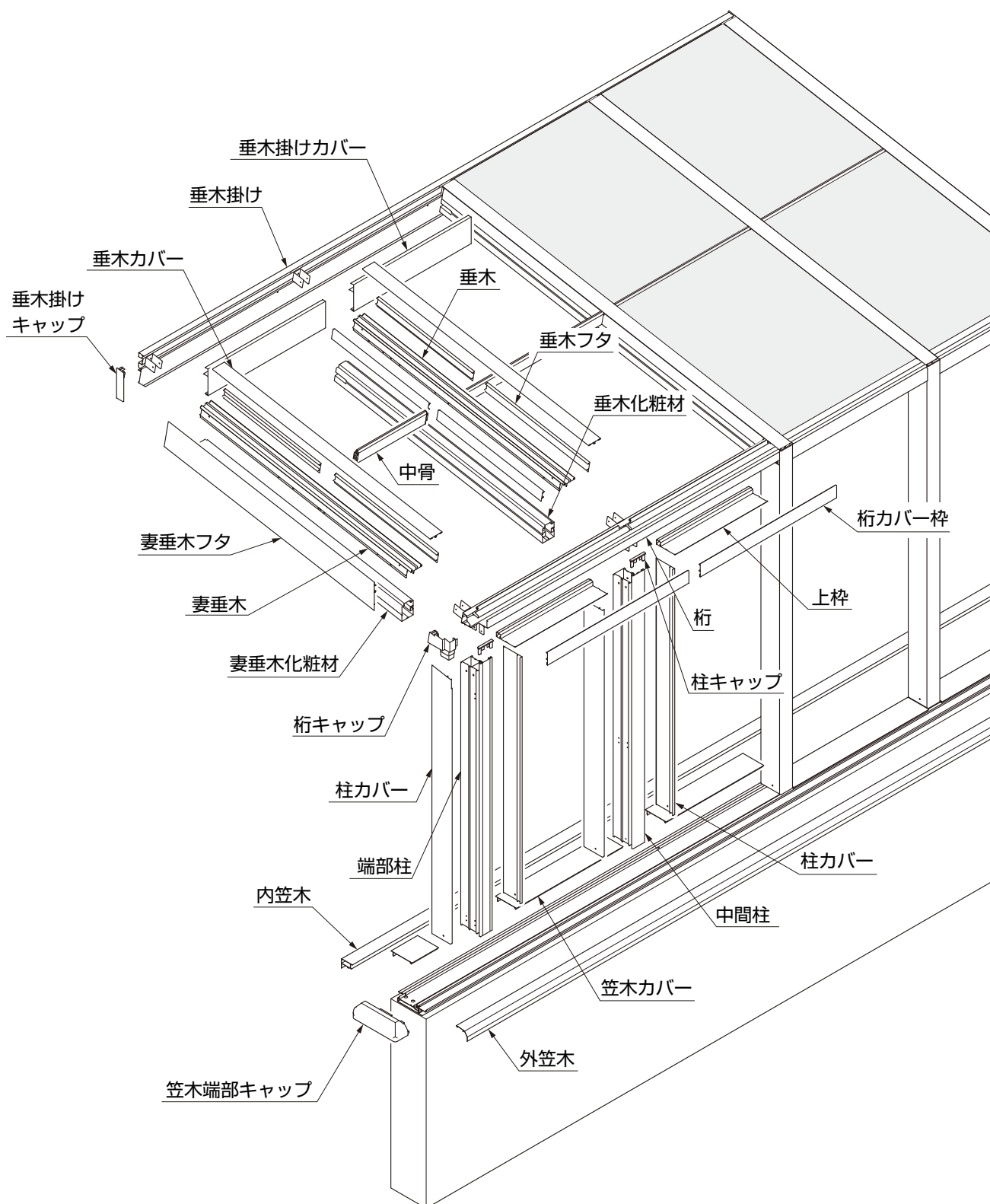


1 コンクリートブロックの建込み 	2 躯体方立の取付け ※妻梁上部パネルの場合 ※L字腰壁の場合 	3 見切り材の取付け ※L字腰壁の場合 	4 部材の加工・組立て
5 腰壁用ベース材の取付け 	6 柱スリーブ・台座の取付け 	7 柱の加工 	8 雨樋の取付け
9 柱の建込み 	10 垂木掛けの取付け 	11 桁の取付け 	12 妻垂木・垂木の取付け
13 中骨の取付け 	14 屋根材の取付け 	15 垂木カバーの取付け 	16 テラス用上枠の取付け
17 垂木化粧材の取付け 	18 垂木フタの取付け 	19 垂木掛けカバーの取付け 	20 垂木掛けキャップの取付け
21 妻梁上部FIXの取付け ※妻梁上部パネル取付の場合 	22 腰壁笠木受けの取付け 	23 腰壁笠木カバー・キャップの取付け 	24 腰壁笠木の取付け
25 柱カバーの取付け 	26 雨樋部品の取付け 	27 コンクリートの流込み 	



2 各部の名称

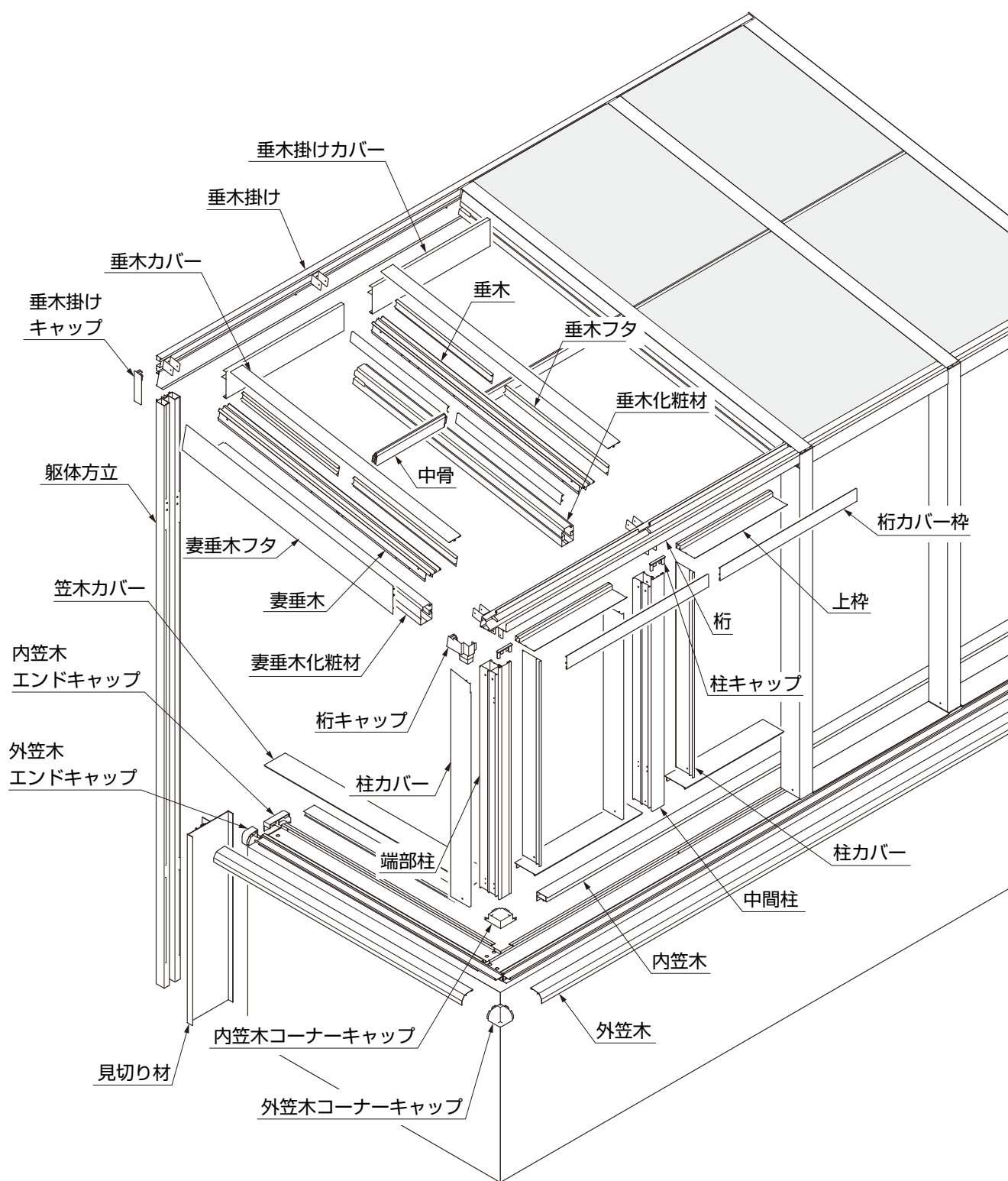
1. 前面腰壁



2.L字腰壁

2

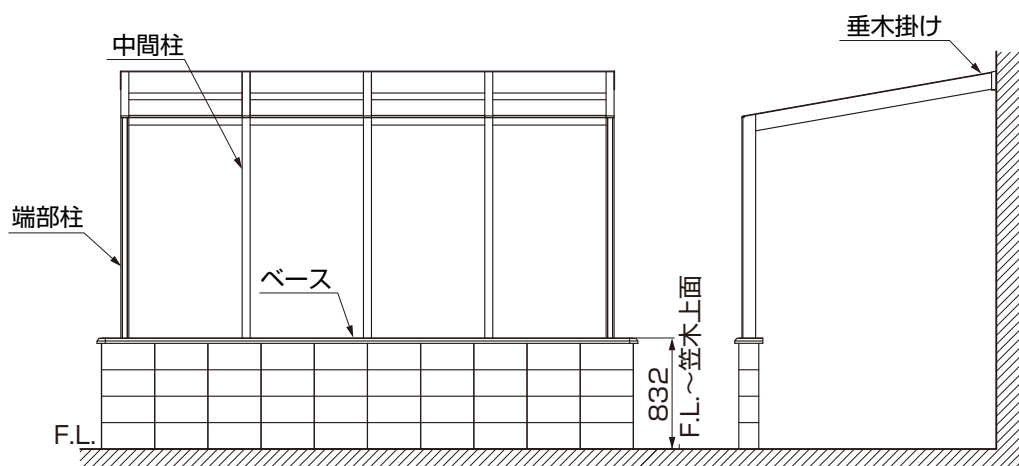
各部の名称



3 施工前の重要確認事項

1. 本製品の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

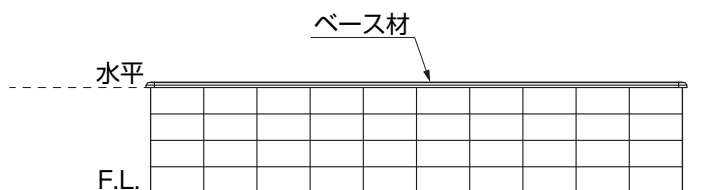
1-1 柱、垂木掛けの取付け



ポイント

- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。
- 連棟の場合は、ブロックのはね出しは寸法は左右で異なります。

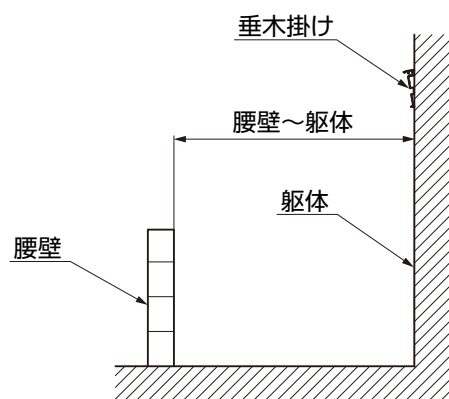
1-2 ベースの取付け



ポイント

- ベースは水平になるように取付けてください。

1-3 腰壁の施工

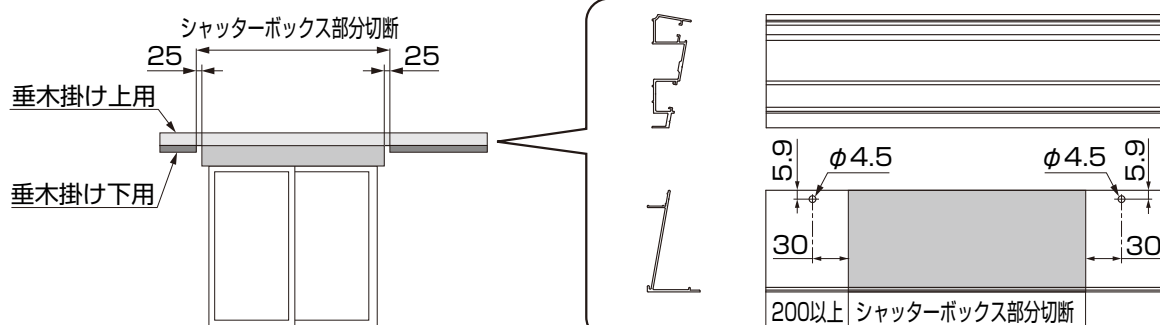


ポイント

- 腰壁を施工する場合は、躯体（垂木掛け取付け面）との距離に注意して施工してください。
※腰壁から躯体までの距離が±5mm程度なら位置調整が可能です。

1-4 垂木掛けの分割利用について

※垂木掛け打付け面の障害物（シャッターボックスなど）を避けて設置する方法です。

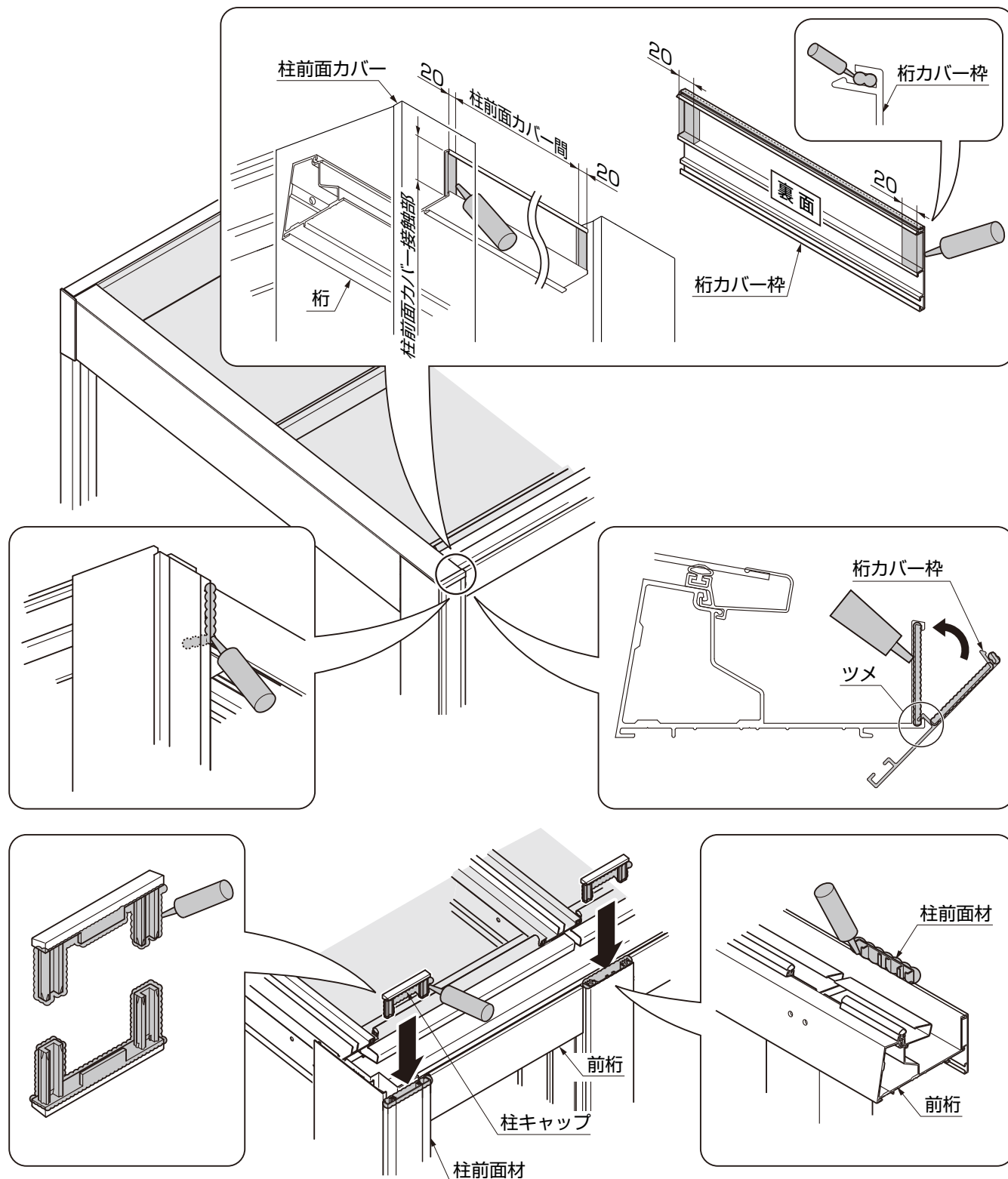


ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け下用は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け下用が必要です。

1. (つづき)

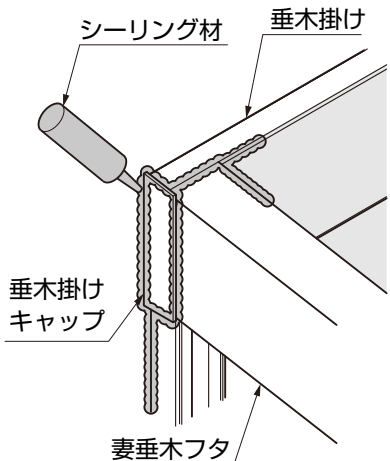
1-5 シーリング処理



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1-5



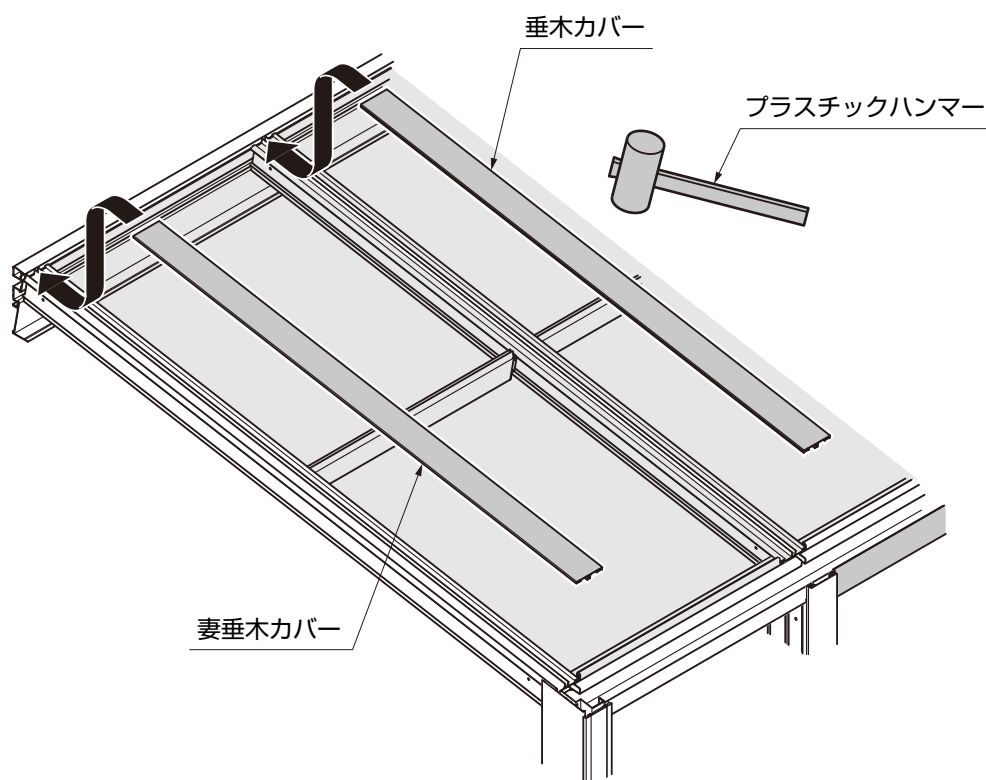
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1-6 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	シーリング箇所
P.61	2.躯体方立の取付	φ5躯体穴、外壁と躯体方立
P.64	2.躯体方立の取付	φ5躯体穴、外壁と躯体方立、見切り材、内面ふさぎ材
P.70	2.桁の組立て	桁キャップ端部
P.71	2-2 連棟の場合 (2)桁の連結	連結用桁キャップ
P.77	2.腰壁用ベース材の取付け	ベース固定ナット部、ベース連結部、ベース入隅部
P.78	1.柱スリーブの取付け	ベース・隙間塞ぎ材部
P.83	5.入隅の場合	外壁と端部柱
P.84	6-1 垂木掛けの取付け	垂木掛け・躯体接触部、躯体穴部、パネル飲み込み部
P.86	6-2 連棟、垂木照明、入隅の場合 (1)連棟の場合	垂木掛け連結部
P.87	7.桁の取付け	桁キャップの縁
P.95	(3)垂木カバーのシーリング	垂木カバーと垂木掛け、躯体の接触部
P.109	17-4 シーリング処理	妻梁上部FIX部
P.114	2-3 腰壁笠木端部キャップの取付け	湿式腰壁ベース材・腰壁間
P.116	3.L字腰壁の場合、3-1 笠木受け材の取付け	腰壁ベース・躯体方立及び端部柱間
P.121	3.L字腰壁の場合、3-3 キャップ類の取付け	湿式腰壁ベース材・腰壁間

1-7 垂木カバーの取付け

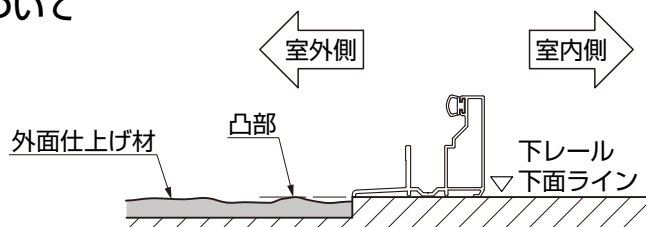


ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。
- 垂木カバー、妻垂木カバーは垂木掛けに突当てて取付けてください。

1-8 下レールの取付け ※図は折戸用です。引戸、クリアウォール、カスタムウォールの場合も同様です。 ※ガーデンルームタイプの場合は作業です。

(1) 外面仕上げについて



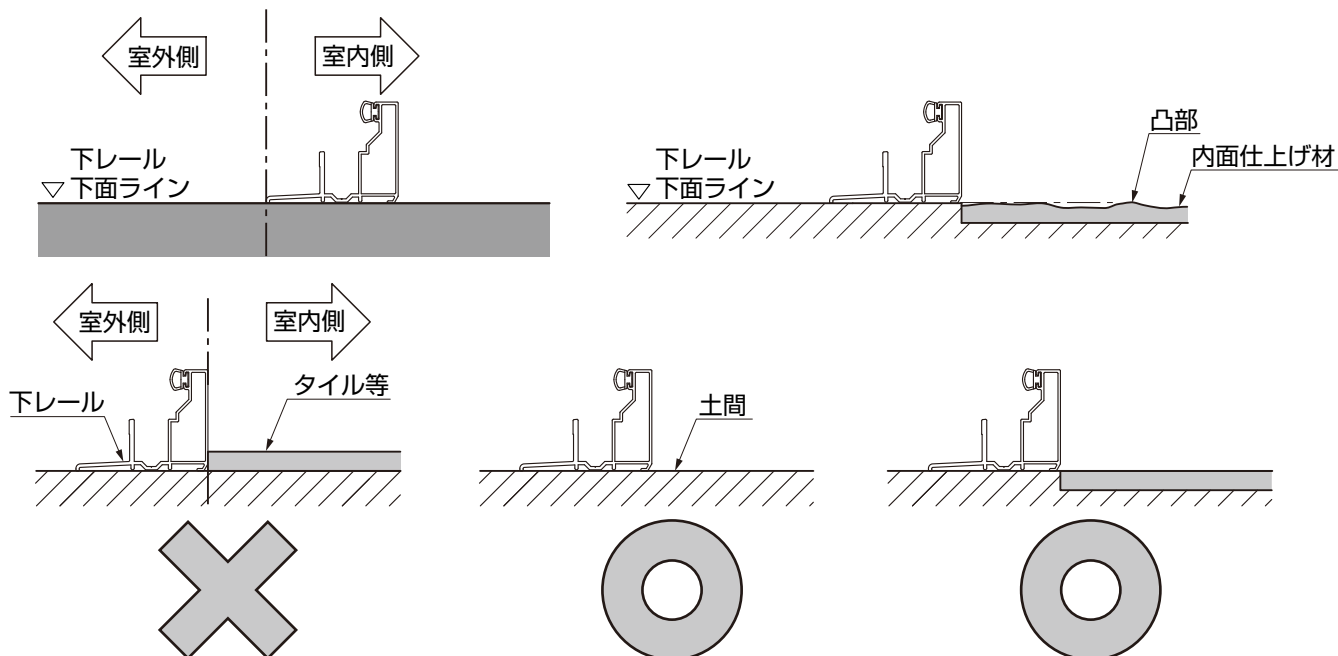
① 室外側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室外側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、下レールにたまった水やゴミをコーナー部から掃き出せなく場合があります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室外側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

(2) フラット施工の内面仕上げについて

[] : 土間 (タイル等含む)
デッキの仕上げ範囲



① 室内側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

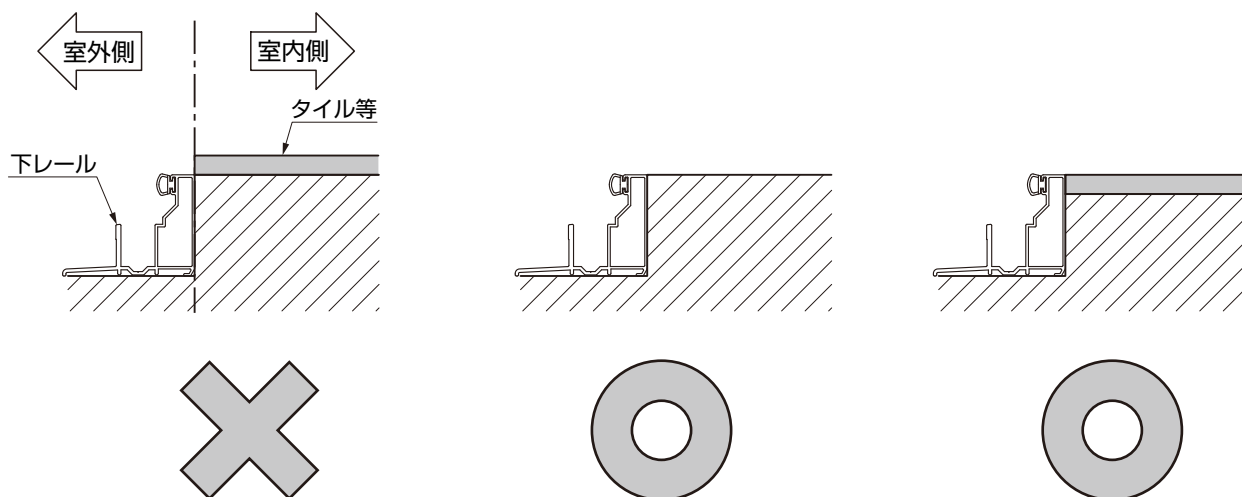
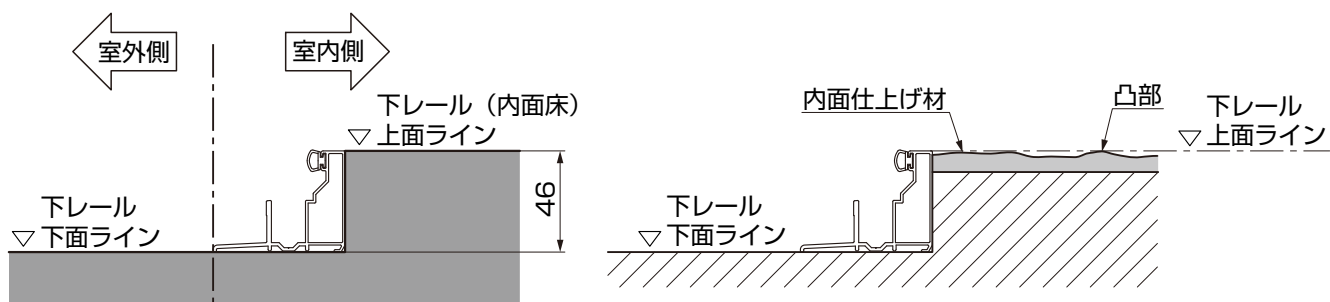
- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

1. (つづき)

1-8 (つづき)

(3) 内面立上げ施工の内面仕上げについて

■ : 土間 (タイル等含む)
デッキの仕上げ範囲



①室内側を下レール上面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は ■ の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール上面 (内面床高さ) より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール上面より高くならないように仕上げてください。

1-9 土間仕上り寸法 ※ガーデンルームタイプの作業です

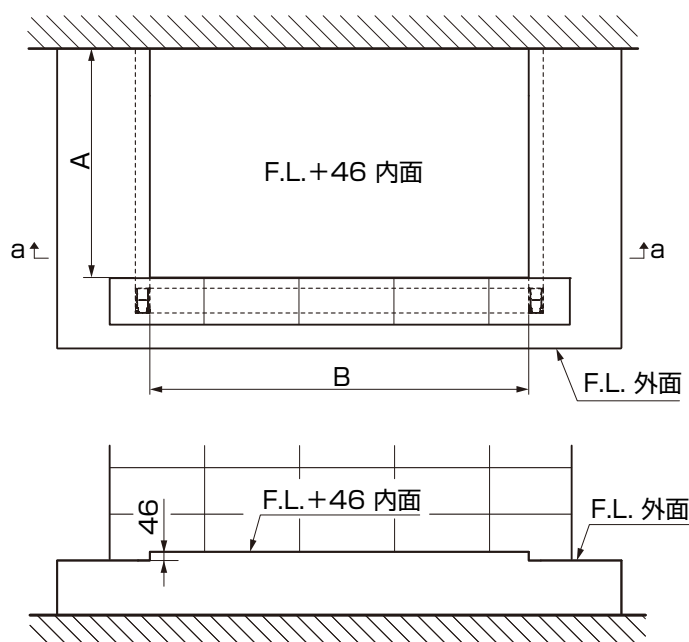


図1-1 引戸の場合

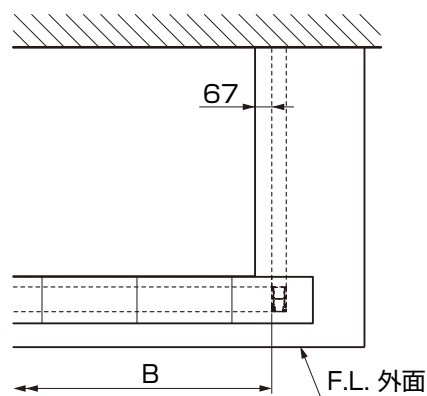


図1-2 L字腰壁の場合

	A
4尺	1181
6尺	1781
8尺	2381
10尺	2981

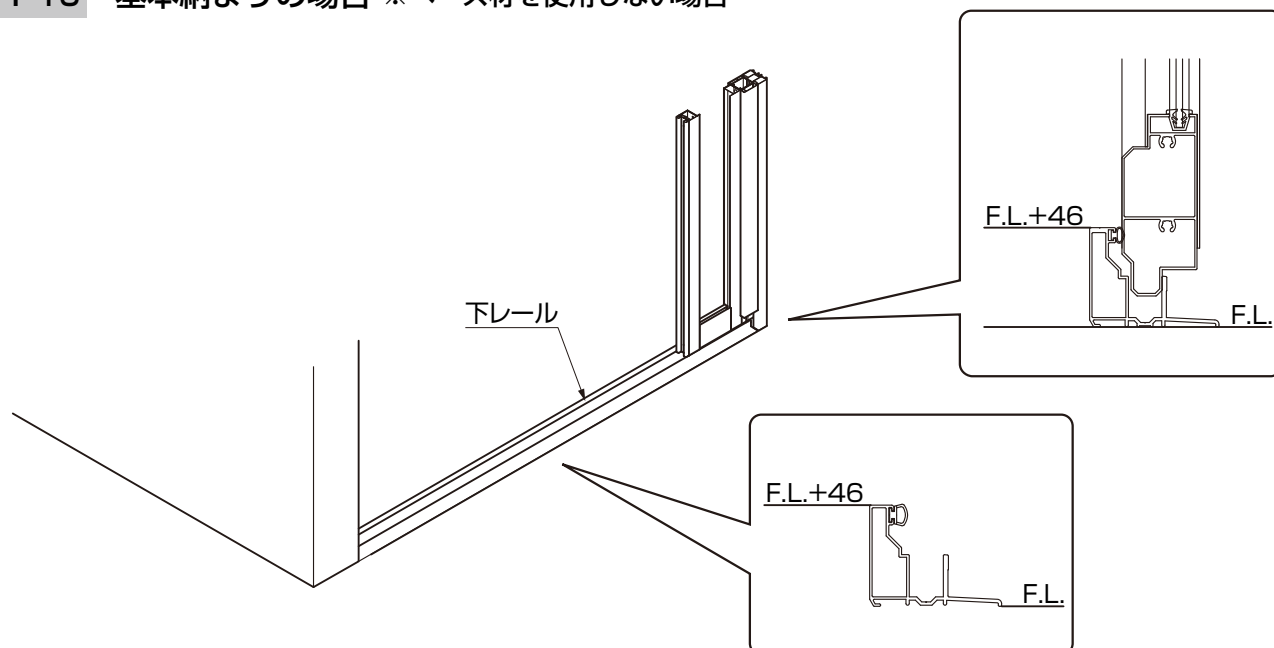
	B		B		B		B
1.0間	1760	2.5間	4490	4.0間	7220	5.5間	9950
1.5間	2670	3.0間	5400	4.5間	8130	6.0間	10860
2.0間	3580	3.5間	6310	5.0間	9040		

	C
4尺	—
6尺	1427
8尺	1777
10尺	1777

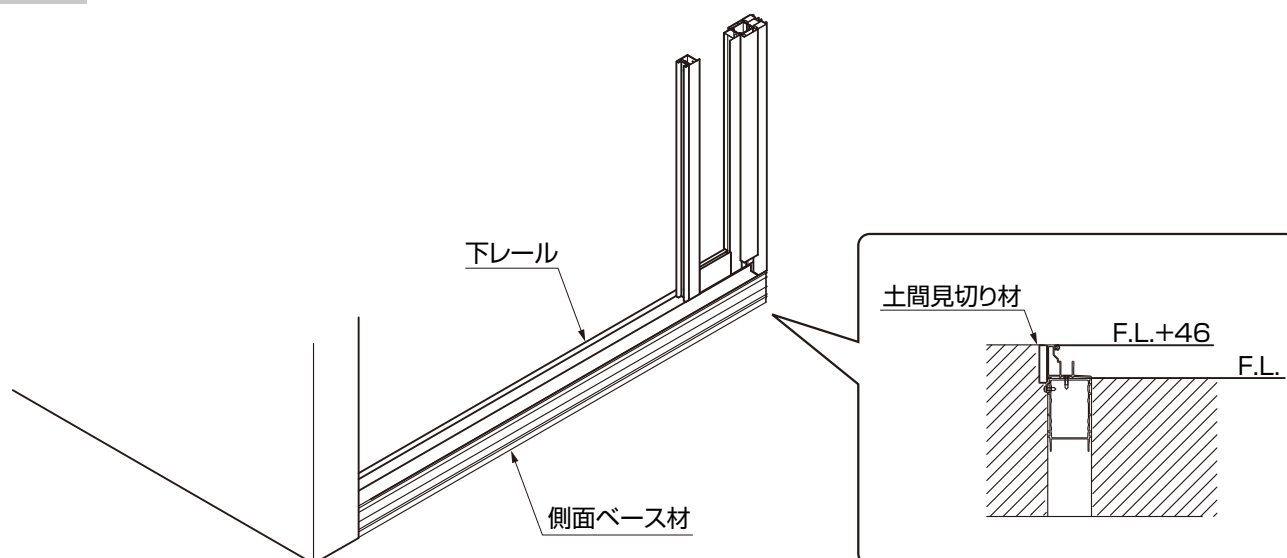
※表のB寸法は折戸の場合（土間見切り材：片側12mmを含む）です。
引戸の場合は片側面あたり31mm、L字腰壁の場合は片側面あたり
67mm 上記B寸法より引いてください。

1. (つづき)

1-10 基本納まりの場合 ※ベース材を使用しない場合



1-11 ベース仕様の場合 ※ベース材を使用する場合



1-12 オプションを取付ける場合

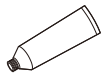
ポイント

● ココマⅡ 本体と合わせてオプション品を取付ける場合、本体のカバー材などを取付ける前にオプション品を取付けた方が良い場合があります。本取付説明書において、オプション品取付けに影響するページを右表に挙げていますので、該当するオプションの取付説明書も合わせて確認し、取付けてください。

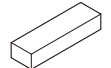
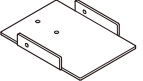
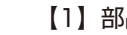
対象オプション	本取付説明書内に影響する手順	
	ページ	手 順
E377 ロールスクリーン	P.102	14. 垂木フタの取付け
E376 ローマンシェード		
E269 内部日除け	P.103	15. 垂木掛けカバーの取付け
E389 前面スクリーン	P.124	4. 柱カバーの取付け
E378 カウンターテーブル	P.127	8. コンクリートブロックの表面仕上げ

4 梱包明細表

【1】 部品箱セット（湿式腰壁-ガーデンルームタイプ・サイドスルータイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
シリコンスプレー		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
セッティングブロック（H10）		4	6	8	10	12
セッティングブロック（H20）		—	2	4	6	8
セッティングブロック（H2）		4	4	4	4	4
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
柱キャップ		3	4	5	6	7

【1】 部品箱セット（湿式腰壁-ガーデンルームタイプ・サイドスルータイプ用） つづき

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
柱-桁取付金具		4	6	8	10	12
スペーサー（1mm）		5	10	15	20	25
腰壁ベース材隙間塞ぎA		4	4	4	4	4
笠木端部キャップ補強部品		2	2	2	2	2
腰壁ブロック防水テープ		1	1	1	2	2
MDペンダントライト電気工事説明書<R011>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ取扱説明書<UE091>	—	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧（湿式腰壁）説明書<E392>	—	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧（開口編）説明書<E393>	—	1	1	1	1	1
開口編 取付説明書<E370>	—	1	1	1	1	1
湿式腰壁編 取付説明書<E372>	—	1	1	1	1	1
湿式腰壁編用 納まり別 参照ページ一覧<E408>	—	1	1	1	1	1
開口編用 納まり別 参照ページ一覧<E407>	—	1	1	1	1	1
【1-1】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		105	146	186	225	264
【1-2】φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-3】φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-4】φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2
【1-5】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		17	21	26	30	34
【1-6】φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-7】φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 座金組込PW+樹脂パッキン		59	79	99	118	138
【1-8】M6平座金		20	23	25	27	29
【1-9】φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		6	8	10	12	14
【1-10】M8×50打ち込みアンカー（M8用座付ナット付き）		6	8	10	12	15

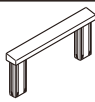
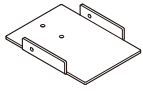
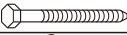
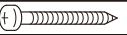
【1】 部品箱セット（湿式腰壁-オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
接着剤		1	1	1	1	1

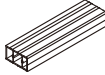
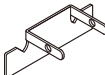
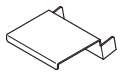
【1】 部品箱セット（湿式腰壁-オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1

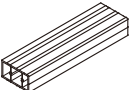
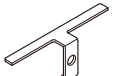
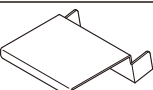
【1】 部品箱セット（湿式腰壁-オープンテラスタイプ用） つづき

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱-桁取付金具		4	6	8	10	12
スペーサー（1mm）		5	10	15	20	25
腰壁ベース材隙間塞ぎA		4	4	4	4	4
笠木端部キャップ補強部品		2	2	2	2	2
腰壁ブロック防水テープ		1	1	1	2	2
ココマⅡ取扱説明書<UE091>	—	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧（湿式腰壁）説明書<E392>	—	1	1	1	1	1
湿式腰壁編 取付説明書<E372>	—	1	1	1	1	1
湿式腰壁編用 納まり別 参照ページ一覧<E408>	—	1	1	1	1	1
【1-1】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		105	146	186	225	264
【1-2】φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-3】φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-4】φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2
【1-5】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		17	21	26	30	34
【1-6】φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-7】φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 座金組込PW+樹脂パッキン		59	79	99	118	138
【1-8】M6平座金		20	23	25	27	29
【1-9】φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		6	8	10	12	14
【1-10】M8×50打ち込みアンカー（M8用座付ナット付き）		6	8	10	12	15

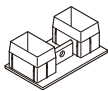
【1】 部品箱セット (3000用 積雪タイプ-ガーデンルームタイプ・サイドスルータイプ用)

名 称	略 図	員 数					名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間			1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2	柱スリーブベース金具		3	4	5	6	7
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5	【1-1】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		52	78	104	132	158
サブ垂木化粧材 端部キャップ		2	3	4	5	6	【1-5】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		20	30	40	50	60
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6	【1-6】 φ5×12 トラスタッピンネジ3種 D=10		8	13	17	22	26
垂木取付金具		4	6	8	10	12	【1-7】 φ4×12トラスタッピン ネジ2種 D=8 座金組込PW+樹脂パッキン		33	49	66	82	99
垂木掛けカバー (サブ垂木化粧材下)		2	3	4	5	6	【1-11】 φ4×8 トラスタッピンネジ3種 D=8		2	3	4	5	6
							【1-12】 φ5×75 ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
							【1-13】 φ5×50 ナベタッピンネジ1種 D=9		6	8	10	12	14

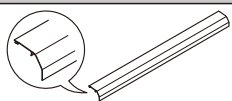
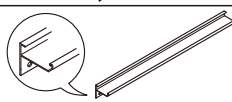
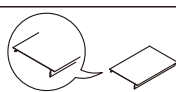
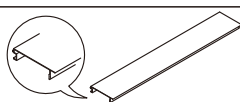
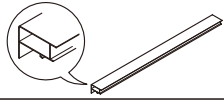
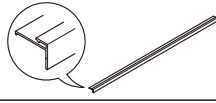
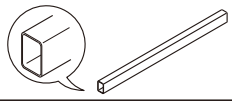
【1】 部品箱セット (3000用 積雪タイプ-オープンテラスタイプ用)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
サブ垂木化粧材端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木取付金具		4	6	8	10	12
垂木掛けカバー (サブ垂木化粧材下)		2	3	4	5	6
【1-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		52	78	104	132	158
【1-5】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		14	22	29	38	45
【1-6】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8	13	17	22	26
【1-7】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 座金組込PW+樹脂パッキン		33	49	66	82	99
【1-11】 φ4×8トラスタッピンネジ3種 D=8		2	3	4	5	6
【1-12】 φ5×75ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13

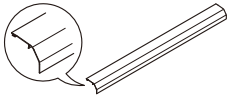
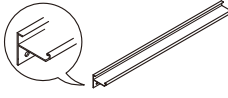
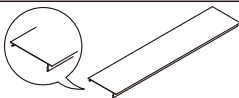
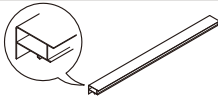
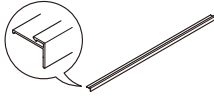
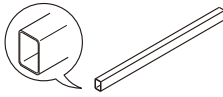
【1】 部品箱セット (L字湿式腰壁タイプ用)

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
見切り材固定板		2	2	2	2
内面ふさぎ材A		1	1	1	1
躯体方立キャップ		1	1	1	1
笠木コーナーキャップ補強部品		1	1	1	1
笠木エンドキャップ補強部品		2	2	2	2
腰壁ブロック防水テープ		1	1	1	1
【1-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		39	51	55	66
【1-5】 φ4×12トラスタッピンネジ3種D=8		3	3	3	3
【1-10】 M8×50打ち込みアンカー (M8用座付ナット付き)		3	5	6	8
【1-14】 M6×35六角ボルト 並		2	2	2	2
【1-15】 M6六角ナット2種上		4	4	4	4

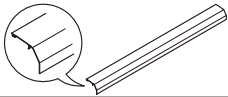
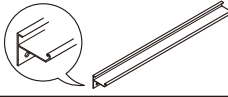
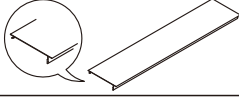
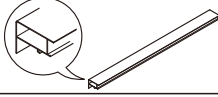
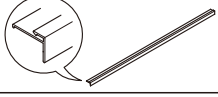
【2】 前面笠木セット (湿式腰壁-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
外笠木		1	1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1	1
笠木カバー (端部用)		2	2	2	2	2
笠木カバー		2	3	4	5	6
内笠木		1	1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1	1
角樋		1	1	1	1	1

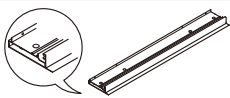
【3】 前面笠木セット（湿式腰壁-オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
外笠木		1	1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1	1
笠木カバー（端部用）		2	2	2	2	2
笠木カバー		2	3	4	5	6
内笠木		1	1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1	1
角樋		1	1	1	1	1

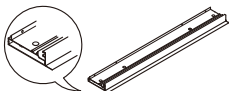
【4】 前面笠木セット（湿式腰壁-屋根なし腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
外笠木		1
外笠木受け		1
笠木カバー		1
内笠木		1
内笠木受け		1

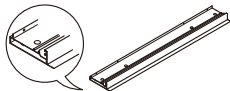
【5】 前面ベース材セット（湿式腰壁-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁ベース材		1	1	1	1	1

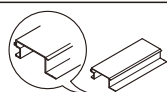
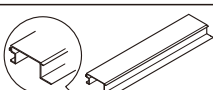
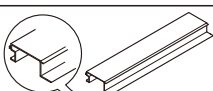
【6】 前面ベース材セット（湿式腰壁-オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁ベース材		1	1	1	1	1

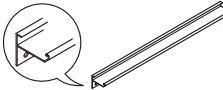
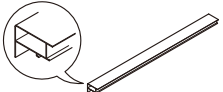
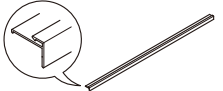
【7】 前面ベース材セット（湿式腰壁-屋根なし腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
		1.0間延長
腰壁ベース材		1

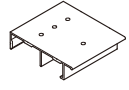
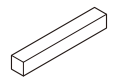
【8】 側面笠木セット（ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
外笠木		1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1
側面笠木カバーA L=224		1	1	1	1
側面笠木カバーA L=269		1	2	—	—
側面笠木カバーA L=469		1	—	2	2
側面笠木カバーA L=749		—	1	—	2
側面笠木カバーA L=949		—	—	1	—
側面笠木カバーB		1	1	1	1
内笠木		1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1

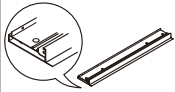
【9】側面笠木セット（サイドスルータイプ・オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
外笠木		1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1
笠木カバー		1	1	1	1
内笠木		1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1

【10】側面ベース材セット（湿式腰壁-ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
腰壁ベース材		1	1	1	1
スリーブ台座		2	3	3	4
セッティングブロック 10×10×70		12	16	16	20

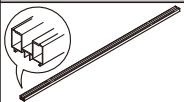
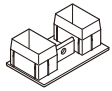
【11】側面ベース材セット（湿式腰壁-サイドスルータイプ・オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
腰壁ベース材		1	1	1	1

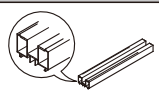
【12】側面デッキベース材セット（基本タイプ用）

名 称	略 図	員 数
側面ベース材		1

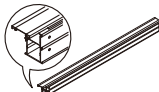
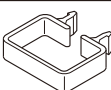
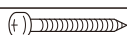
【13】躯体方立セット

名 称	略 図	員 数
躯体方立		1
躯体方立キャップ		1
【13-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種D=8		1

【14】躯体方立セット（延長用）

名 称	略 図	員 数
躯体方立（延長用）		1

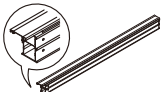
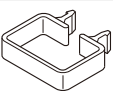
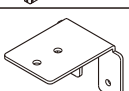
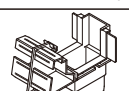
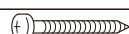
【15】 端部柱セット（オープンテラス腰壁 標準・ロング
腰壁（H20・22・24））

名 称	略 図	員 数
端部柱		1
端部柱端部カバー		1
サドル		1
サドル受け		2
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
角横エルボ		1
角エルボ		1
縦樋		1
【15-1】 30 フィッシャープラグ S6		1
【15-2】 φ4×60ナベタッピンネジ1種		1

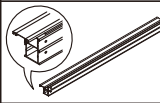
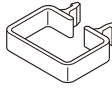
【16】 中間柱セット（オープンテラス腰壁 標準・ロング
腰壁（H20・22・24））

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3

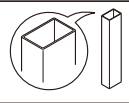
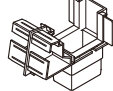
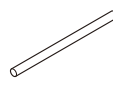
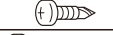
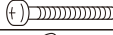
【17】 連棟柱セット（腰壁タイプ（H20・22・24）用）

名 称	略 図	員 数
連棟柱		1
サドル		1
サドル受け		2
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
角横エルボ		1
角エルボ		1
縦樋		1
柱キャップ		1
柱取付金具		2
連棟用桁キャップ		1
【17-1】 30 フィッシャープラグ S6		1
【17-2】 φ4×60ナベタッピンネジ1種 D=7		1
【17-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2
【17-4】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		6
【17-5】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2

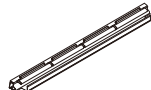
【18】 連棟柱セット（腰壁-オープンテラスタイプ（標準・ロング）用）

名 称	略 図	員 数
連棟柱		1
端部柱スリーブ		1
サドル		1
サドル受け		2
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
角横エルボ		1
角エルボ		1

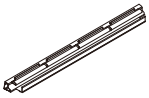
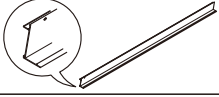
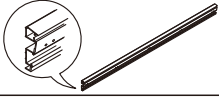
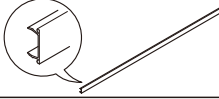
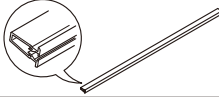
【18】 連棟柱セット（腰壁-オープンテラスタイプ（標準・ロング）用） つづき

名 称	略 図	員 数
縦樋		1
柱キャップ		1
柱取付金具		2
連棟用桁キャップ		1
アンカー棒		1
【18-1】 30 フィッシャープラグ S6		1
【18-2】 φ4×60ナベタッピンネジ1種 D=7		1
【18-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		10
【18-4】 φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		2
【18-5】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		6
【18-6】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2

【19】 桁垂木掛けセット（600・1500タイプ）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		2	3	4	5	6

【20】 桁垂木掛けセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け (下用)		1	1	1	1	1
垂木掛け (上用)		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		4	6	8	10	12

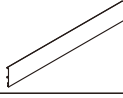
【21】 垂木掛けカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

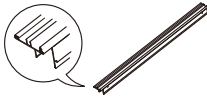
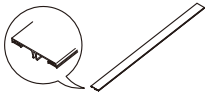
【22】 垂木掛けカバーセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
垂木掛けカバー		4	6

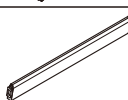
【23】 桁カバー枠セット

名 称	略 図	員 数
桁カバー枠		1

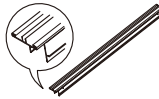
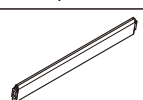
【24】 妻垂木セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
中骨		—	1	1	2
雪下ろし指示シール		1	1	1	1

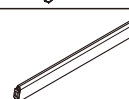
【25】垂木セット

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	1	3	3	3	3
中骨		—	1	1	2	—	3	3	6

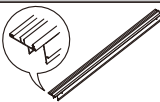
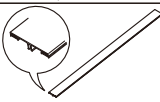
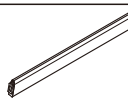
【26】サブ垂木セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
サブ垂木化粧材		1	1	1
中骨		1	2	3
垂木フタ		4	6	8

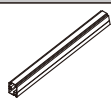
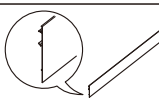
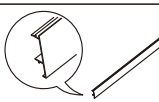
【27】積雪用垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
中骨		1	2	3	3	6	9

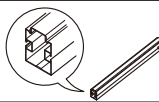
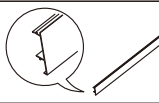
【28】 積雪用妻垂木セット (1500タイプ・3000タイプ)

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1
中骨		1	2	3
雪下ろし指示シール		1	1	1

【29】 妻垂木化粧材セット

名 称	略 図	員 数						
		600タイプ				1500・3000タイプ		
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		2	4	4	6	4	6	8

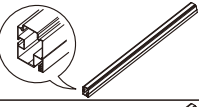
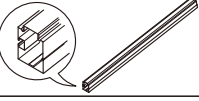
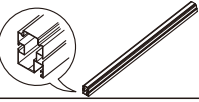
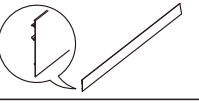
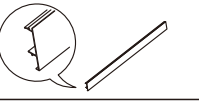
【30】 垂木化粧材セット (600タイプ)

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木化粧材		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木フタ		2	4	4	6	6	12	12	18
垂木化粧材キャップ		1	1	1	1	3	3	3	3

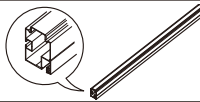
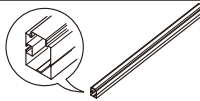
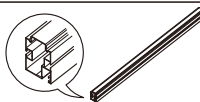
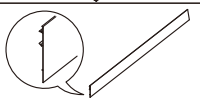
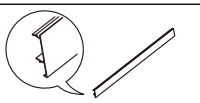
【31】 垂木化粧材セット (1500タイプ・3000タイプ)

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		4	6	8	12	18	24
垂木化粧材キャップ		1	1	1	3	3	3

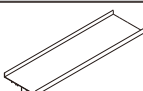
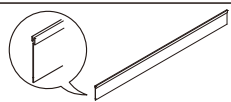
【32】 右または左入 妻垂木化粧材セット（600プラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材（テラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材（プラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		4	8	8	12

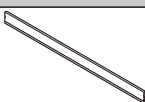
【33】 右または左入 妻垂木化粧材セット（1500・3000-プラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材（テラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材（プラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		8	12	16

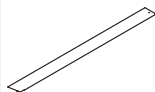
【34】 躯体見切り材セット（湿式腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
見切り材		1
見切り材カバー		1

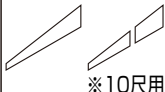
【35】 土間見切り材セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
土間見切り材		1	1	1	1
【35-1】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	12

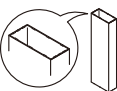
【36】 前面テラス縦枠セット（腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
柱カバー		2

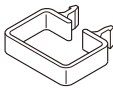
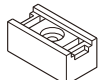
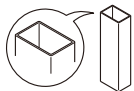
【38】 妻梁上部FIXパネル

名 称	略 図	員 数
妻梁上部FIXパネル	 ※10尺用	1

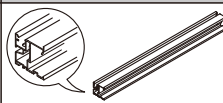
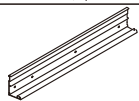
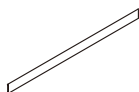
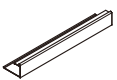
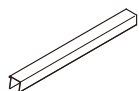
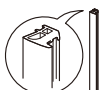
【37】 ベース材束柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
ベース材束柱		1	3
束柱固定金具		2	6
【37-1】 φ4×16ナベドリルネジD=8.2		6	18
【37-2】 φ5×35セルフアップアンカー		3	8

【39】 角樋セット

名 称	略 図	員 数
サドル		2
サドル受け		2
角エルボ		1
角樋		1

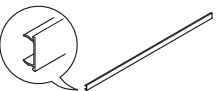
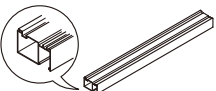
【40】 妻梁セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻梁		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立		—	—	—	1
妻梁上部FIX枠（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠（桁側）		1	1	1	1
妻梁フタ		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立カバー		—	—	—	1
妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠押縁（桁側）		1	1	1	1
後付けビート材		1	1	1	2
妻梁取付金具		2	2	2	2

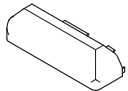
【40】妻梁セット つづき

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻梁上部FIX取付金具		—	—	—	2
セッティングブロック (H10)		4	4	4	4
【40-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
【40-2】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	17

【41】妻梁フタセット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
ネジ隠しフタ		1	1	1	1
妻梁下フタ		1	1	1	1
【41-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	8

【42】腰壁前面笠木キャップセット

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		1

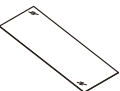
【44】腰壁延長部品セット (横延長用)

名 称	略 図	員 数
間柱スリーブ		3
腰壁ブロック防水テープ		1
【44-1】M8×50打ち込みアンカー (M8用座付ナット付き)		4
【44-2】φ4×25ナベタッピンネジ2種 D=7 G=5		8
【44-3】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		44
【44-4】30 フィッシャープラグ S6		5
【44-5】φ4×30ナベタッピンネジ1種		5
【44-6】φ4×25サラドリルネジ D=8		39
【44-7】φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		6
【44-8】φ4.1×63丸木ネジ		5
【44-9】φ4×19ナベドリルネジ D=8.2		5

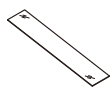
【43】腰壁側面笠木キャップセット

名 称	略 図	員 数	
		右用	左用
L字腰壁外笠木エンドキャップ		R×1	L×1
L字腰壁内笠木エンドキャップ		R×1	L×1
L字腰壁外笠木コーナーキャップ		1	1
L字腰壁内笠木コーナーキャップ		1	1

【45】屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

【46】屋根材セット (3000)

名 称	略 図	員 数	
		4枚入	6枚入
屋根材積雪用		4	6

【47】引戸用土間見切り材セット

名 称	略 図	員 数		
		6尺	8尺	10尺
土間見切り材 引戸用		1	1	1
土間見切り材 柱側		1	1	1
土間見切り材 躯体側		1	1	1
土間見切り材小口キャップ (引戸用)		2	2	2
【47-1】φ4×25ナベ タッピンネジ2種 D=7		5	5	5
【47-2】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		11	14	16

【48】前面横枠 オープンテラス用

名 称	略 図	員 数
テラス用上枠		1
ネジ隠しフタ		1

【53】柱側FIX縦枠セット (L字腰壁)

名 称	略 図	員 数
調整縦枠 腰壁タイプ		1
調整縦枠受けA L字腰壁タイプ		1
【53-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		6

【54】柱側FIX縦枠セット (腰壁)

名 称	略 図	員 数
調整縦枠 基本タイプ		1
調整縦枠受けA 前面腰壁タイプ		1
調整縦枠受けB 腰壁タイプ		1
調整枠スペーサー (1mm)		10
調整枠スペーサー (5mm)		2

【49】ACアダプターセット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター		1

【50】ACアダプター固定部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター固定部品		1
【50-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		2

【51】妻垂木化粧材溝カバーセット

オプション

名 称	略 図	員 数
妻垂木化粧材溝カバー		1

【52】渡り配線セット

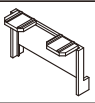
オプション

名 称	略 図	員 数
渡り配線コード		1

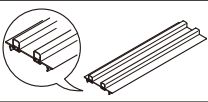
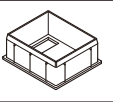
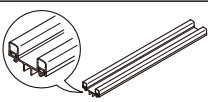
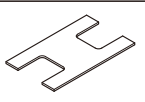
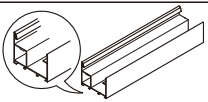
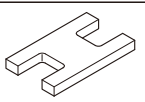
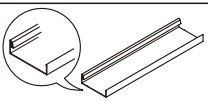
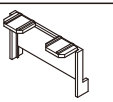
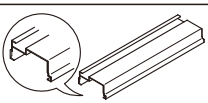
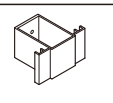
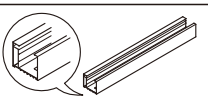
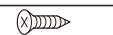
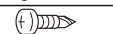
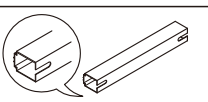
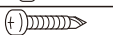
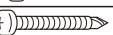
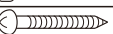
4

梱包明細表

【54】 柱側FIX縦枠セット（腰壁） つづき

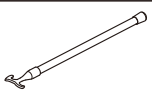
名 称	略 図	員 数
調整枠連結部品		1
【54-1】 30フィッシャープラグ S6		4
【54-2】 φ4.1×45丸木ネジ D=8.2		4
【54-3】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		6
【54-4】 φ4×40ナベドリルネジ D=8.2		4

【55】 折戸用縦枠セット（腰壁用共通）

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
折戸用縦枠戸当部材		1	調整FIX調整縦枠用キャップ		2
調整FIX戸当部材		1	調整縦枠スペーサー（1mm）		10
調整縦枠受けA		1	調整縦枠スペーサー（5mm）		2
調整縦枠受けB		1	調整縦枠受け連結部品		1
折戸用縦枠B		1	調整FIX受けキャップ		1
調整FIX受け		1	【55-1】 30フィッシャープラグ S6		4
			【55-2】 φ4×10サラタッピンネジ1種 D=6		1
			【55-3】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		21
調整FIX調整縦枠		1	【55-4】 φ4×25ナベドリルネジ		2
			【55-5】 φ4×40ナベドリルネジ D=8.2		4
			【55-6】 φ4.1×45丸木ネジ D=8.2		4

【56】 フック棒セット

オプション

名 称	略 図	員 数
日除け開閉棒		1
フック掛け		1
内部日除け 自然浴家族 ジーマ・ココマⅡ・暖蘭物語 取付説明書<E269>	—	1
ココマⅡ ロールクリーン 取付説明書<E377>	—	1
【56-1】 φ4×19サラドリルネジ		2

【57】 トランス電源ユニット35W 屋外用

オプション

名 称	略 図	員 数
トランス電源ユニット35W（屋外用）本体		1
【57-1】 φ4×50十字穴付フランジ付タッピンネジ		2（※）
【57-2】 フィッシャープラグ 呼び径30		2（※）
【57-3】 スペーサー		1（※）
【57-4】 結束バンド		2（※）
取付説明書<Z546>	—	1
取扱説明書<UZ278>	—	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

1. ガーデンルームタイプ



間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B ブロック はね出し寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2400	2457	320	2	
1.5間	2797	2730	2670	3200	3257	265	3	
2.0間	3707	3640	3580	4000	4057	210	4	
2.5間	4617	4550	4490	4800	4857	155	5	
3.0間	5527	5460	5400	6000	6057	300	6	

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	529
6尺	1908	1805	1932	1962	635
8尺	2508	2405	2532	2562	741
10尺	3108	3005	3132	3162	846

E372 201503D

1. (つづき)

1-2 連棟仕様

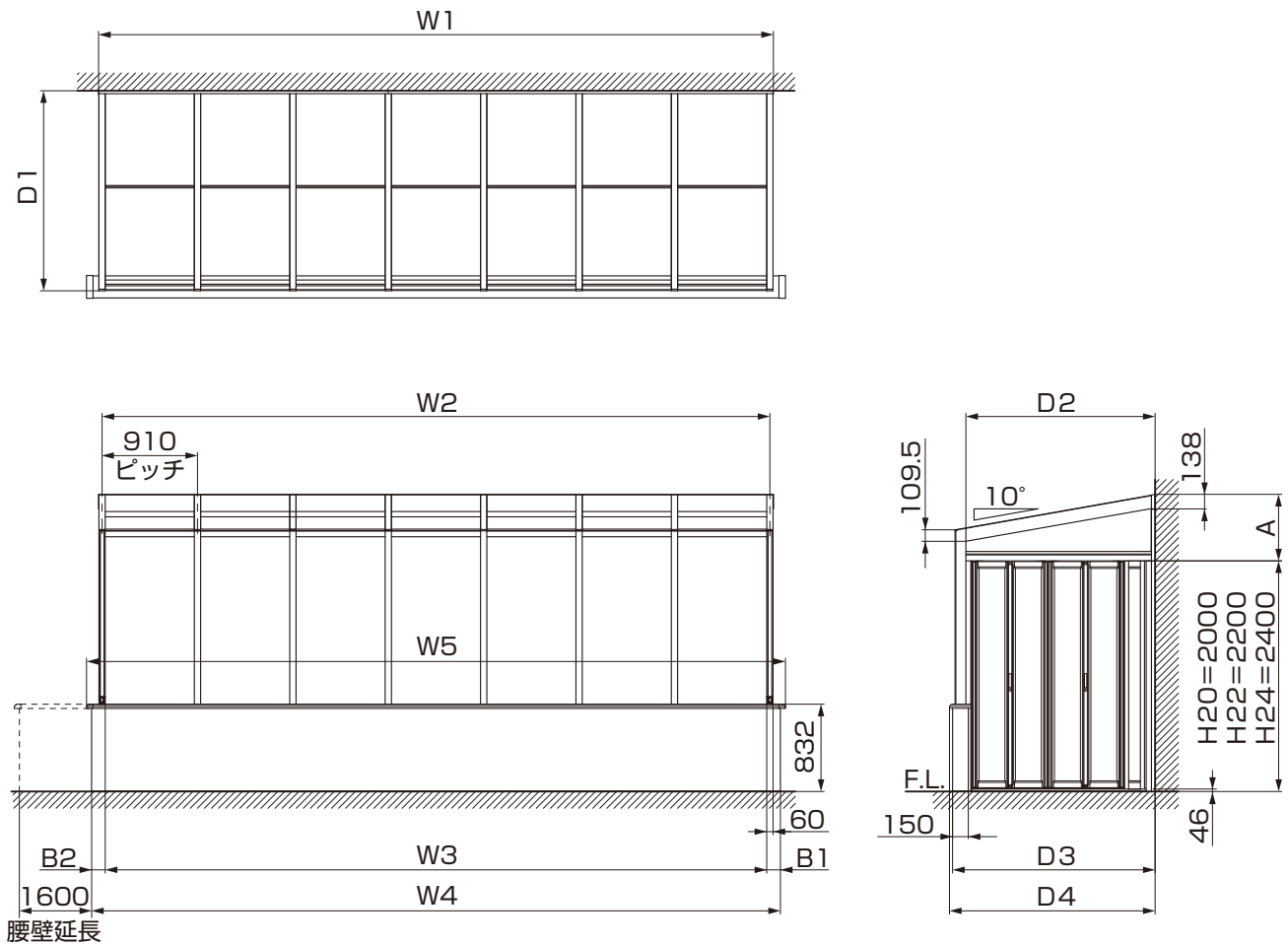


表1-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B1 ブロックはね出し寸 (基本側)	B2 ブロックはね出し寸 (連棟側)	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6600	6657	145	145	7	
4.0間	7347	7280	7220	7600	7657	155	225	8	
4.5間	8257	8190	8130	8600	8657	300	170	9	
5.0間	9167	9100	9040	9400	9457	210	150	10	
5.5間	10077	10010	9950	10400	10457	300	150	11	
6.0間	10987	10920	10860	11400	11457	300	240	12	

表1-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	529
6尺	1908	1805	1932	1962	635
8尺	2508	2405	2532	2562	741
10尺	3108	3005	3132	3162	846

※ブロック+目地仕上げの寸法です。

2. サイドスルータイプ

2-1 単体仕様

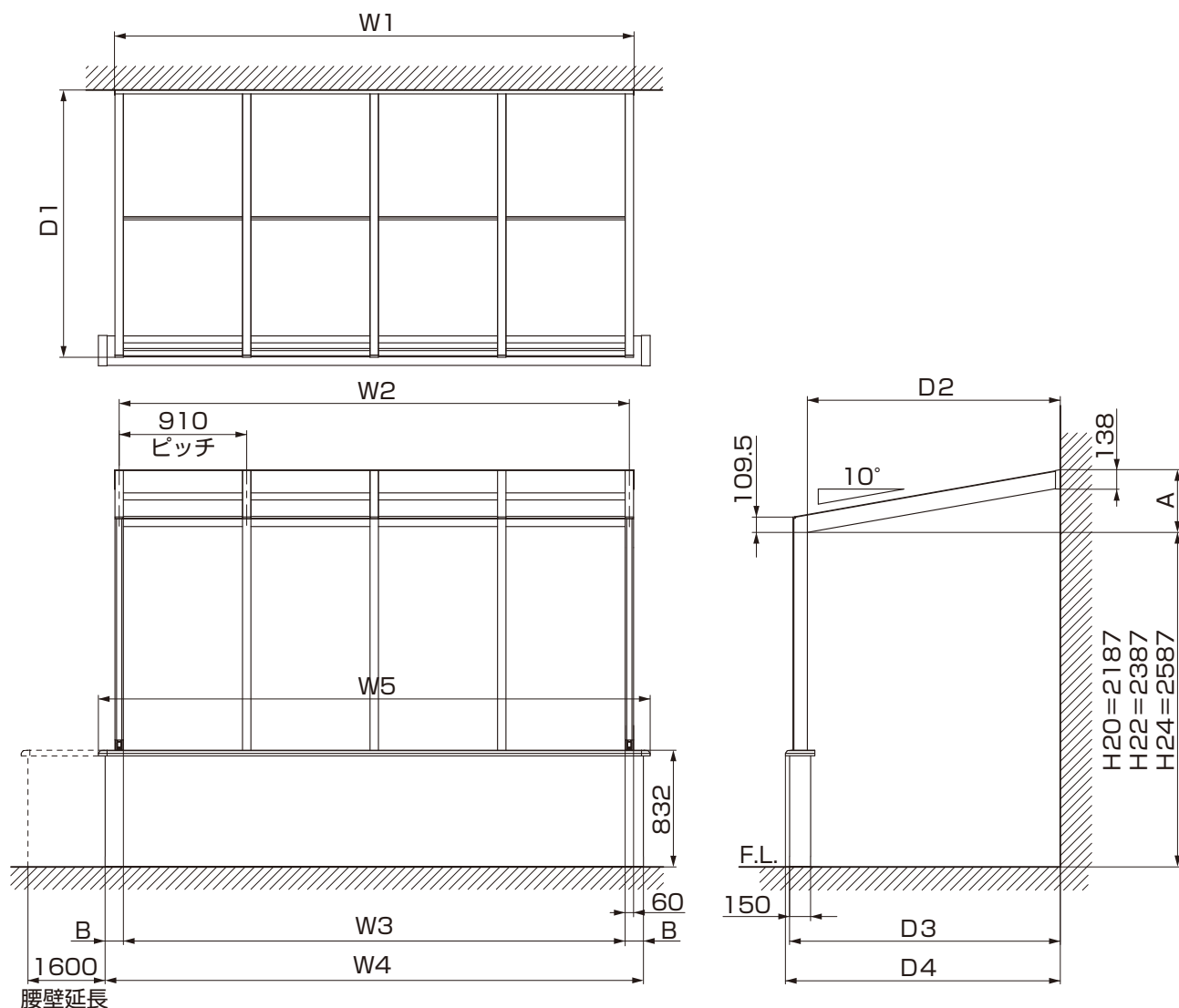


表2-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B ブロック はね出し寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2400	2457	320	2	
1.5間	2797	2730	2670	3200	3257	265	3	
2.0間	3707	3640	3580	4000	4057	210	4	
2.5間	4617	4550	4490	4800	4857	155	5	
3.0間	5527	5460	5400	6000	6057	300	6	

表2-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

※ブロック+目地仕上りの寸法です。



間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B1 ブロックはね出し (基本側)	B2 ブロックはね出し (連棟側)	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6600	6657	145	145	7	
4.0間	7347	7280	7220	7600	7657	155	225	8	
4.5間	8257	8190	8130	8600	8657	300	170	9	
5.0間	9167	9100	9040	9400	9457	210	150	10	
5.5間	10077	10010	9950	10400	10457	300	150	11	
6.0間	10987	10920	10860	11400	11457	300	240	12	

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

E372 201503D

3. オープンテラスタイプ

3-1 単体仕様

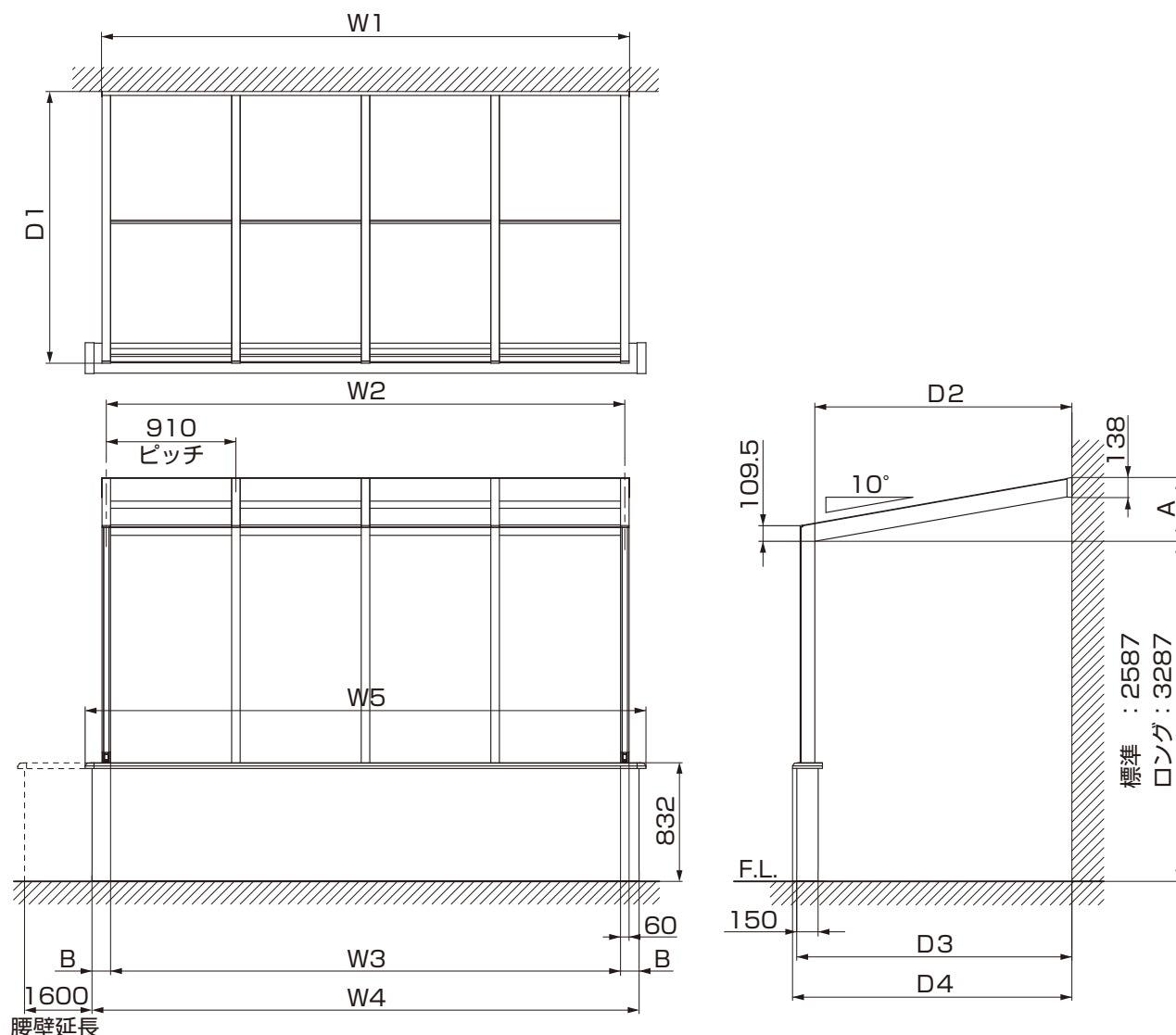


表3-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B ブロック はね出し寸	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2400	2457	320	2
1.5間	2797	2730	2670	3200	3257	265	3
2.0間	3707	3640	3580	4000	4057	210	4
2.5間	4617	4550	4490	4800	4857	155	5
3.0間	5527	5460	5400	6000	6057	300	6

表3-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

※ブロック+目地仕上げの寸法です。

5 基本寸法



表3-4 出幅寸法

※ブロック+目地仕上げの寸法です。

4. L字腰壁タイプ

4-1 単体仕様

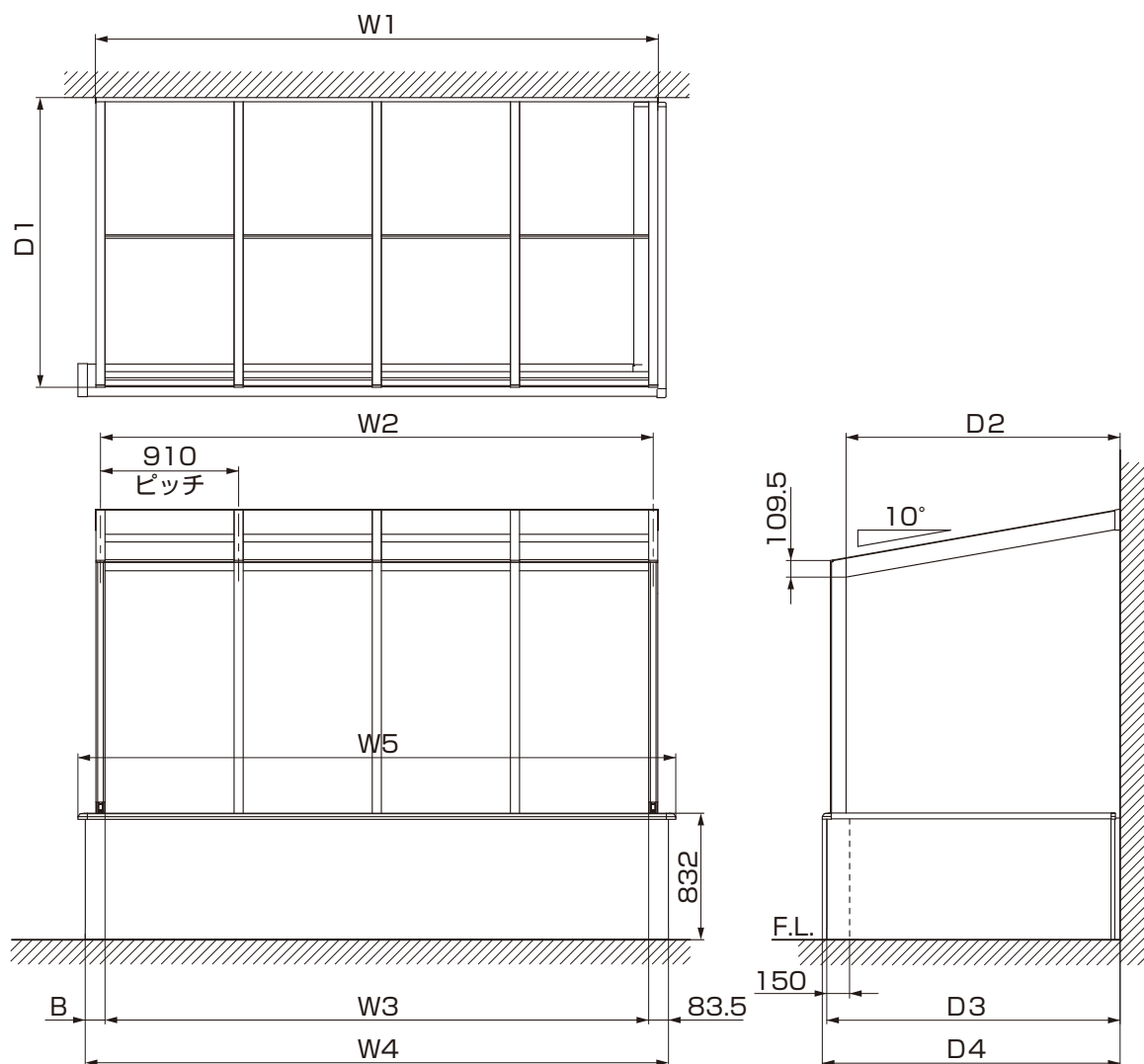


表4-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B ブロック はね出し寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2000	2059	156	2	
1.5間	2797	2730	2670	3000	3059	246	3	
2.0間	3707	3640	3580	3800	3859	136	4	
2.5間	4617	4550	4490	4700	4759	126	5	
3.0間	5527	5460	5400	5700	5759	216	6	

表4-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸
4尺	1308	1205	1332	1362
6尺	1908	1805	1932	1962
8尺	2508	2405	2532	2562
10尺	3108	3005	3132	3162

※ブロック+目地仕上げの寸法です。

1. ガーデンルームタイプ

1-1



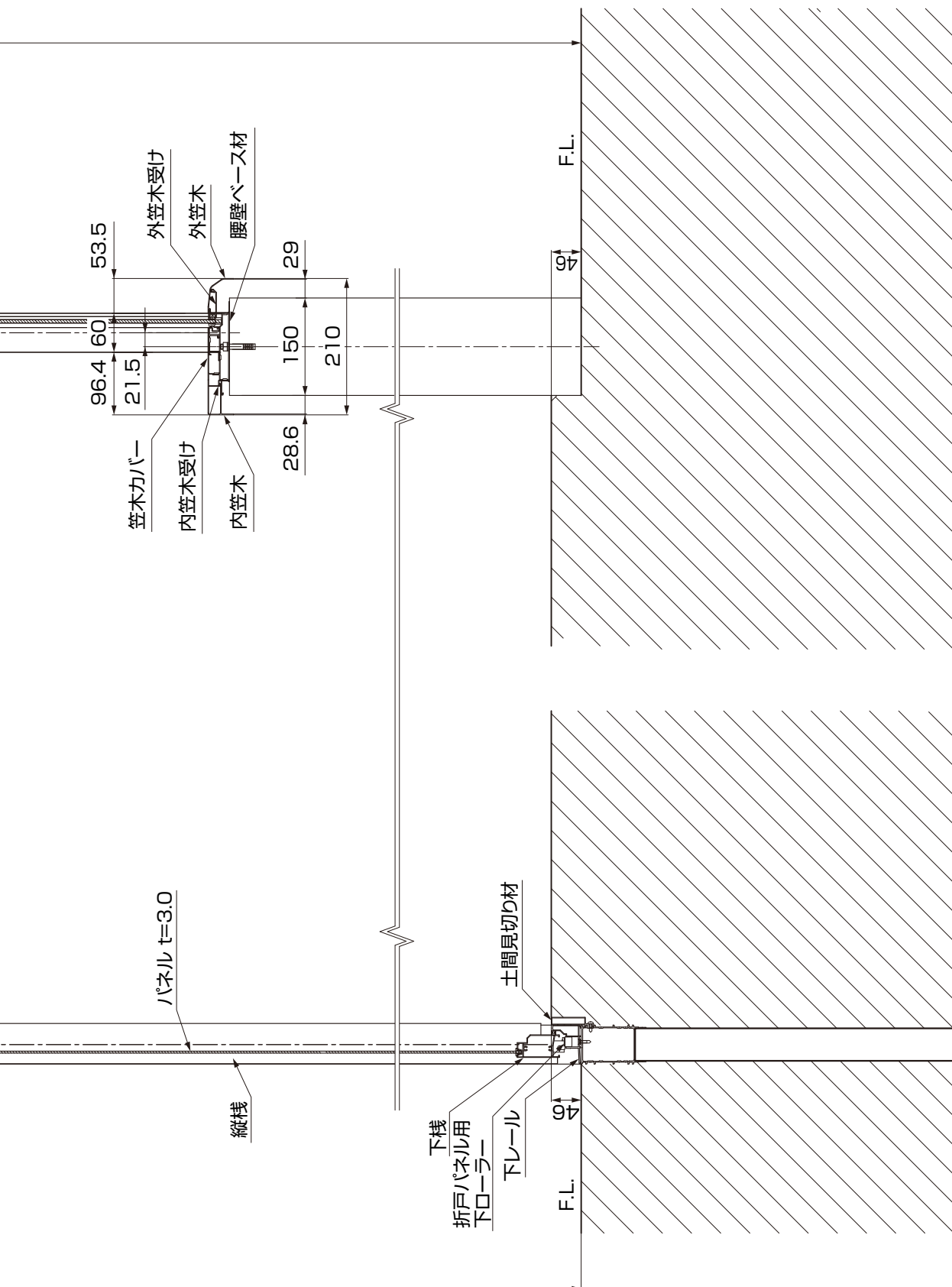


表1-3

高さ寸法	出幅				
	4R	6R	8R	10R	
A	529	635	741	846	

表1-2

間口寸法	間口				
	W1	W2	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

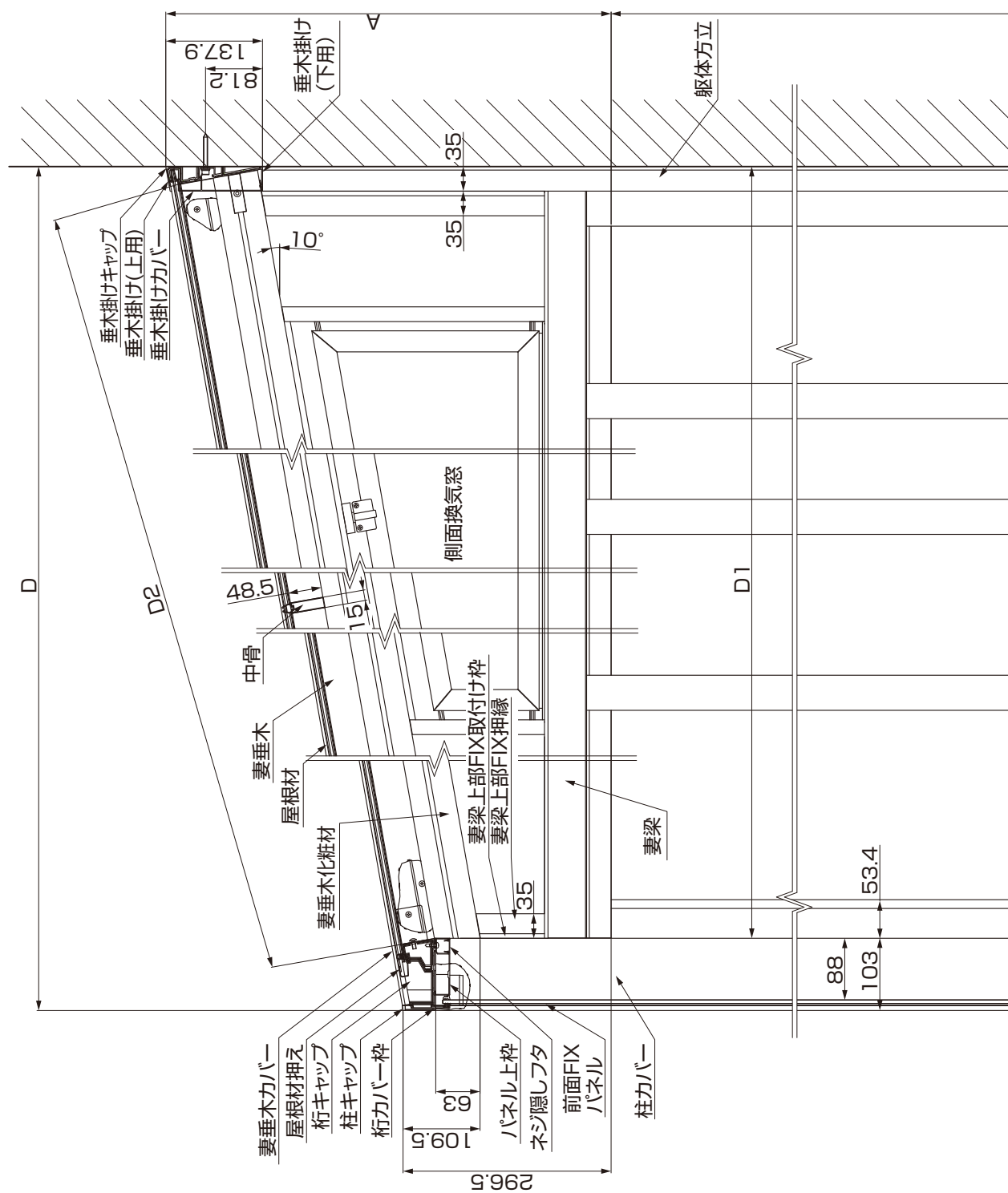
表1-1

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

1. (つづき)

1-2 出幅断面納まり図

●土間仕様の場合



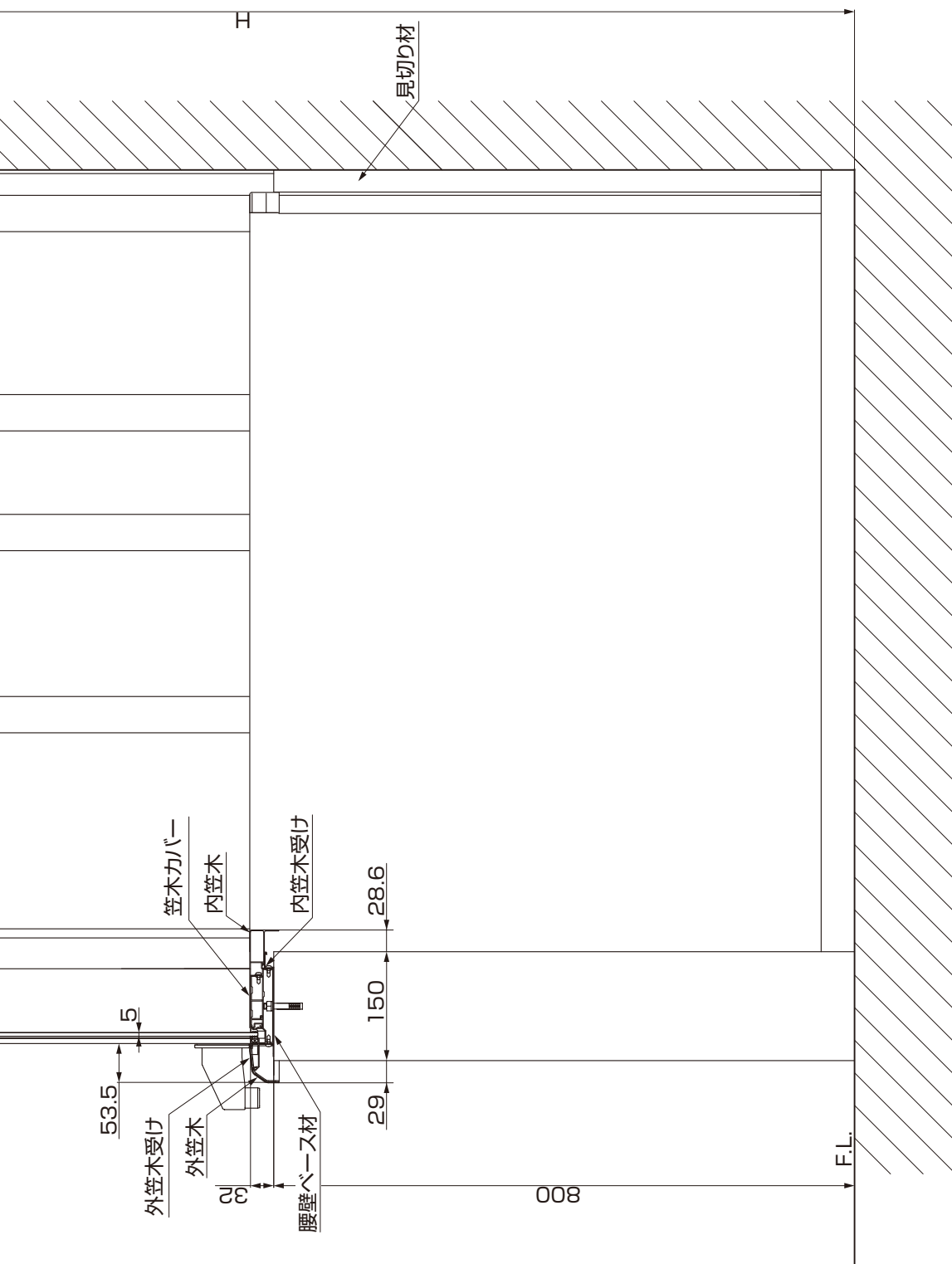


表1-4

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

表1-5

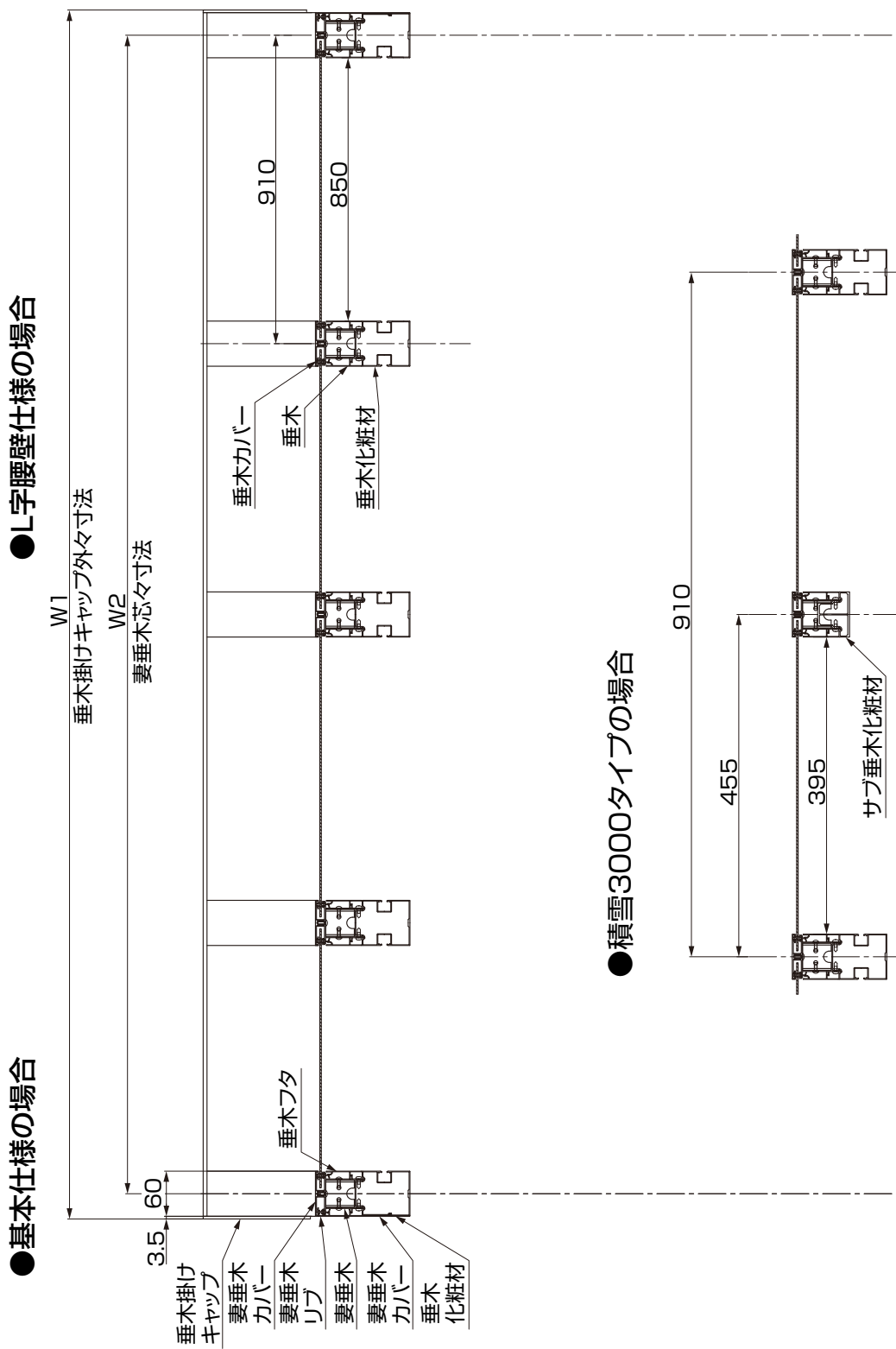
間口 出幅寸法	4尺	6尺	8尺	10尺
	D	D	D	D
D	1308	1908	2508	3108
D1	1205	1805	2405	3005
D2	1207.5	1816.5	2426	3035

表1-6

出幅 高さ寸法	4尺	6尺	8尺	10尺
	A	A	A	A
A	529	635	741	846

2. オープンテラスタイプ サイドスルータイプ

2-1 開口断面納まり図



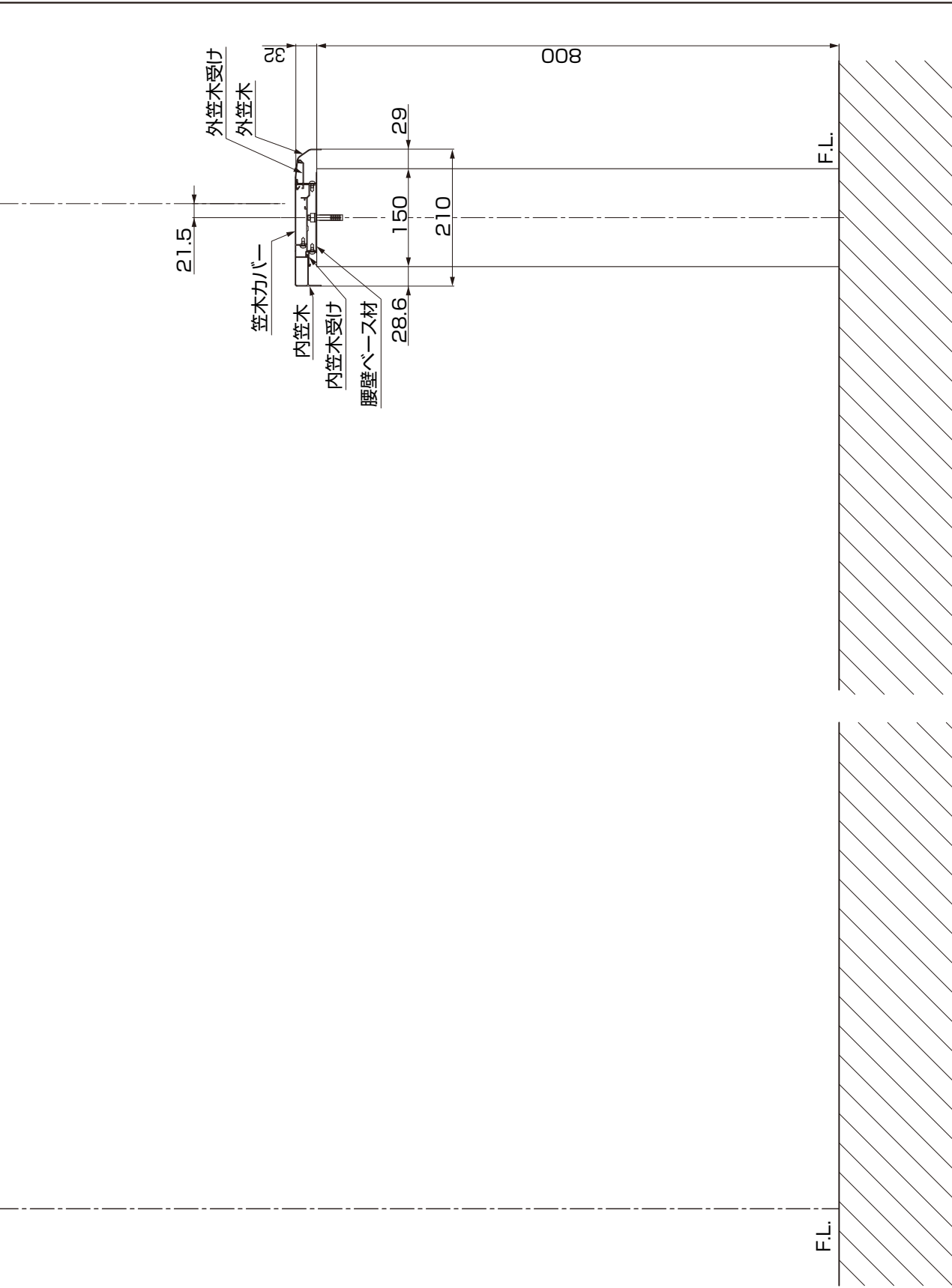


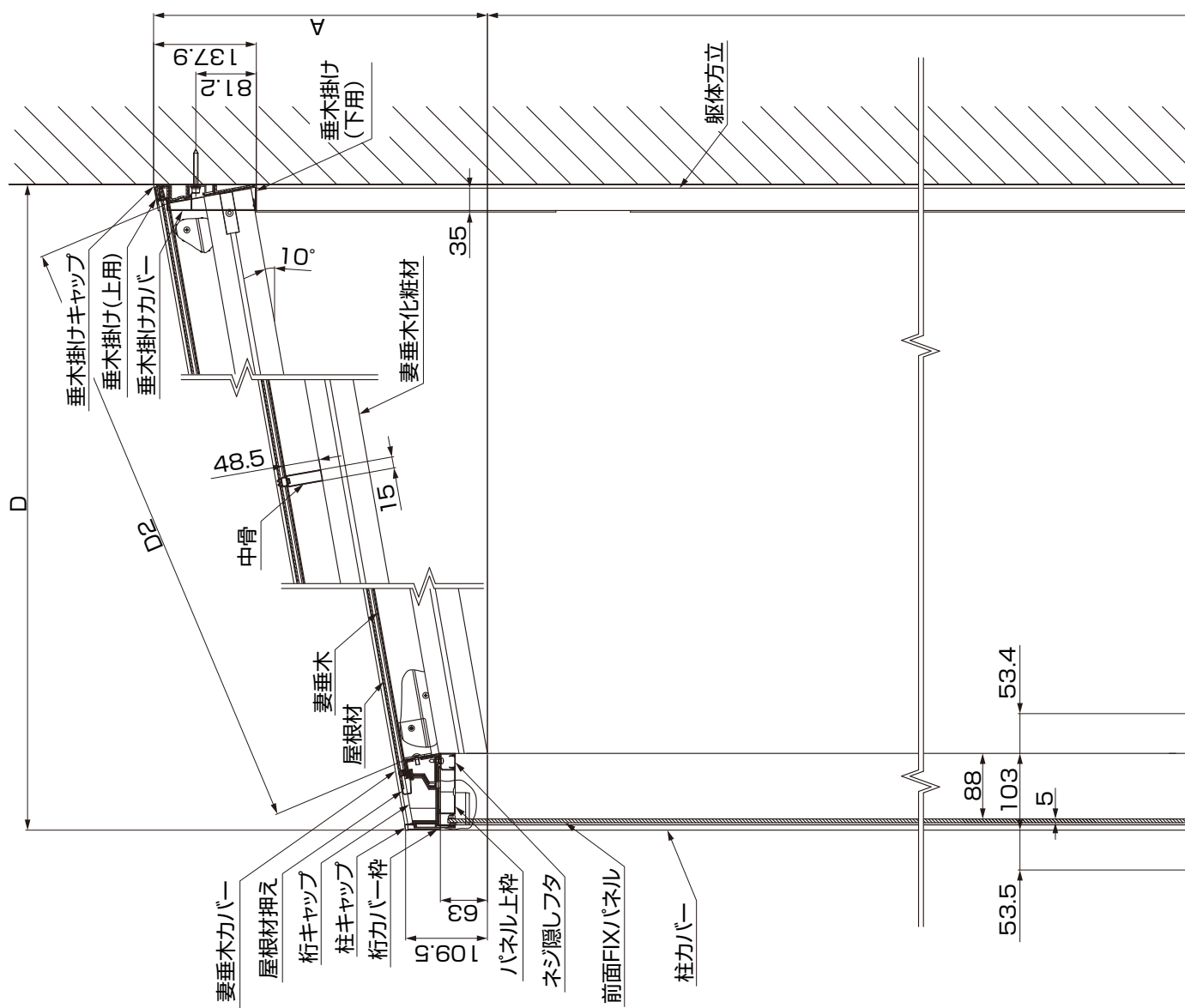
表2-1

間口寸法 間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
	1887	2797	3707	4617	5527
W1	1820	2730	3640	4550	5460
W2					

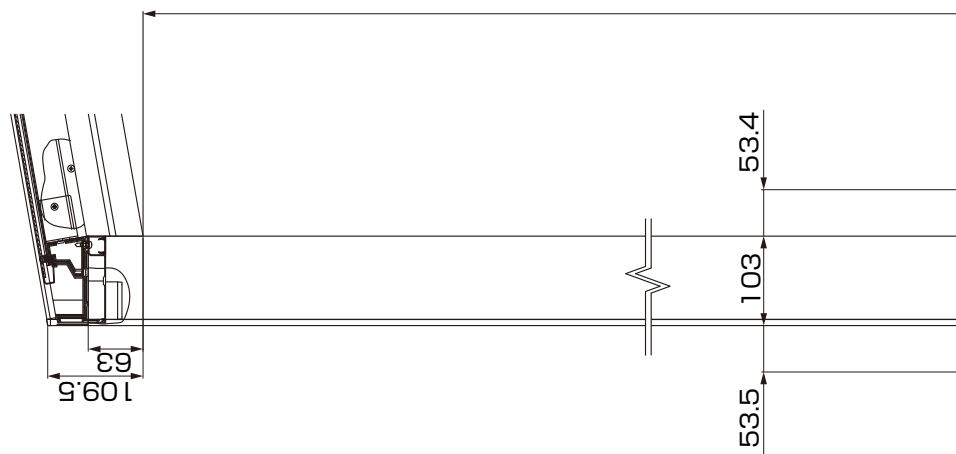
2. (つづき)

2-2 出幅断面納まり図

●サイドスルータイプL字腰壁仕様の場合



●オープンテラスタイプの場合



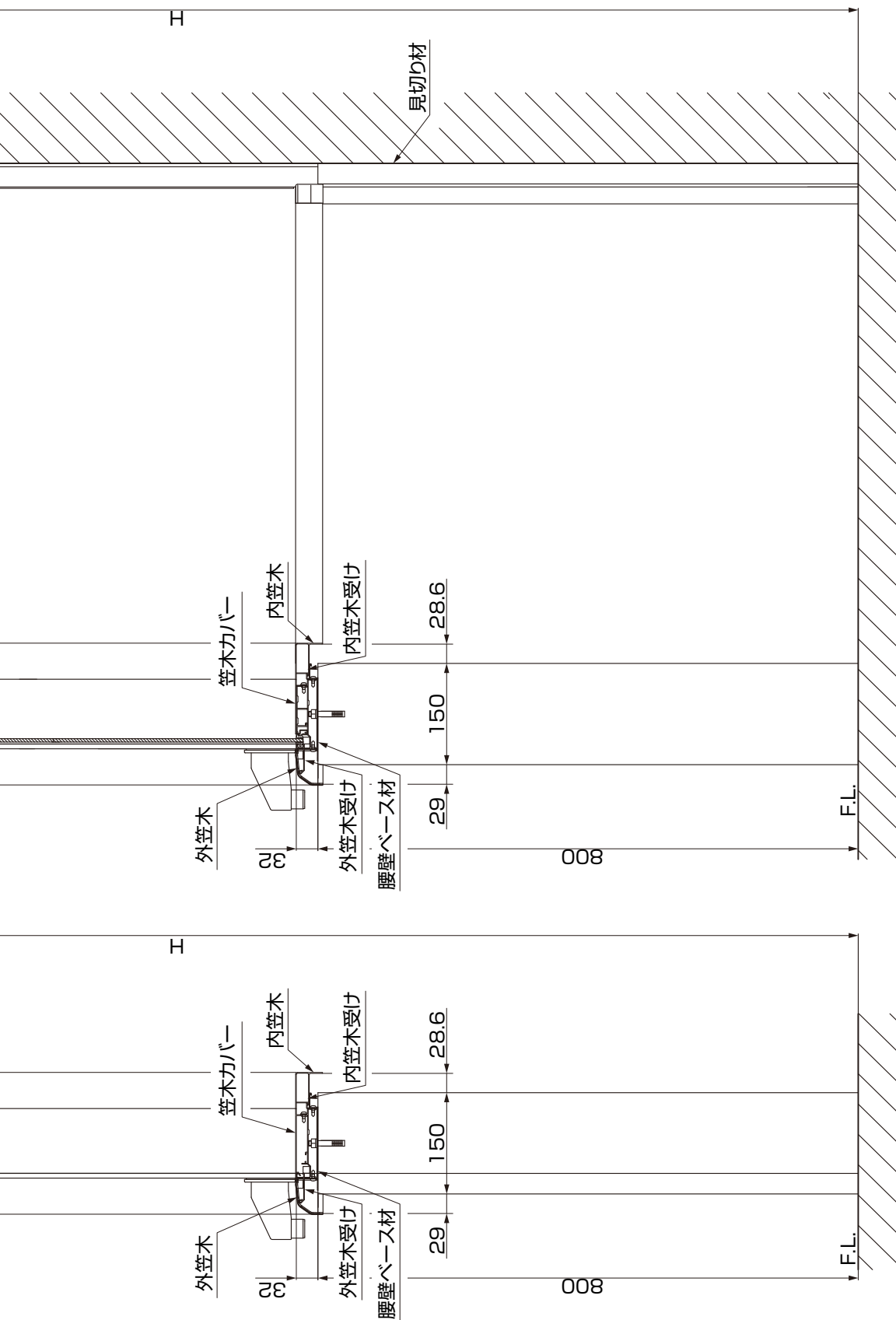


表2-2

タイプ	高さ呼称	H
サイドスルータイプ	H20	2187
	H22	2387
	H24	2587
オープンタイプ	標準	2587
	ロング	3287

表2-3

高さ寸法	出幅				
	A	4尺	6尺	8尺	10尺
		342	448	554	659

表2-4

出幅寸法	間口				
	D	4尺	6尺	8尺	10尺
		1308	1908	2508	3108
	D1	1205	1805	2405	3005
	D2	1207.5	1816.5	2426	3035

7 柱の位置出し

1-1 基本仕様



図1-1 前面腰壁

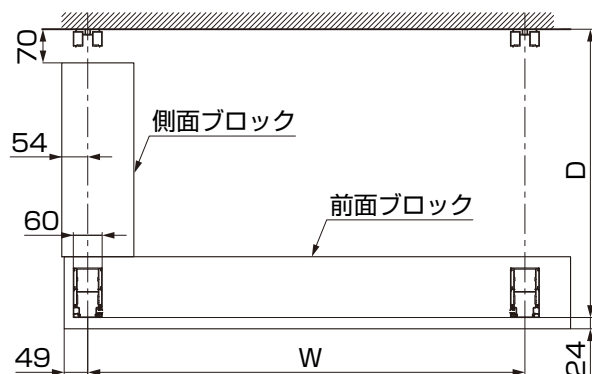


図1-2 L字腰壁

表1-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1820	2730	3640	4550	5460

1-2 連棟仕様

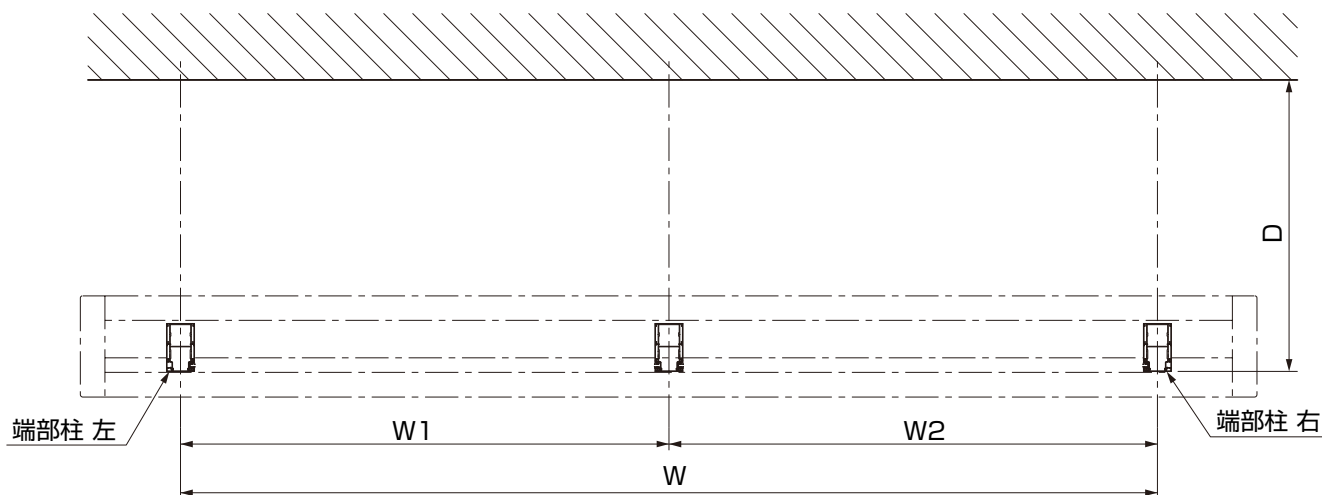


図1-3

表1-3 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-4 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	
W1、W2	1820	2730	3640	4550	5460	
間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
W	6370	7280	8190	9100	10010	10920

8 施工前の準備

1. 水盛遣方・水系張り

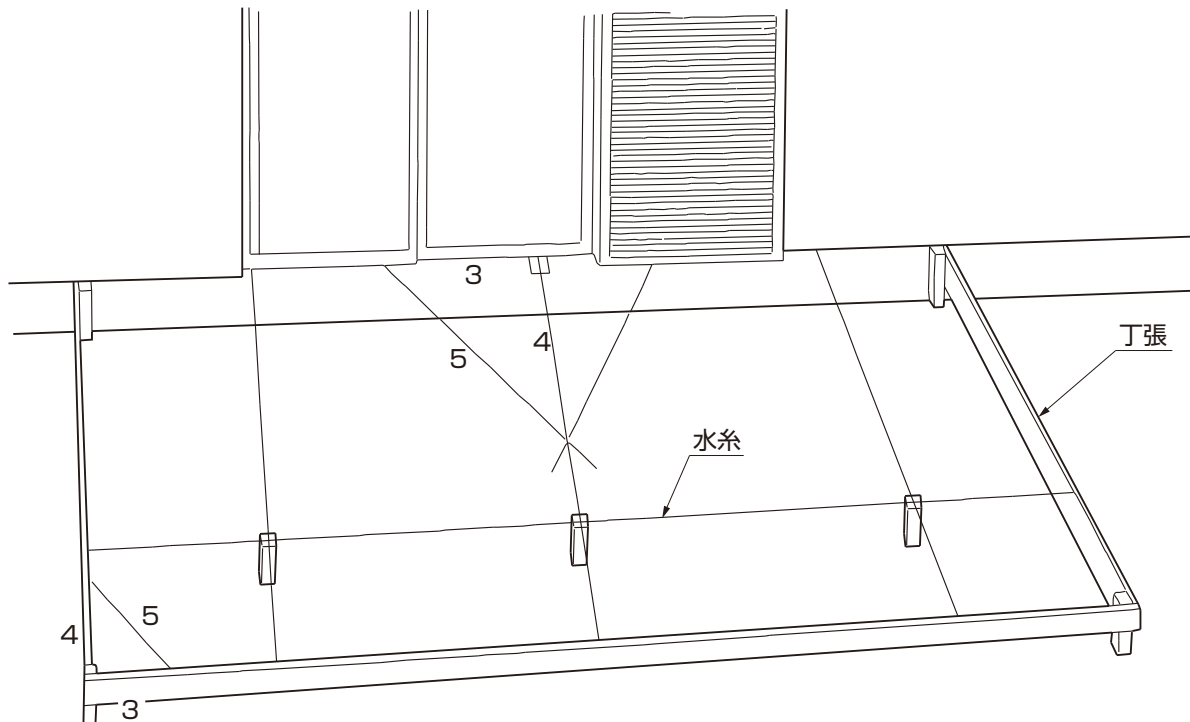


図1-1

【側面デッキ束柱位置】

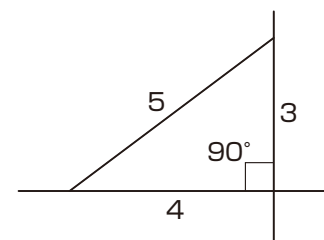
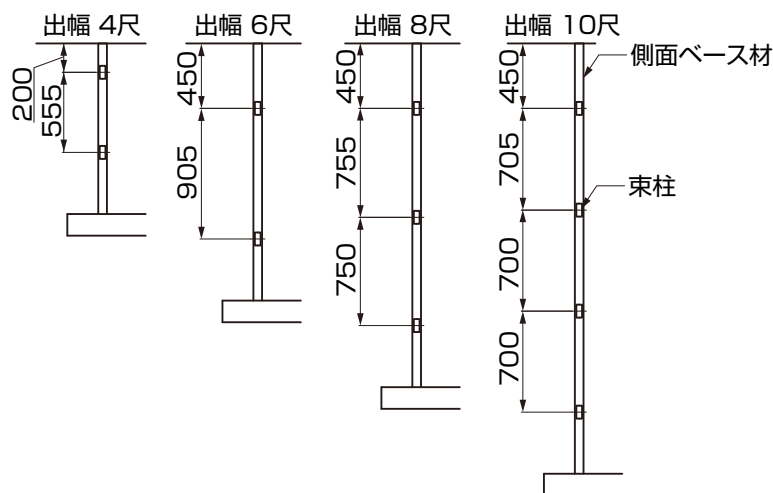


図1-2 直角出し寸法

- ①「5 基本寸法」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ②前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-2の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
- ④束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

ポイント

- ガーデンルームタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図1-2の方法等で割り出してください。

2. 配線工事 **オプション** ※LED照明を取付ける場合の作業です。

2-1 LEDユニット配線のとりまわし

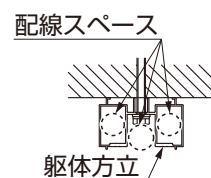
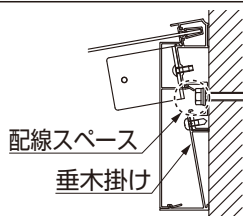
⚠ 注意

●AC100Vの電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）

🔑 ポイント

【垂木掛けや躯体方立の溝を配線に利用する場合】

- 部材・部品にあけた穴は、止水のためシーリングを塗布してください。
- 外側にあけた穴は、ケガ防止のためグロメットなどで小口の保護をしてください。



(1) ACアダプターを使用する場合

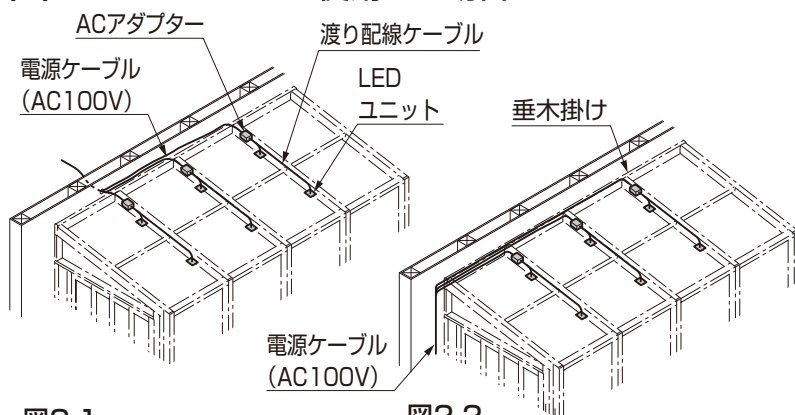


図2-1

躯体に穴をあけて配線する場合

(2) トランス電源ユニット 35Wを使用する場合

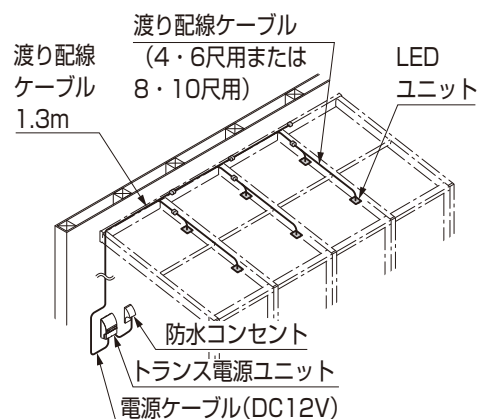


図2-2

垂木掛けの溝を利用して配線する場合

①LEDユニットの配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

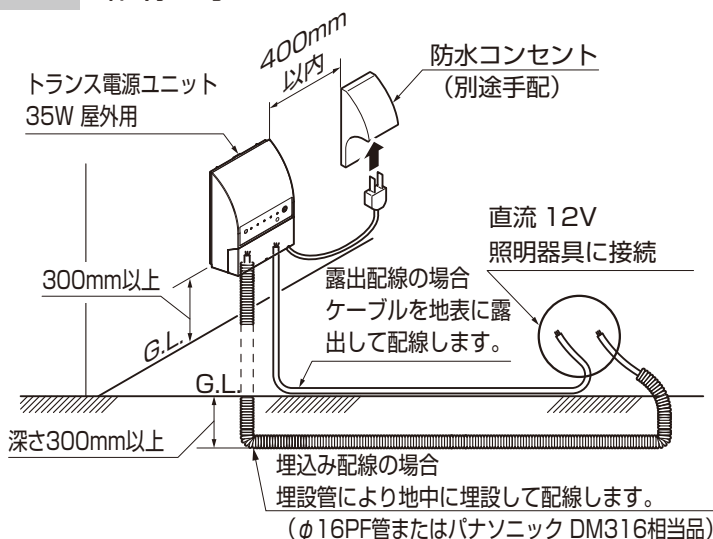
●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して2セットまで連続接続が可能です。

①LEDユニットの配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して10セットまで連続接続が可能です。

2-2 配線工事



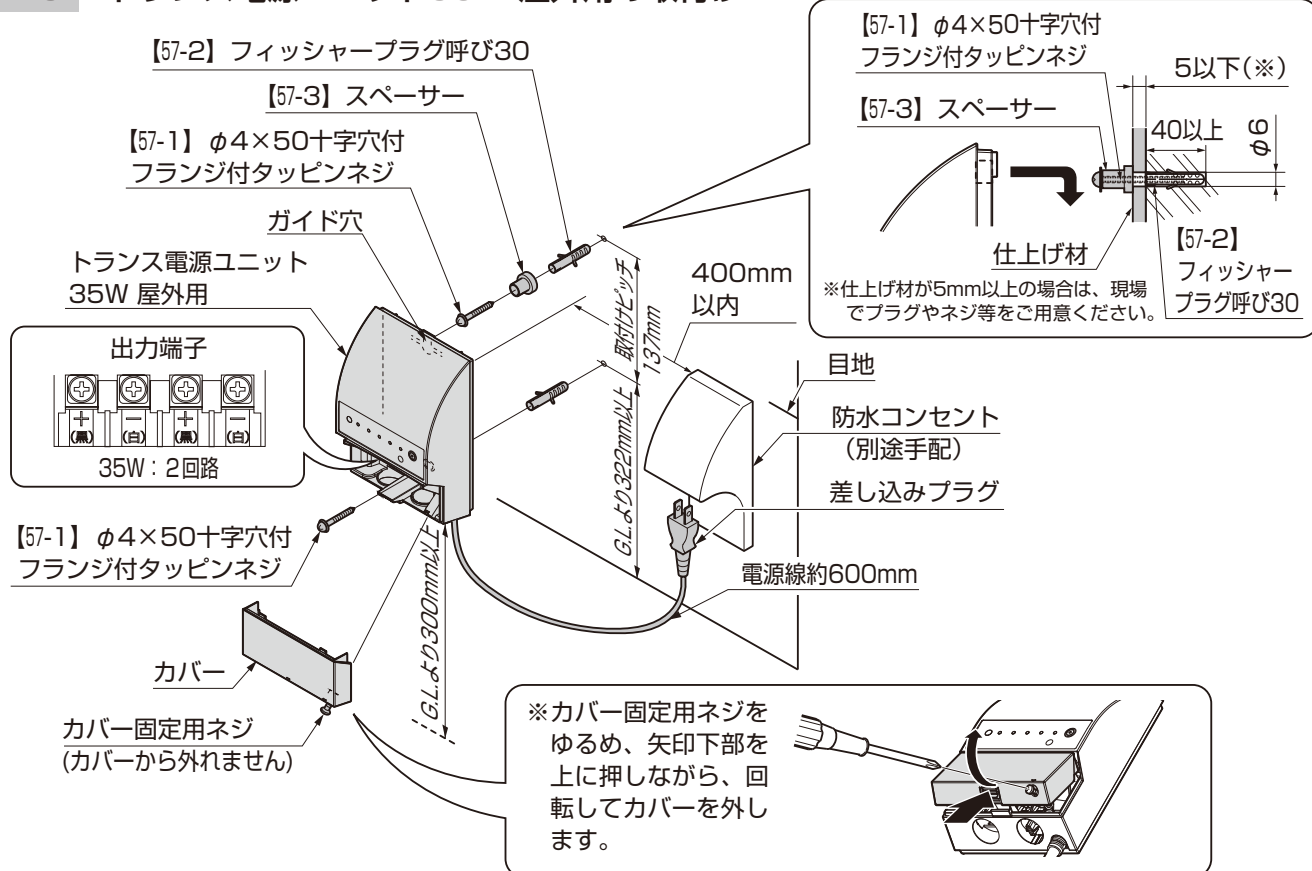
✎ 補足

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。

🔑 ポイント

- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W/60W 屋外用 取付説明書 (Z546)」を参照してください。
- 防水コンセント、連結コネクタは別途手配してください。
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

2-3 トランス電源ユニット35W 屋外用の取付け



警告

- トランス電源ユニット35W 屋外用は壁面取付専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気が多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- トランス電源ユニット35W 屋外用は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

注意

- 取付けは、安全のため差し込みプラグを抜いた状態で行ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。
- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。
- 壁に有効深さ40mmの下穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが5mm以下(※)の場合としてください。5mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- トランス電源ユニット35W 屋外用と防水コンセントの間は400mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

- ①カバー固定用ネジをゆるめ、カバー下部を上を押しながらカバーを外してください。
- ②トランス電源ユニット35W 屋外用を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置に穴径Φ6、有効深さ40mm以上の下穴をあけてください。
- ③[57-2]を下穴に埋め込んでください。
- ④[57-1]で[57-3]を壁に固定してください。
- ⑤トランス電源ユニット35W 裏面上部のガイド穴に[57-3]をはめ込み、[57-1]で壁に固定してください。

9 腰壁の施工

1. コンクリートブロックの建込み

1-1 前面腰壁の場合

ポイント

- 上段ブロックへ配筋の際は鉄筋が40mm以上の深さになるようにしてください。

鉄筋
ブロック

- ブロック天面は水平で平滑になるように仕上げてください。

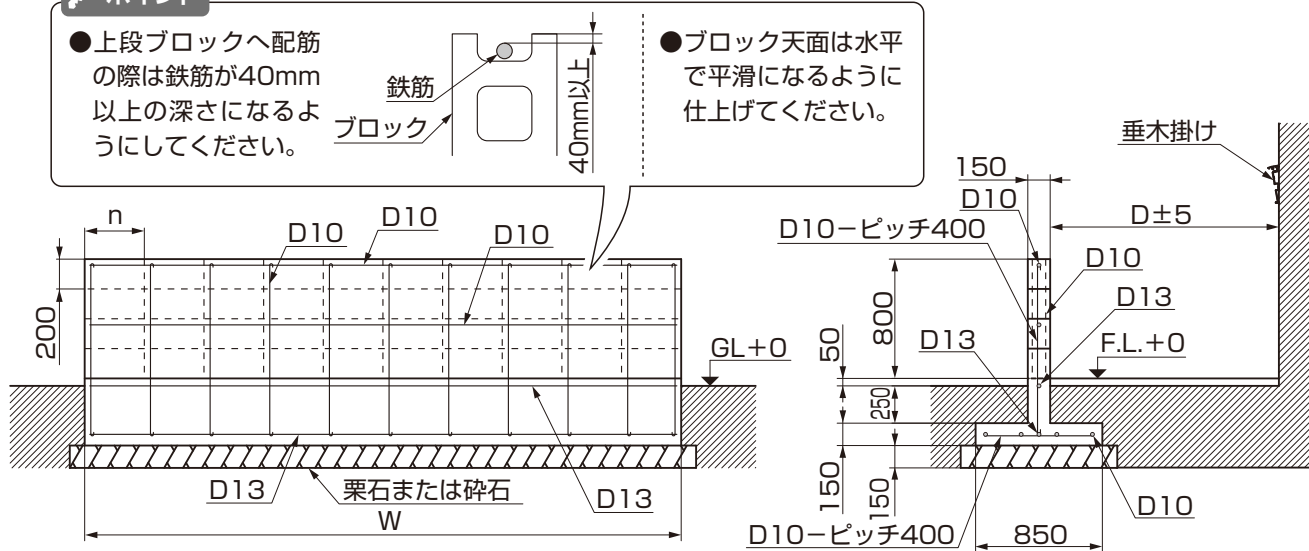


図1-1

表1-1

間口	n (列)	W (mm)
1.0間	6	2400
1.5間	8	3200
2.0間	10	4000
2.5間	12	4800
3.0間	15	6000
3.5間 (2.0間+1.5間)	$16 + \frac{1}{2}$	6600
4.0間 (2.5間+1.5間)	19	7600
4.5間 (3.0間+1.5間)	$21 + \frac{1}{2}$	8600
5.0間 (2.0間+3.0間)	$23 + \frac{1}{2}$	9400
5.5間 (3.0間+2.5間)	26	10400
6.0間 (3.0間+3.0間)	$28 + \frac{1}{2}$	11400
間口延長 (+1.0間)	+4	+1600

表1-2

出幅	D (mm)
4尺	1182
6尺	1782
8尺	2382
10尺	2982

表1-3 使用材料

コンクリート	普通コンクリート $F_c = 18\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD295A JIS規格品
コンクリートブロック	空洞ブロック JIS規格品 A種以上

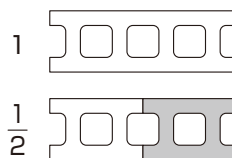


図1-2

ポイント

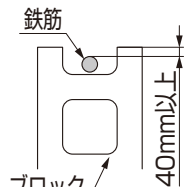
- ココマ本体の所定寸法は、F.L.+0mm (=G.L.+50mm) が基準です。
 - 寒冷地で凍上するおそれのある地域で施工する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
 - コンクリートブロックの建込みは、指定の材料を使用してください。(表1-3参照)
 - コンクリートブロックの表面は全面に適切な防水処理を行なってください。
 - 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置を確認してください。
- ※連棟の場合は、ブロックのはね出し寸法は左右で異なります。

1-2 L字腰壁の場合

ポイント

●ブロック天面は前面側と側面側に段差がなく、平滑に仕上げてください。

●上段ブロックへ配筋の際は鉄筋が40mm以上の深さになるようにしてください。



●前面側と側面側のブロックは目地仕上げ面が揃うようにしてください。

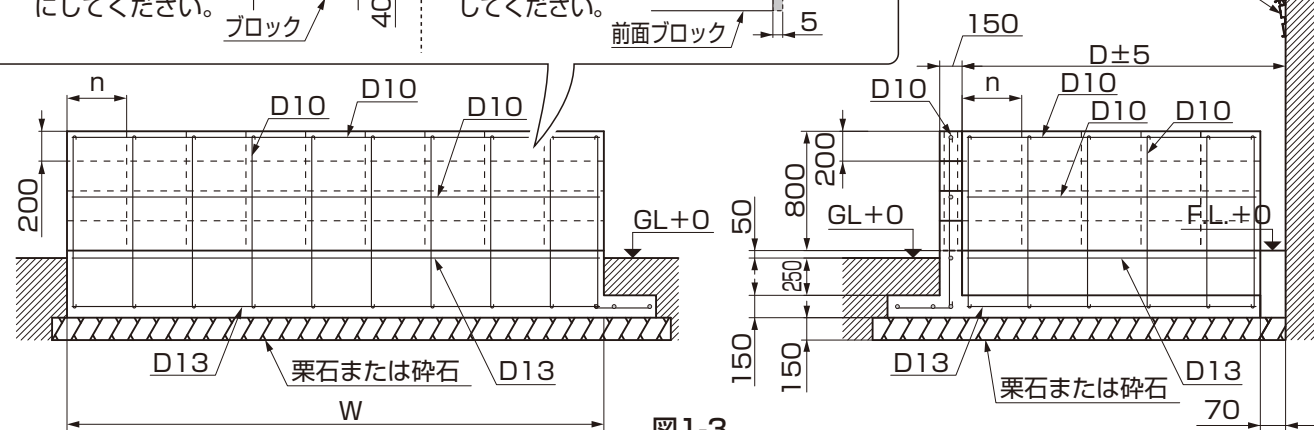
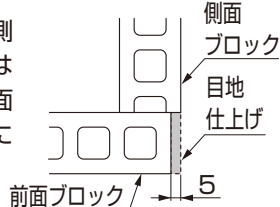


図1-3

表1-4

間口	n (列)	W (mm)
1.0間	5	2000
1.5間	$7 + \frac{1}{2}$	3000
2.0間	$9 + \frac{1}{2}$	3800
2.5間	$11 + \frac{3}{4}$	4700
3.0間	$13 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	5700
3.5間 (2.0間+1.5間)	$16 + \frac{1}{2}$	6600
4.0間 (2.5間+1.5間)	$18 + \frac{3}{4}$	7500
4.5間 (3.0間+1.5間)	21	8400
5.0間 (2.0間+3.0間)	$22 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	9300
5.5間 (3.0間+2.5間)	$25 + \frac{1}{2}$	10200
6.0間 (3.0間+3.0間)	28	11200
間口延長 (+1.0間)	+4	+1600

表1-5

出幅	n (列)	D (mm)
4尺	$2 + \frac{3}{4}$	1182
6尺	$3 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	1782
8尺	$5 + \frac{3}{4}$	2382
10尺	$6 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	2982

表1-6 使用材料

コンクリート	普通コンクリート $F_c = 18\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD295A JIS規格品
コンクリートブロック	空洞ブロック JIS規格品 A種以上

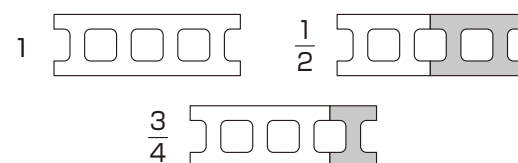


図1-4

ポイント

- ココマ本体の所定寸法は、F.L.+0mm (=G.L.+50mm) が基準です。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で施工する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリートブロックの建込みは、指定の材料を使用してください。(表1-6参照)
- コンクリートブロックの表面は全面に適切な防水処理を行なってください。
- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置を確認してください。

※連棟の場合は、ブロックのはね出し寸法は左右で異なります。

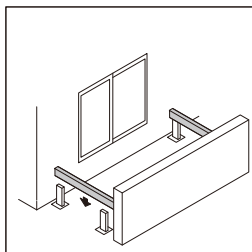
10 位置決め施工

1. 側面ベース材と束柱の取付け

※ベース納まりの場合の作業です。

※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
GR			ベース	



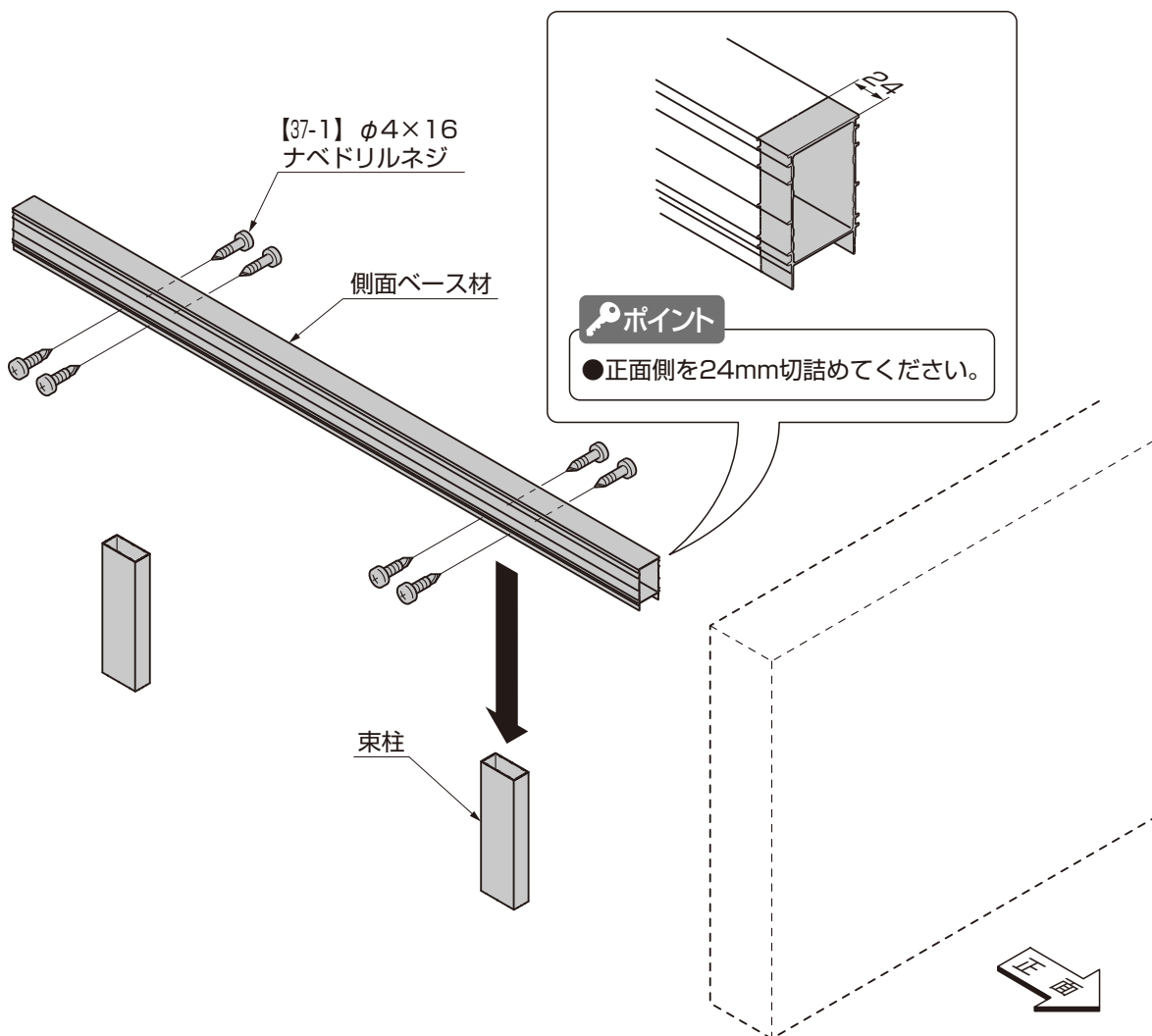
ポイント

●ベース材と束柱は施工する設定により設置箇所が異なります。

ガーデンルームタイプ	
前面	L字
	L字側

10
位置決め施工

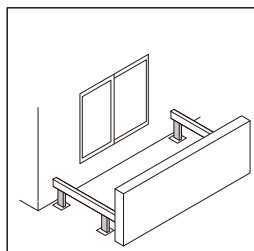
1-1 束柱の取付け



①側面ベース材を束柱に【37-1】で取付けてください。束柱を基礎石の上に建込んでください。

1. (つづき)

1-2 ベース材の取付け



ポイント

- ベース材は躯体に接して取付けてください。

側面ベース材

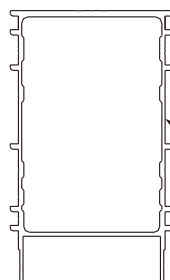
躯体

ポイント

- 側面ベース材は上面をF.L.面に合わせて取付けてください。

F.L. 上面合わせ

側面ベース材



ポイント

【固定の前に】

- 水準器などで水平を確認してください。

水準器

側面ベース材

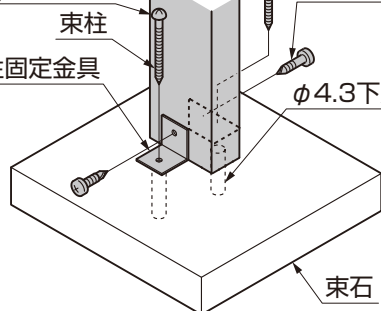
側面側

【37-2】 $\phi 5 \times 35$
セルフタッ
プ
アンカー

束柱
束柱固定金具

【37-1】 $\phi 4 \times 16$
ナベドリルネジ

$\phi 4.3$ 下穴



束石

- ①束柱固定金具を取付ける箇所に $\phi 4.3$ の下穴をあけてください。
- ②束柱を土間もしくは束石の上に束柱固定金具と【37-1】、【37-2】で取付けてください。

2. 躯体方立の取付け

※サイドスルータイプ、オープンテラスタイプでL字腰壁または妻梁上部フィックスがある場合も必要な作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

2-1 部材の加工 ※サイドスルータイプ、オープンテラスタイプの場合の作業です。



補足

●加工する前の躯体方立で垂木掛けの位置出しをすることができます。

(1) オープンテラスタイプおよびサイドスルータイプで妻梁上部フィックスがある場合

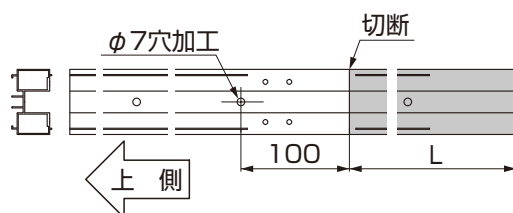
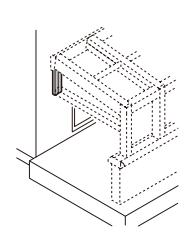
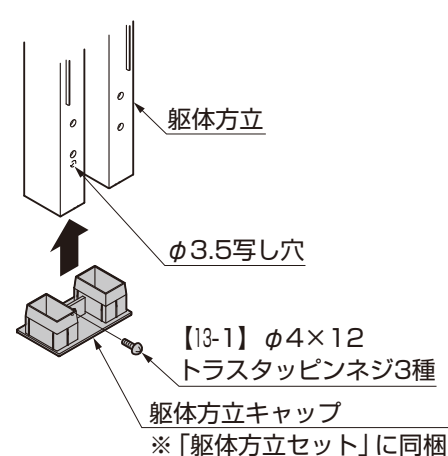


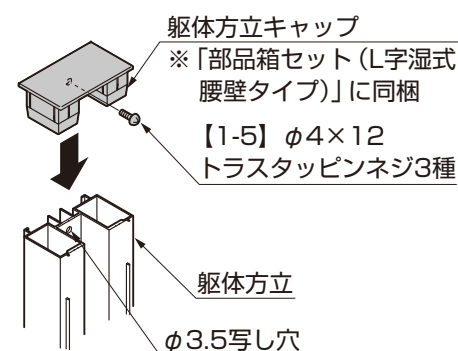
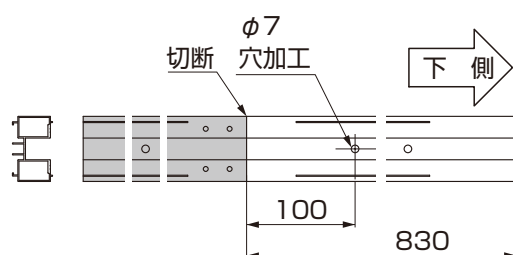
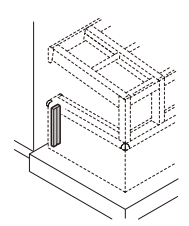
表2-1

	切断寸法L		切断寸法L
H20	2002	H24	2402
H22	2202	ロング	3102



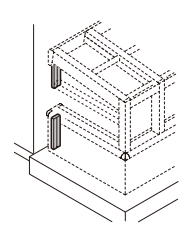
- ①躯体方立を下側から切断してください。
- ②切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③躯体方立の下側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【I3-1】で取付けてください。

(2) オープンテラスタイプおよびサイドスルータイプでL字腰壁の場合



- ①躯体方立を下側から830mmで切断してください。
- ②切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③躯体方立の上側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【I-5】で取付けてください。

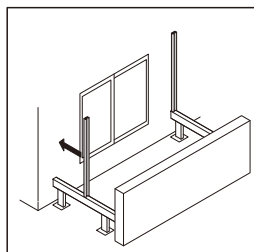
(3) オープンテラスおよびサイドスルータイプのL字腰壁で妻梁上部フィックスがある場合



- ①オープンテラスおよびサイドスルータイプのL字腰壁で妻梁上部フィックスがある場合、(1)・(2)の両方の手順を行ってください。

2. (つづき)

2-2 前面腰壁の場合

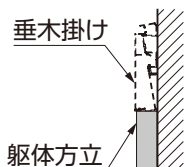


ポイント

- 躯体方立は必ず躯体構造材に取付けてください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

ポイント

- 垂木掛けの位置に影響しますので、躯体方立が垂直になるようにしてください。



〔ガーデンルームタイプの場合〕

〔オープンテラスおよびサイドスルータイプで
妻梁上部フィックスがある場合〕

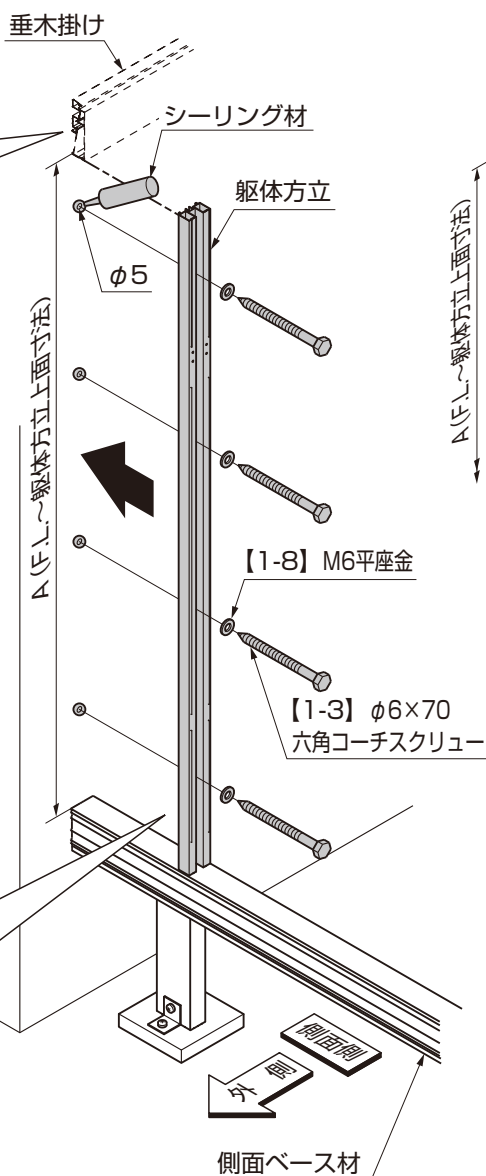
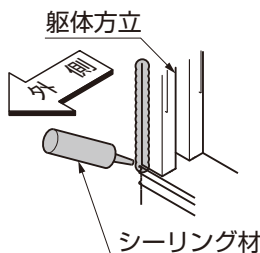


表2-2

高さ呼称	出幅	A
H20	4R	2391
	6R	2497
	8R	2603
	10R	2708
H22	4R	2591
	6R	2697
	8R	2803
	10R	2908
H24	4R	2791
	6R	2897
	8R	3003
	10R	3108

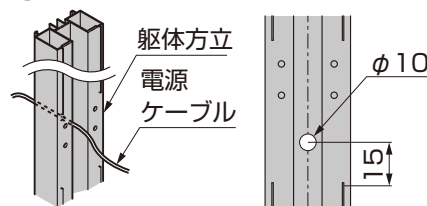
ポイント

- 躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。



【プラズマクラスター オプション】を
取付ける場合

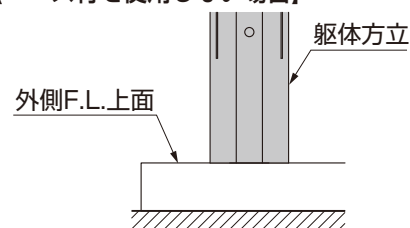
※図は躯体に穴をあけて配線する場合を示します。



ポイント

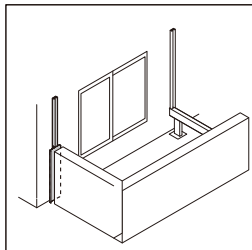
- 躯体にあけた穴はシーリングなどで必ず防水処理を行なってください。

【ベース材を使用しない場合】



- ① 躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。
- ③ 躯体方立を躯体に【1-3】、【1-8】で取付けてください。

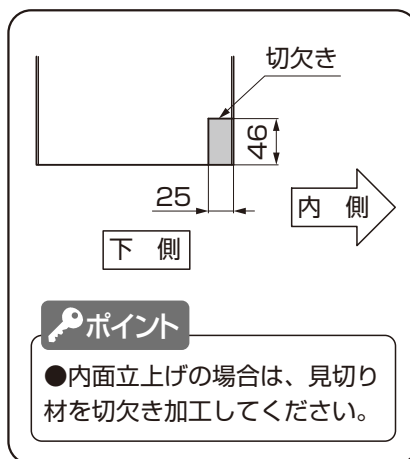
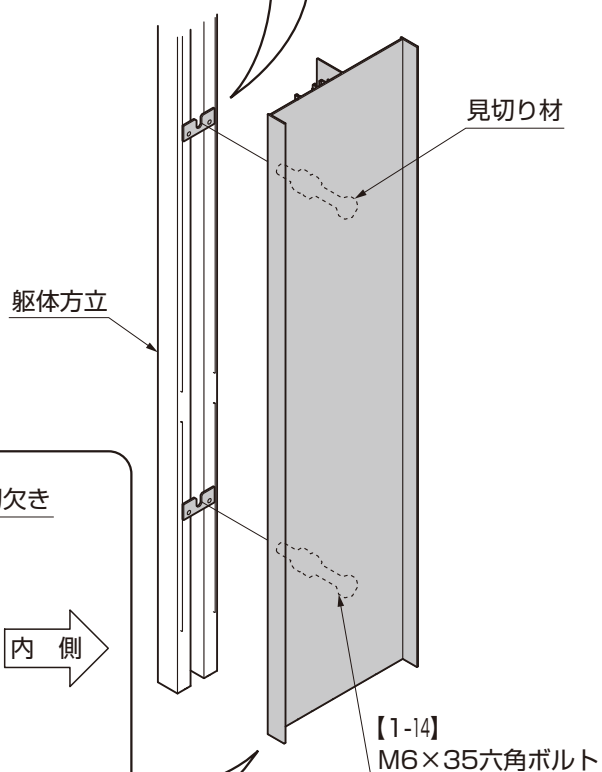
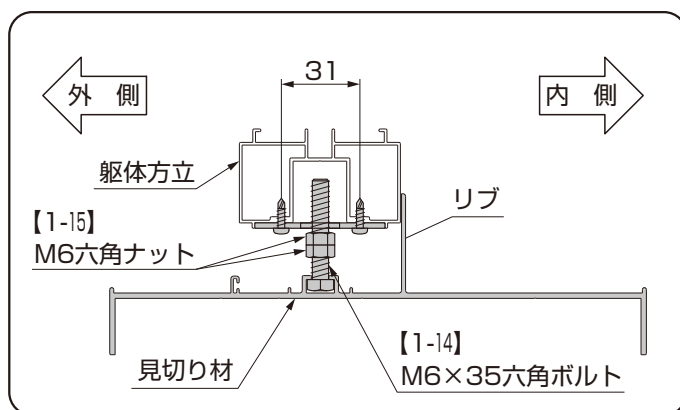
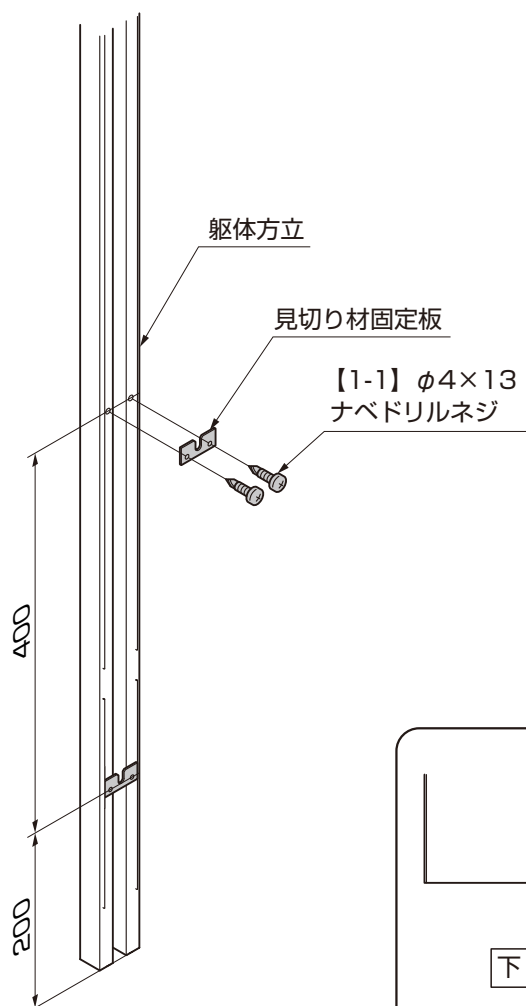
2-3 L字腰壁の場合 ※側面腰壁側にはプラズマクラスター オプション の取付けはできません。



ポイント

●見切り材は、L字腰壁部のみに取付けてください。

(1) 見切り材の取付け



ポイント

●内面立上げの場合は、見切り材を切欠き加工してください。

①躯体方立に見切り材固定板を【1-1】で取付けてください。

②見切り材の溝部に【1-14】を挿入し、【1-14】、【1-15】を見切り固定板の上に乗せてください。

2. (つづき)

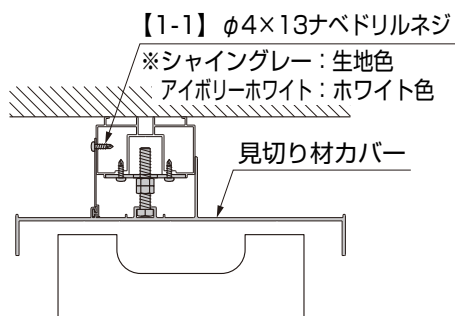
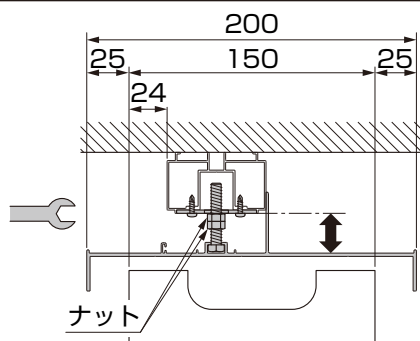
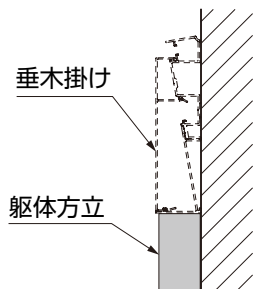
2-3 つづき

(2) 躯体方立の取付け

〔ガーデンルームタイプの場合〕

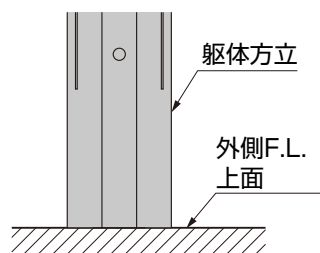
ポイント

- 垂木掛けの位置に影響しますので、躯体方立が垂直になるようにしてください。

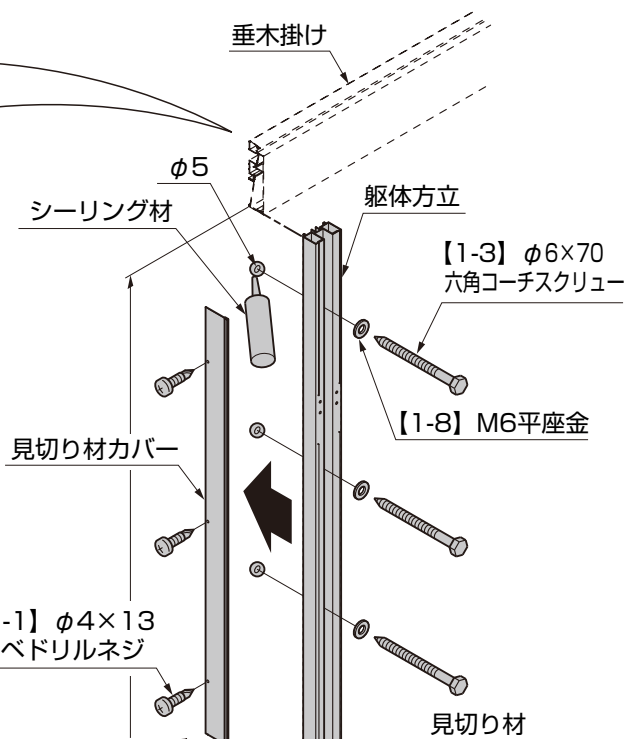
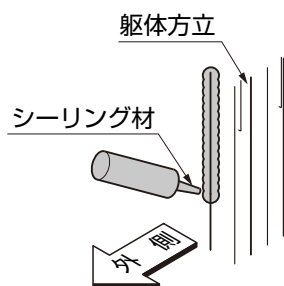


ポイント

- 躯体方立の下端は外側F.L.上面に合わせてください。



- 躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。

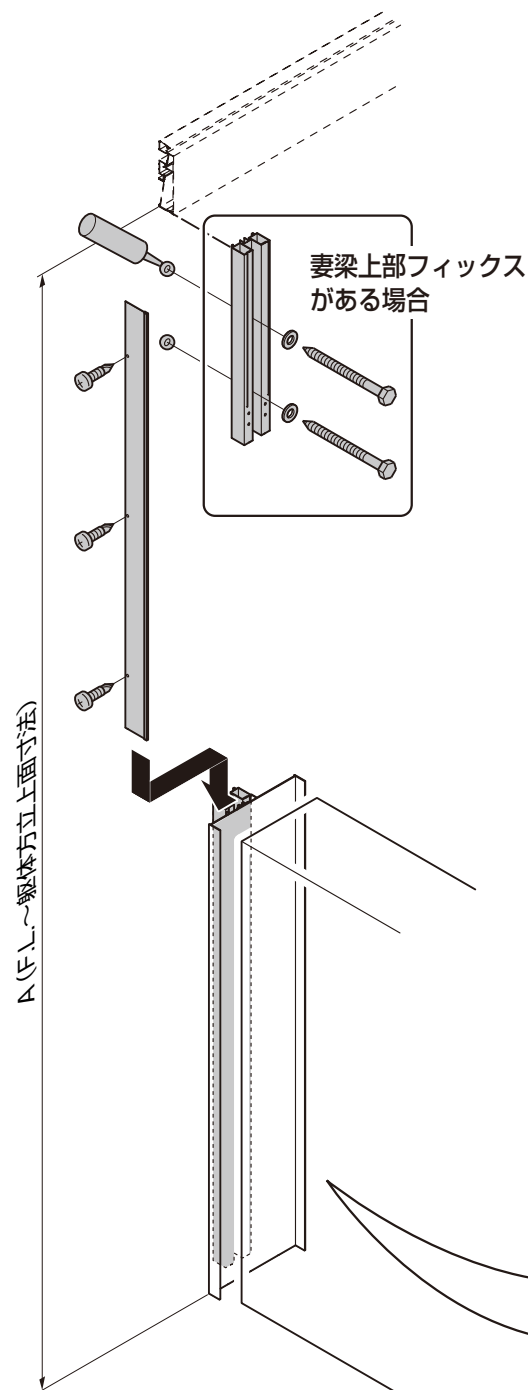


A(F.L.~躯体方立上面方法)

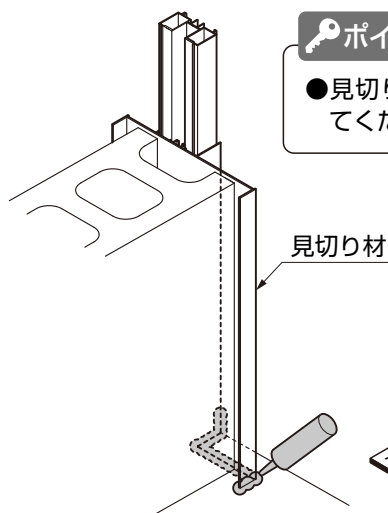
表2-3

高さ呼称	出幅	A
H20	4R	2391
	6R	2497
	8R	2603
	10R	2708
H22	4R	2591
	6R	2697
	8R	2803
	10R	2908
H24	4R	2791
	6R	2897
	8R	3003
	10R	3108

【オープンテラスおよび
サイドスルータイプの場合】



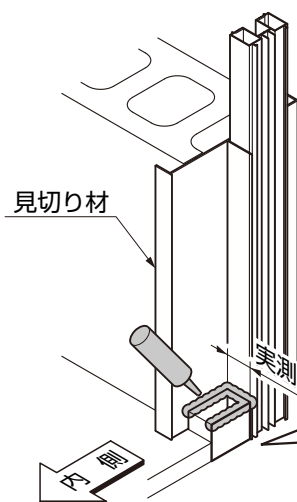
【フラット施工の場合】



ポイント

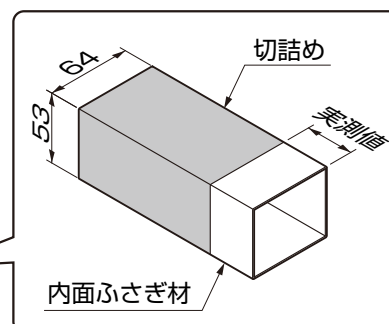
- 見切り材下部をシーリングしてください。

【内面立上げの場合】



ポイント

- 内面ふさぎ材をはめ込み、シーリングしてください。

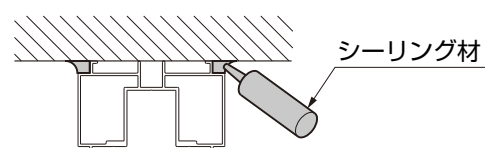


補足

タイプ	腰壁
ST	
OT	

【オープンテラス、サイドスルータイプの
L字腰壁の場合】

- 躯体方立の両側をシーリングしてください。



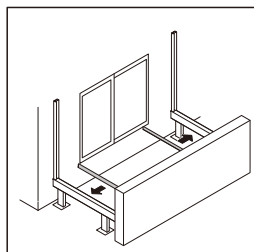
- ①躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングを充てんしてください。
- ③躯体方立と見切り材を、ブロックと躯体の間に差込み、腰壁より上の部分を躯体に【1-3】、【1-8】で取付けてください。
- ④ナット位置を調整し、躯体方立を躯体に押し付けてください。
- ⑤見切り材カバーを見切り材にスライド挿入して【1-1】で取付けてください。

3. 土間見切り材の取付け

※土間仕様でベース納まりの場合の作業です。

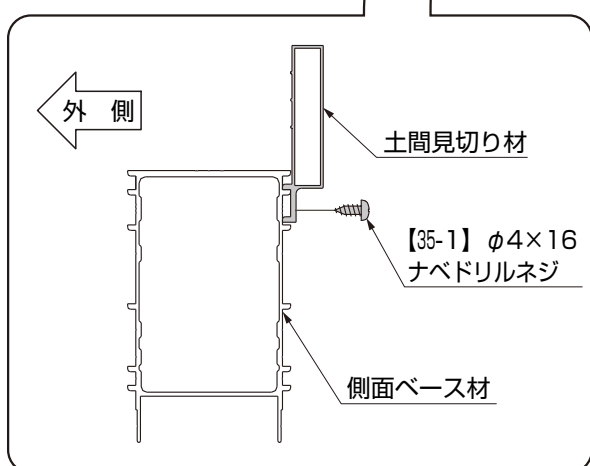
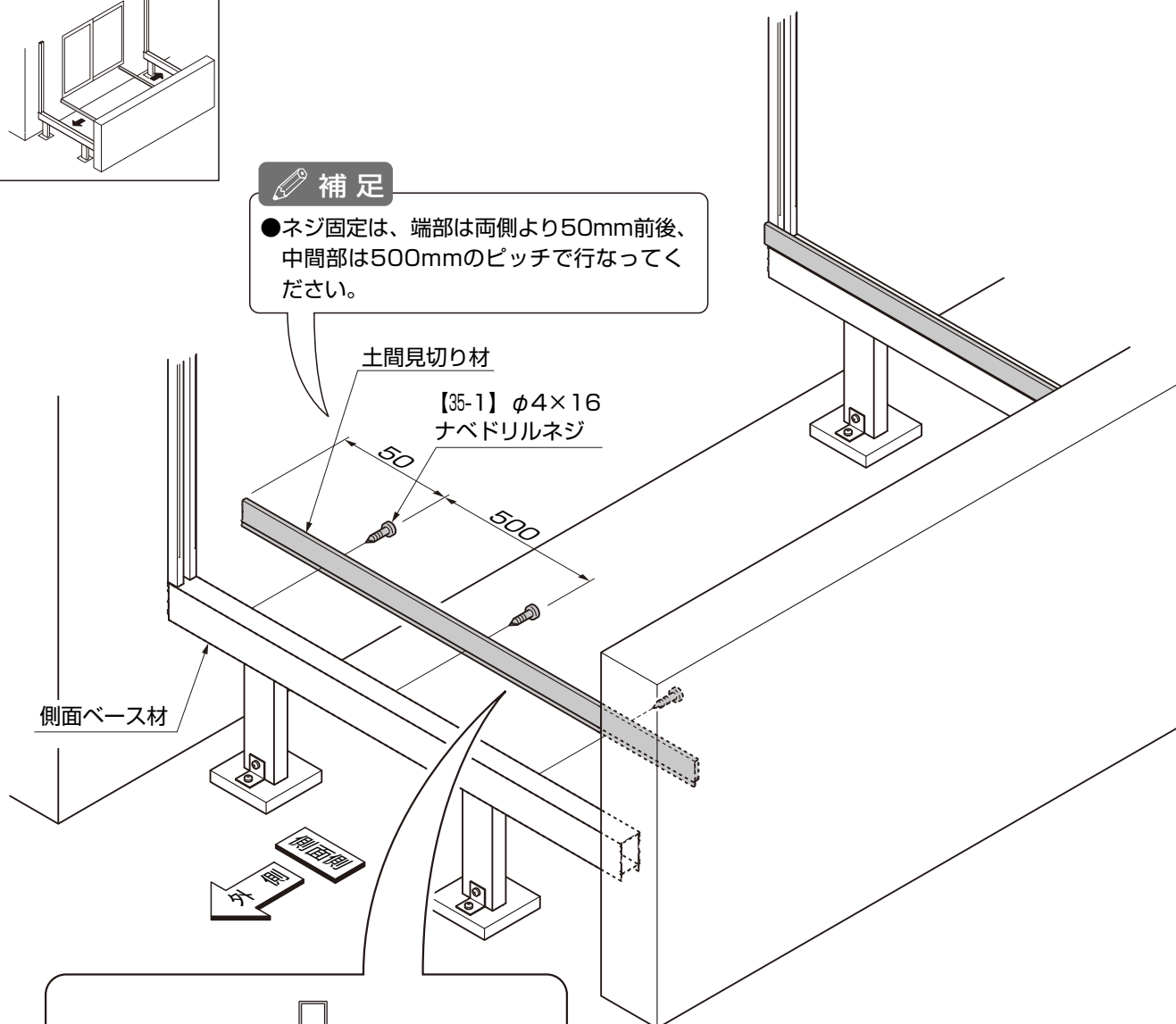
タイプ	腰壁	床	土間	地域
				

3-1 「折戸」「FIX」「カスタムウォール」の土間見切り材の取付け



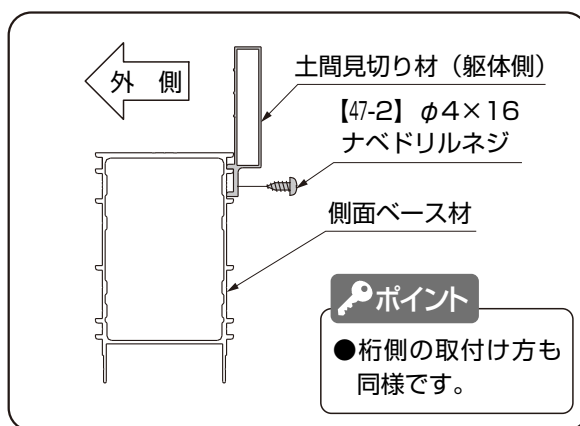
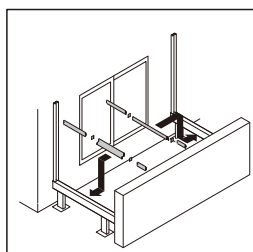
補足

●ネジ固定は、端部は両側より50mm前後、中間部は500mmのピッチで行なってください。



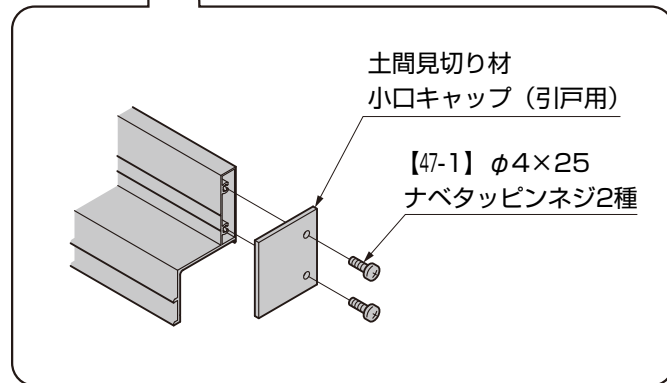
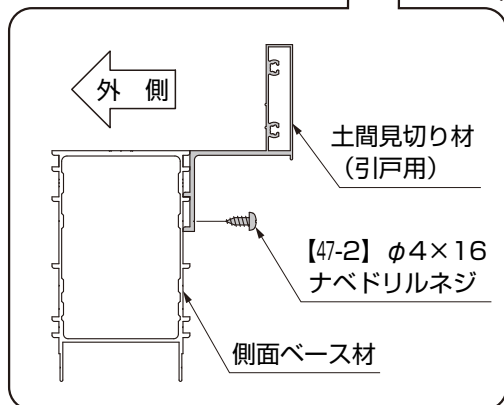
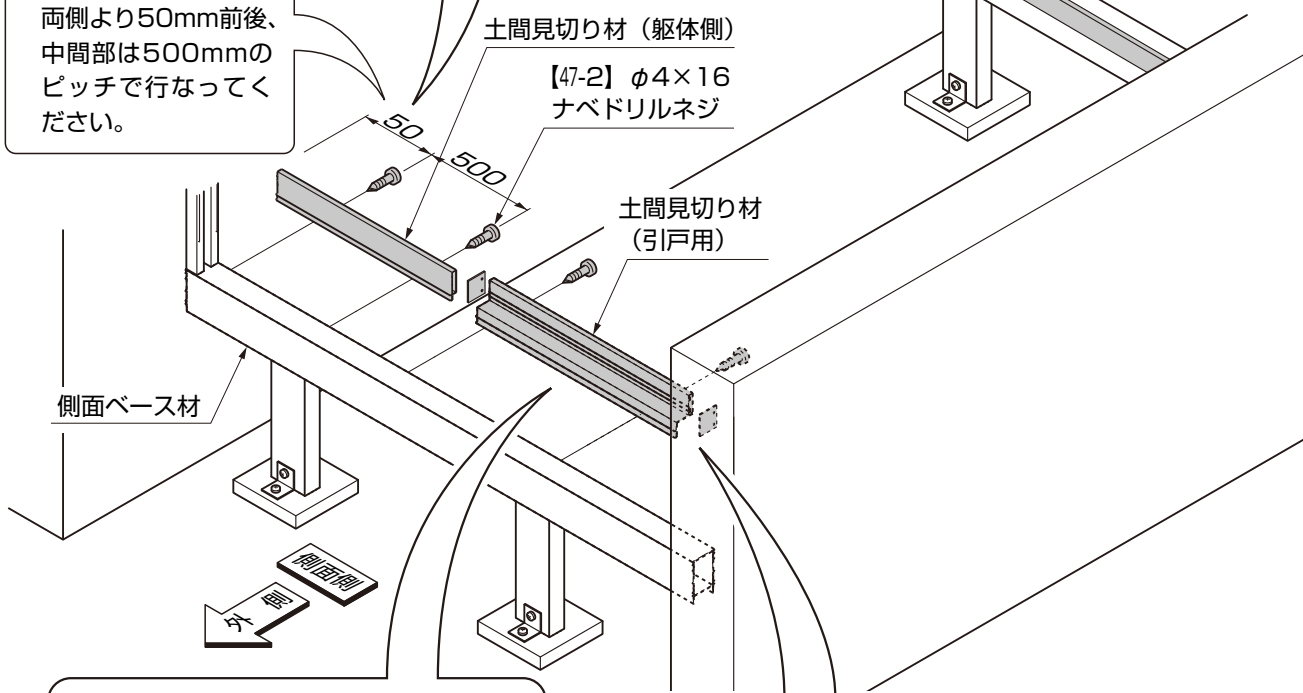
①土間見切り材を側面ベース材に【35-1】で取付けてください。

3-2 「引戸」の土間見切り材の取付け



補足 (Supplement)

●ネジ固定は、端部は両側より50mm前後、中間部は500mmのピッチで行なってください。



- ①土間見切り材小口キャップ (引戸用) を土間見切り材 (引戸用) の両端に 【47-1】 で取付けてください。
- ②土間見切り材 (躯体側) を側面ベース材に 【47-2】 で取付けてください。

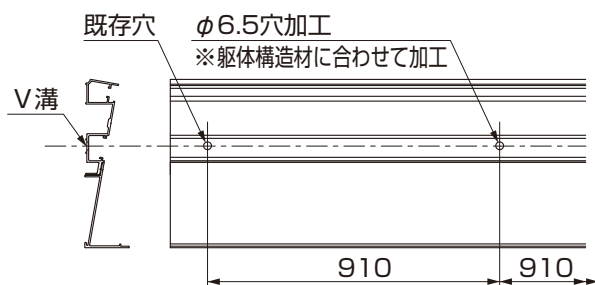
11 部材の組立て

1. 垂木掛けの組立て

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

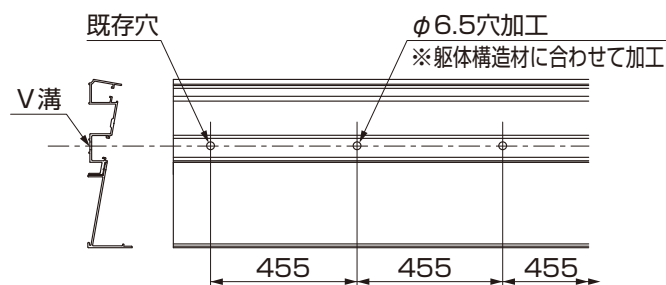
1-1 垂木掛けの加工

(1) 一般地域の場合



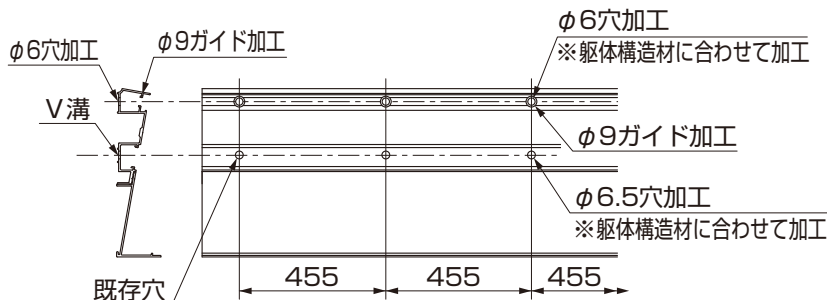
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(2) 積雪地域（積雪地域1500N（50cm相当）の場合）



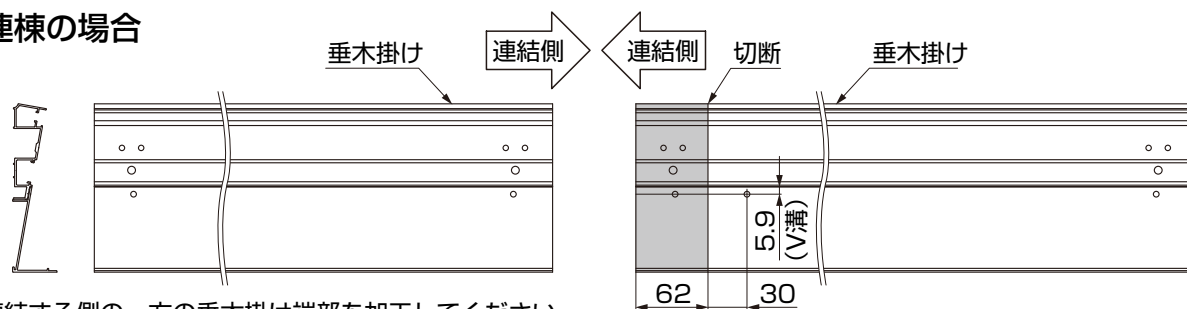
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(3) 積雪地域（積雪地域3000N（110cm相当）の場合）



①垂木掛けに穴加工をしてください。

(4) 連棟の場合

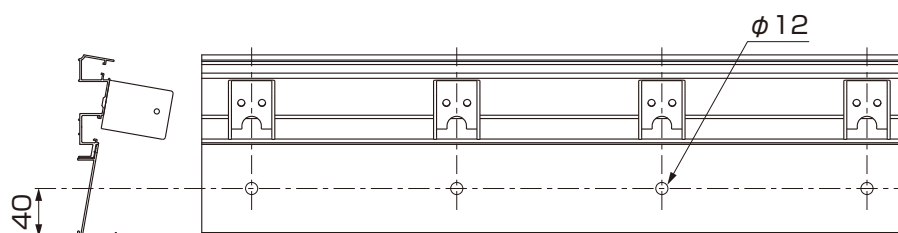


①連結する側の一方の垂木掛け端部を加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

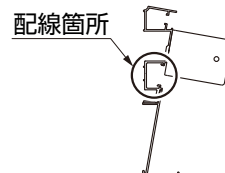
(5) 垂木照明 **オプション** を取付ける場合 ※配線の都合により垂木掛けに穴をあける作業です。



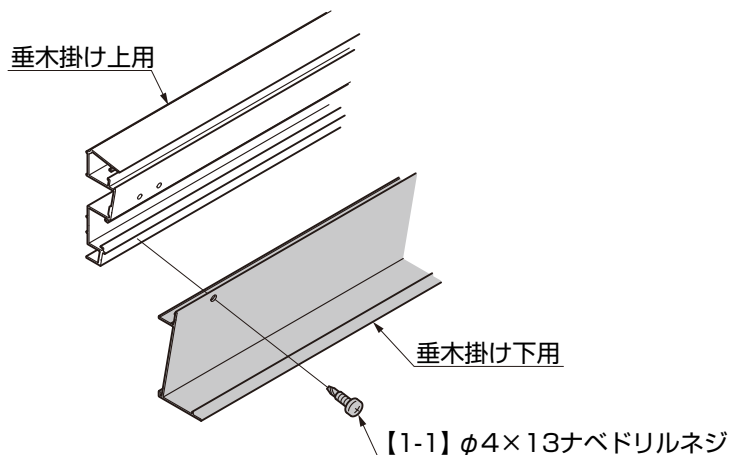
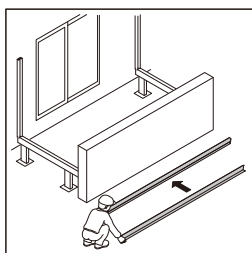
①垂木掛けに穴加工をしてください。

補足

●配線は垂木掛けの溝を使うこともできます。

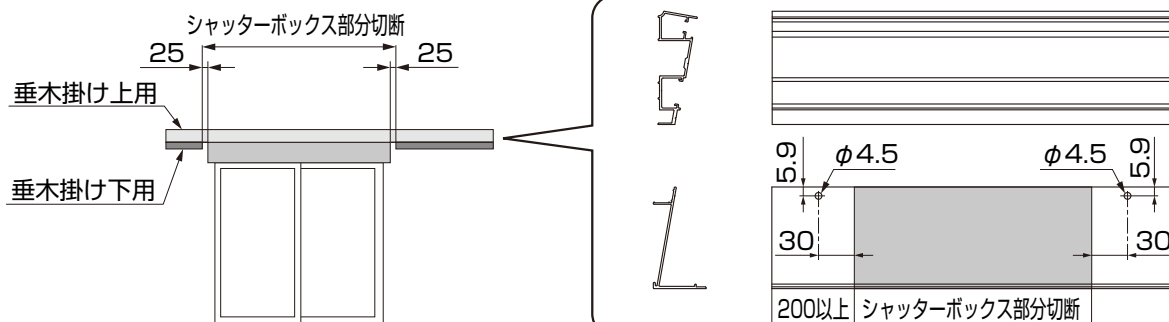


1-2 垂木掛けの組立て



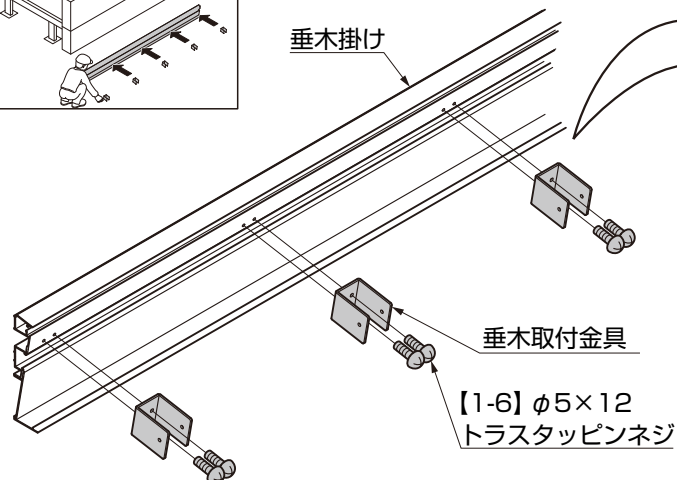
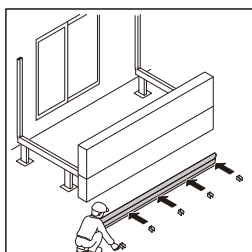
ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け下用は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け下用が必要です。

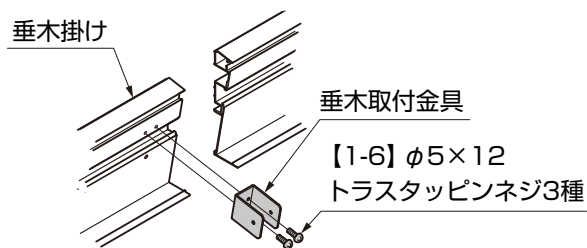


- ①垂木掛け下用を垂木掛け上用に【1-1】で取付けてください。

1-3 垂木取付金具の取付け



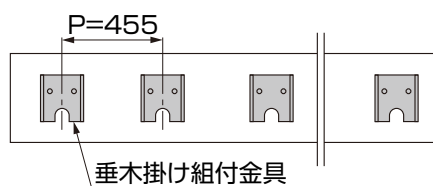
【連棟の場合】



ポイント

【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当) 仕様の場合)

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。

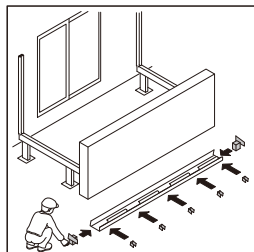


- ①垂木取付金具を垂木掛けに【1-6】で取付けてください。

2. 桁の組立て

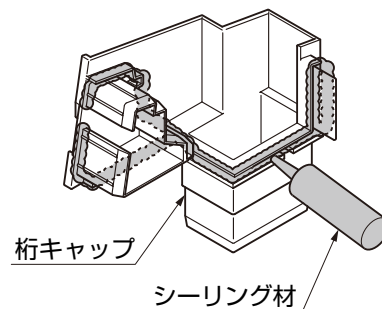
タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

2-1 桁の組立て



ポイント

- 図は右側を示します。左側も同様に取付けてください。
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。



桁キャップ

【1-6】 $\phi 5 \times 12$
トラスタッピンネジ3種

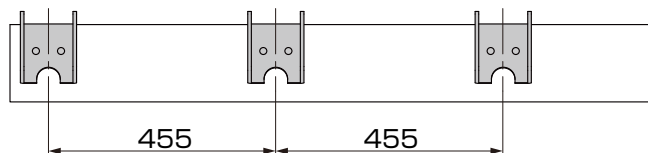
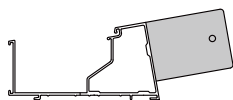
垂木取付金具

【1-2】 $\phi 4 \times 12$
トラスタッピンネジ1種

ポイント

【積雪地域】（積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。



- ①垂木取付金具を桁に【1-6】で取付けてください。
- ②桁キャップをシーリングしてください。

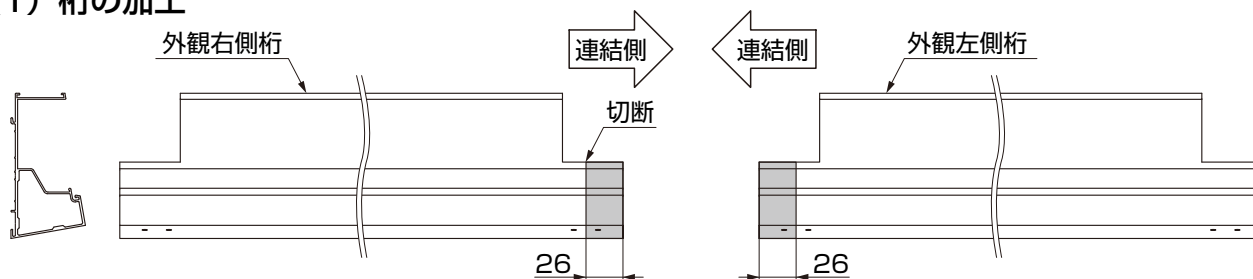
ポイント

- 桁キャップと桁を組付けた後にシーリングが桁と桁キャップの両方に十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど塗布が不十分な場合は追加してください。

- ③桁キャップを桁に【1-2】で取付けてください。

2-2 連棟の場合

(1) 桁の加工



①左右の桁を均等に切断してください。

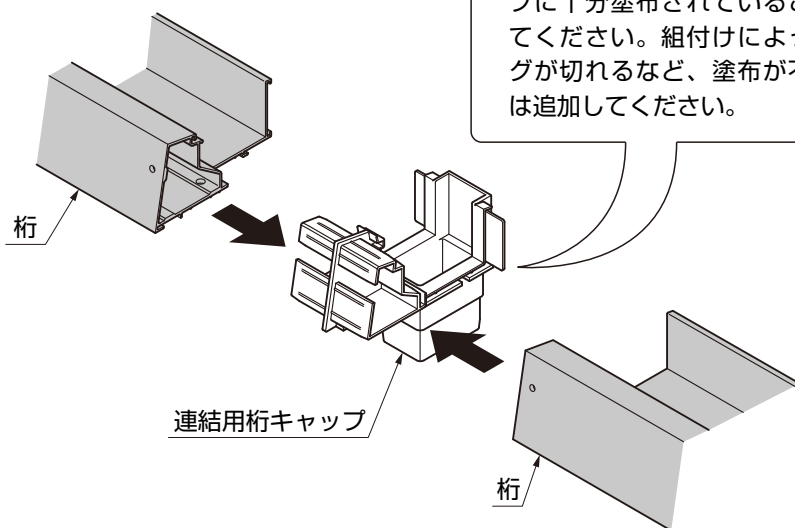
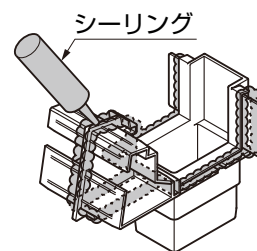
ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

(2) 桁の連結

ポイント

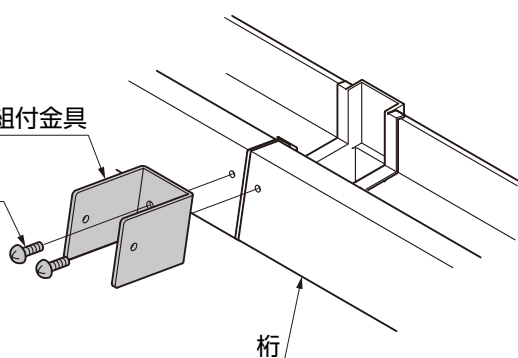
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 組付け後はシーリングが桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど、塗布が不十分な場合は追加してください。



①連結用桁キャップにシーリングしてください。

②左右の桁を連結用桁キャップにはめ込んでください。

垂木組付金具
【1-6】φ5×12
トラスタッピンネジ3種



③垂木組付金具を、連結した桁に【1-6】で取付けてください。

12 腰壁部の施工

1. 部材の加工

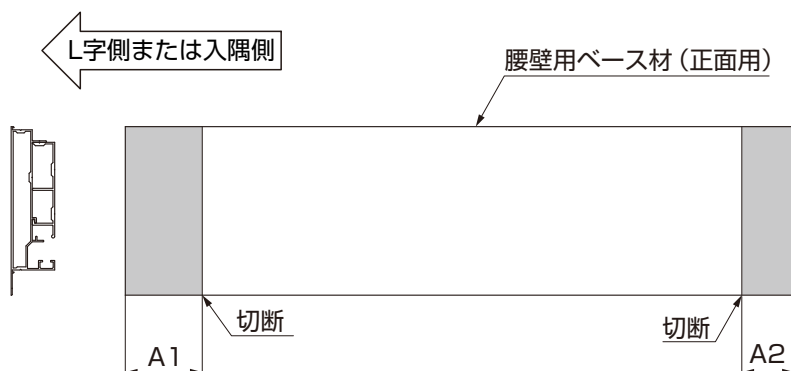
タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

1-1 部材単体（連結なし）の場合

ポイント

- 本図は外観左にL字腰壁または入隅腰壁とした場合の加工を示します。
外観右にL字腰壁または入隅腰壁とする場合は左右対象加工となります。
- 腰壁間口延長（+1.0間）の場合は、本項（部材単体）の加工をした部材に、間口延長用の部材を継ぎ足して連結してください。※間口延長用側の部材は切詰め加工不要です

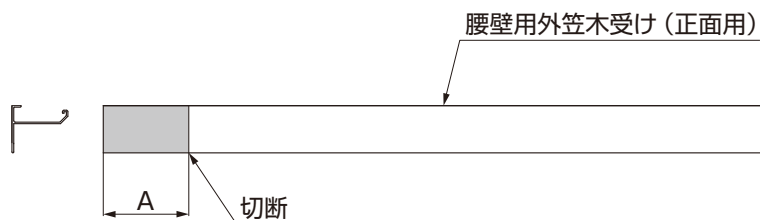
(1) 腰壁用ベース材（正面用）の加工



①部材を加工してください。

納まり	間口	切詰め寸法	
		A1	A2
前面腰壁	—	切詰めなし	
L字腰壁	1.0間	226.5	163.5
	1.5間	171.5	18.5
	2.0間	116.5	73.5
	2.5間	61.5	28.5
	3.0間	206.5	83.5
入隅腰壁	1.0間	226.5	145
	1.5間	171.5	0
	2.0間	116.5	55
	2.5間	61.5	10
	3.0間	206.5	65

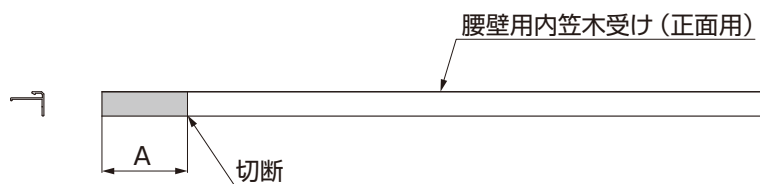
(2) 腰壁用外笠木受け（正面用）の加工



①部材を加工してください。

納まり	間口	切詰め寸法 A
前面腰壁	—	切詰めなし
L字腰壁	1.0間	380
	1.5間	180
	2.0間	180
	2.5間	80
	3.0間	280
入隅腰壁	1.0間	357
	1.5間	157
	2.0間	157
	2.5間	57
	3.0間	257

(3) 腰壁用内笠木受け(正面用)の加工



納まり	間口	切詰め寸法 A
前面腰壁	—	切詰めなし
L字腰壁	1.0間	555
	1.5間	355
	2.0間	355
	2.5間	255
	3.0間	455
入隅腰壁	1.0間	357
	1.5間	157
	2.0間	157
	2.5間	57
	3.0間	257

①部材を加工してください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

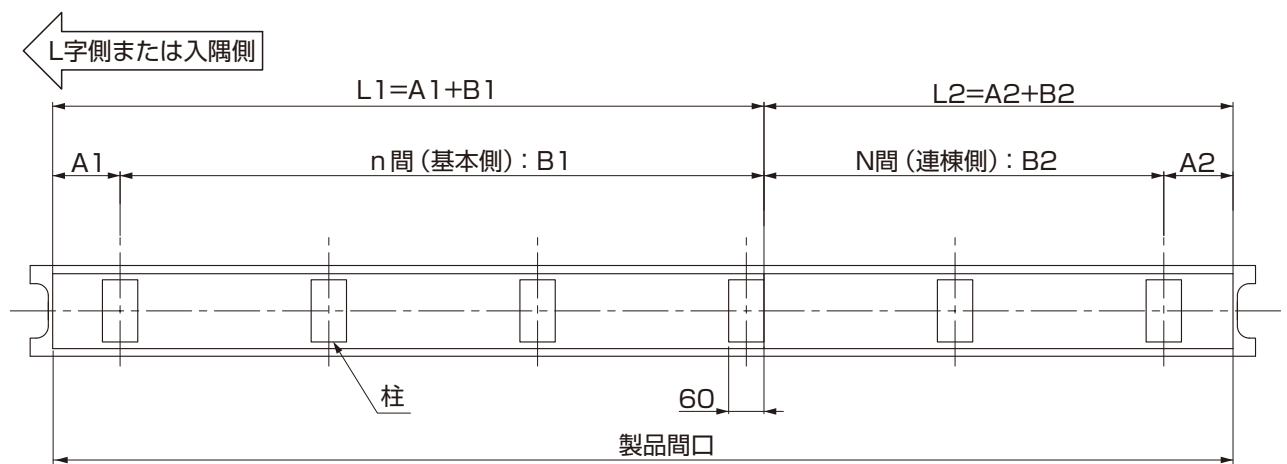
.....

1. (つづき)

1-2 部材連結（連棟、ガーデンルームプラス）の場合

ポイント

- 本図は外観左を基本側、外観右を連棟側とした場合の加工を示します。
外観右を基本側とする場合は左右対象加工となります。
- 本図は外観左にL字腰壁または入隅腰壁とした場合の加工を示します。
外観右にL字腰壁または入隅腰壁とする場合は外観右を基本側として、左右対象加工となります。

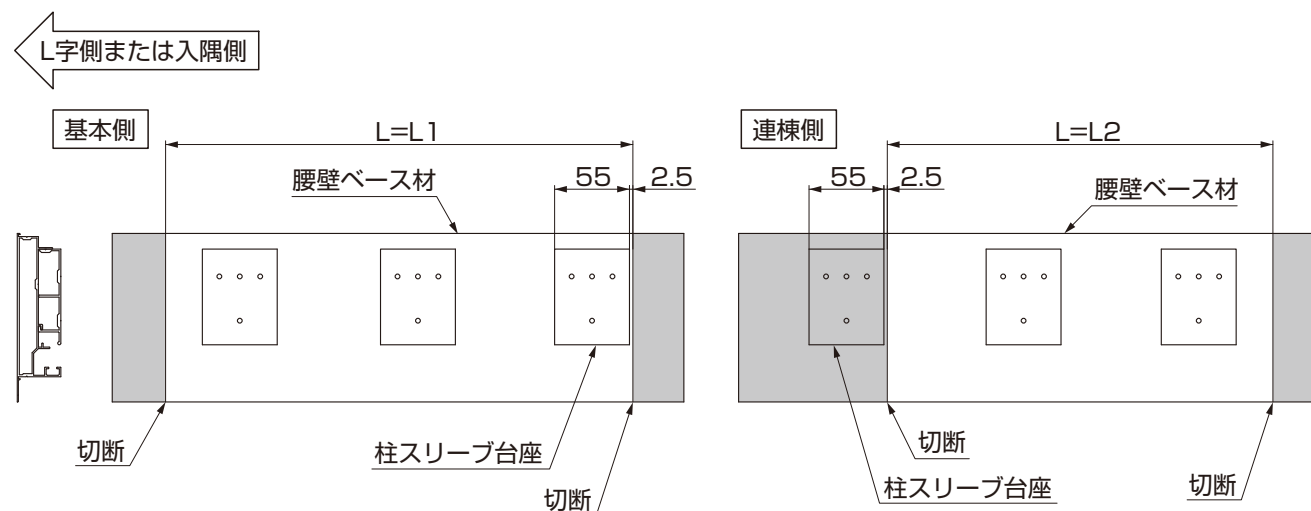


間口	はね出し寸（基本側） A1			はね出し寸（連棟側） A2		
	前面腰壁	L字腰壁	入隅腰壁	前面腰壁	L字腰壁	入隅腰壁
1.5間	201.5	30	30	201.5	183	201.5
2.0間	146.5			146.5	73	91.5
2.5間	91.5			91.5	63	81.5
3.0間	236.5			236.5	153	171.5
3.5間	81.5			81.5	118	136.5
4.0間	91.5			161.5	108	126.5
4.5間	236.5			106.5	98	116.5
5.0間	146.5			86.5	88	106.5
5.5間	236.5			86.5	78	96.5
6.0間	236.5			176.5	168	186.5

n間	B1
0.5間	940
1.0間	1850
1.5間	2760
2.0間	3670
2.5間	4580
3.0間	5490

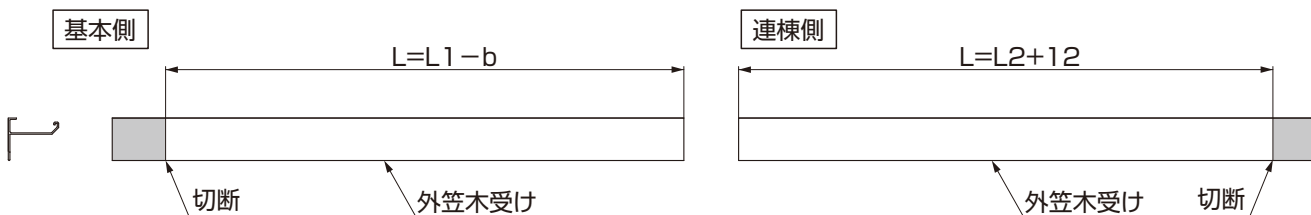
N間	B2
0.5間	880
1.0間	1790
1.5間	2700
2.0間	3610
2.5間	4520
3.0間	5430

(1) 腰壁用ベース材（正面用）の加工



①部材を加工してください。

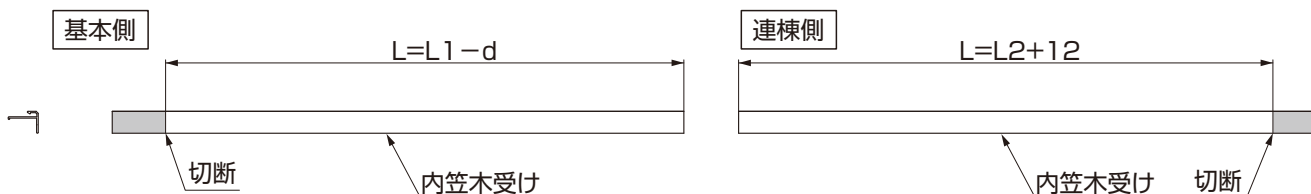
(2) 腰壁用外笠木受け（正面用）の加工



納まり	b
前面腰壁	48
L字腰壁	37
入隅腰壁	32

①部材を加工してください。

(3) 腰壁用内笠木受け（正面用）の加工

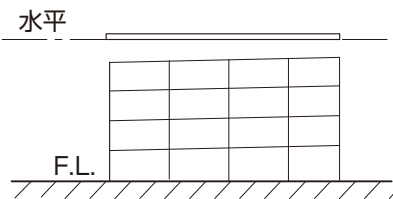
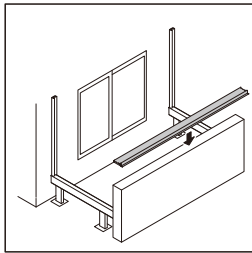


納まり	d
前面腰壁	48
L字腰壁	212
入隅腰壁	32

①部材を加工してください。

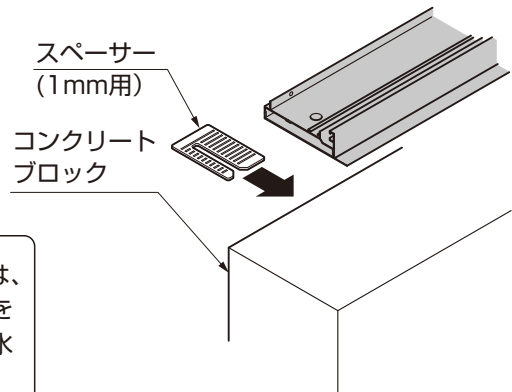
2. 腰壁用ベース材の取付け

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				



ポイント

- コンクリートブロックが水平でない場合は、ベース材が水平になるようにスペーサーをコンクリートブロックとの間にはさみ、水平になるように調整してください。



【L字腰壁の場合】



【1-10】、【45-1】 M8用座金付ナット

【1-10】、【45-1】 M8×50
打ち込み式アンカー

腰壁ベース材

スペーサー(1mm用)

ポイント

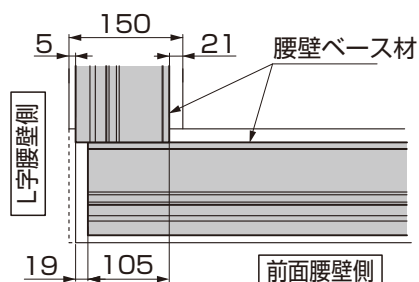
- ブロック天面は前面側と側面側に段差がなく、平滑に仕上げてください。

表2-1 L字部穴あけ個数

出幅	4R	6R	8R	10R
個数	3	5	6	8

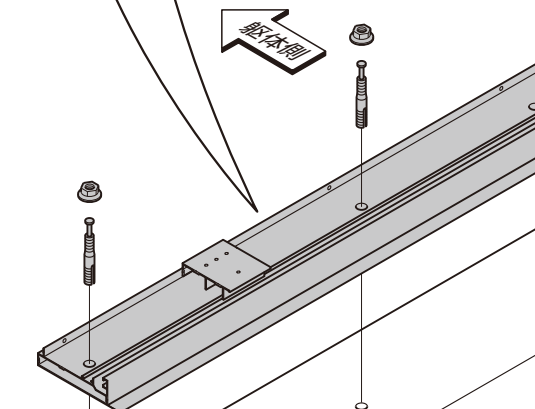
ポイント

- L字腰壁側を前面腰壁側に突き当てて取付けます。



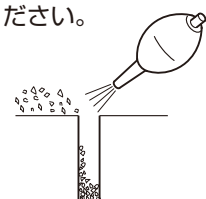
ポイント

- 前面側と側面側の腰壁ベース材に段差が生じる場合は、スペーサーをはさみ、高さを合わせるように調整してください。

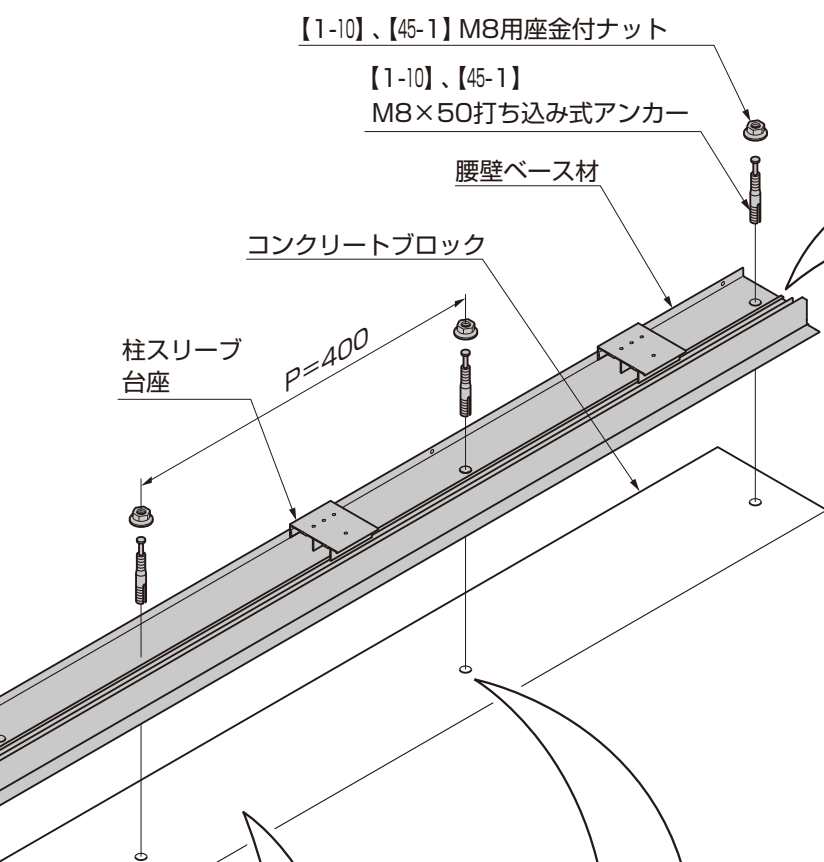


ポイント

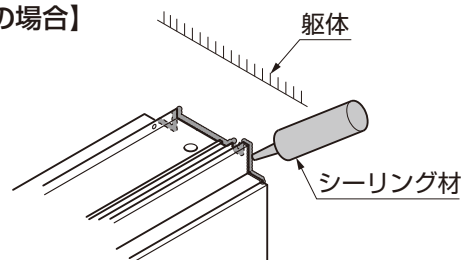
- コンクリートに穴をあけた後、穴にたまっている粉を吹き出してください。



- ①コンクリートブロックの天面に腰壁ブロック防水テープを張付けてください。
- ②腰壁ベース材の躯体側面～躯体間をD寸法で位置決めしてください。（図2-1参照）
- ③コンクリートブロックにφ8.5、深さ35の穴をあけてください。
- ④腰壁ベース材をコンクリートブロックに【1-10】、【45-1】で取付けてください。
- ⑤取付けた【1-10】、【45-1】の周りをシーリングしてください。



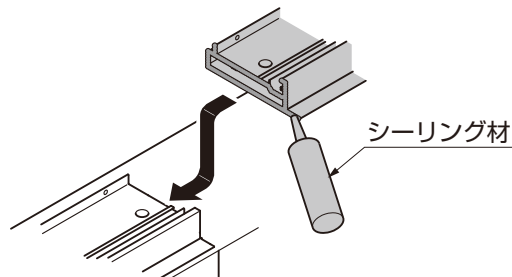
【入隅の場合】



ポイント

- ベース材を躯体の取合せ部にシーリングしてください。

【連棟、ガーデンルームプラスの場合】



ポイント

- 腰壁ベース材にシーリングして取付けてください。

【腰壁ベース材取付位置】

【1-10】、【45-1】

M8用座金付ナット

【1-10】、【45-1】

M8×50打ち込み式

アンカー

D=4R (1205)

6R (1805)

8R (2405)

10R (3005)

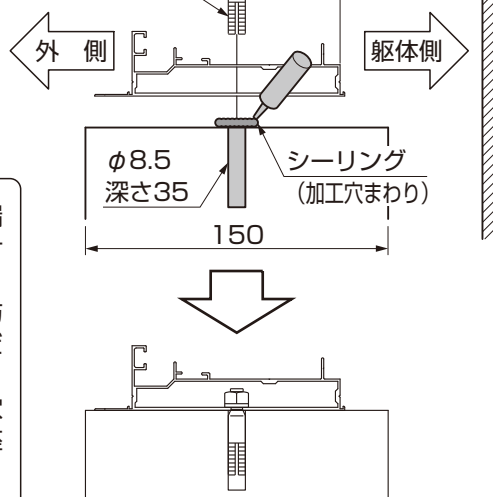


図2-1

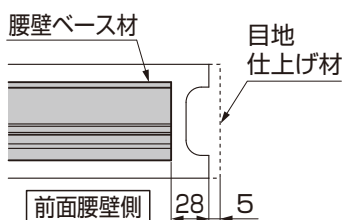


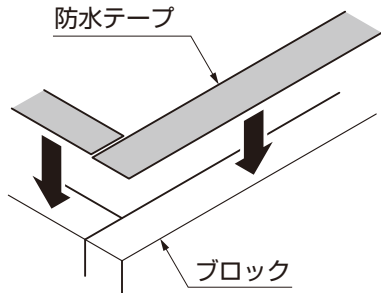
表2-2 穴あけ個数

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
個数	6	8	10	12	15

ポイント

- 腰壁ベース材の端部はブロック端部より28.5mmの位置で取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- 柱台座スリーブとアンカー固定穴が重なる場合は、柱スリーブ台座を外してアンカー固定後、柱スリーブ台座を付け直してください。

腰壁ブロック
防水テープ



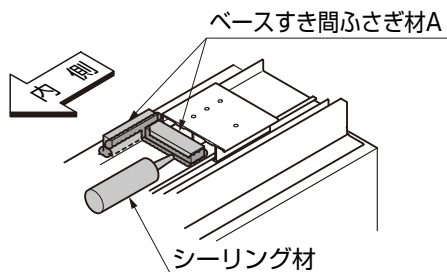
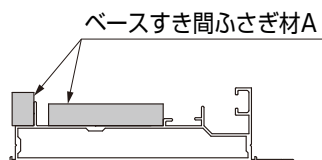
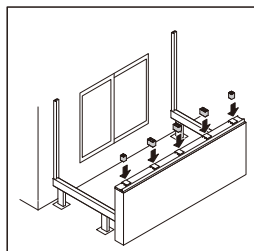
ポイント

- コンクリートブロックの天面に腰壁ブロック防水テープをブロック幅に対して均一になるように張付けてください。また、長さの余剰分はカットしてください。

13 フレーム部の施工

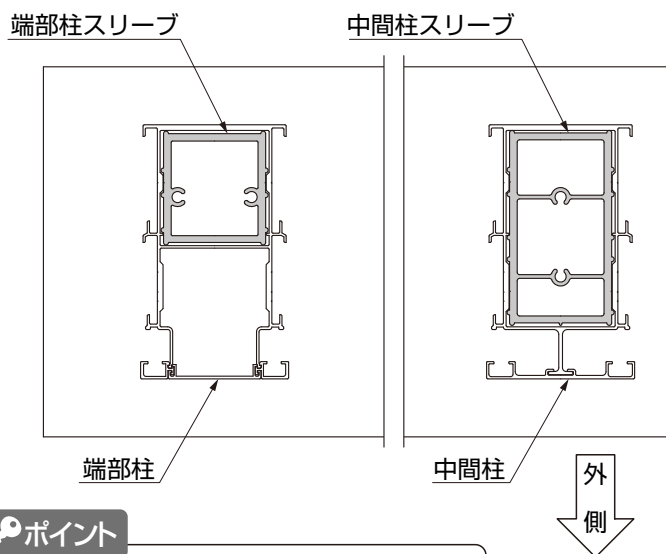
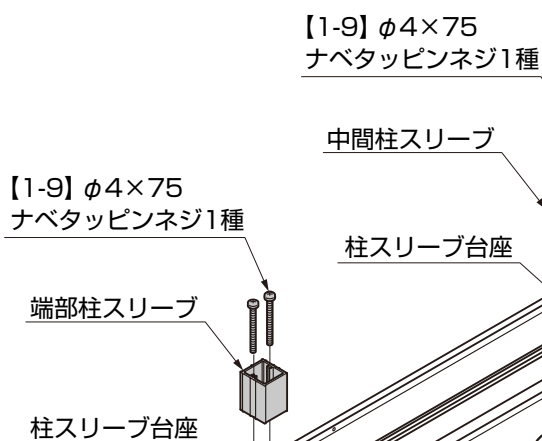
1. 柱スリーブの取付け

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				



ポイント

●端部柱用の柱スリーブ台座の内側にベースすき間ふさぎ材Aを張付け、シーリングしてください。



ポイント

●柱スリーブには取付けの向きがあります。

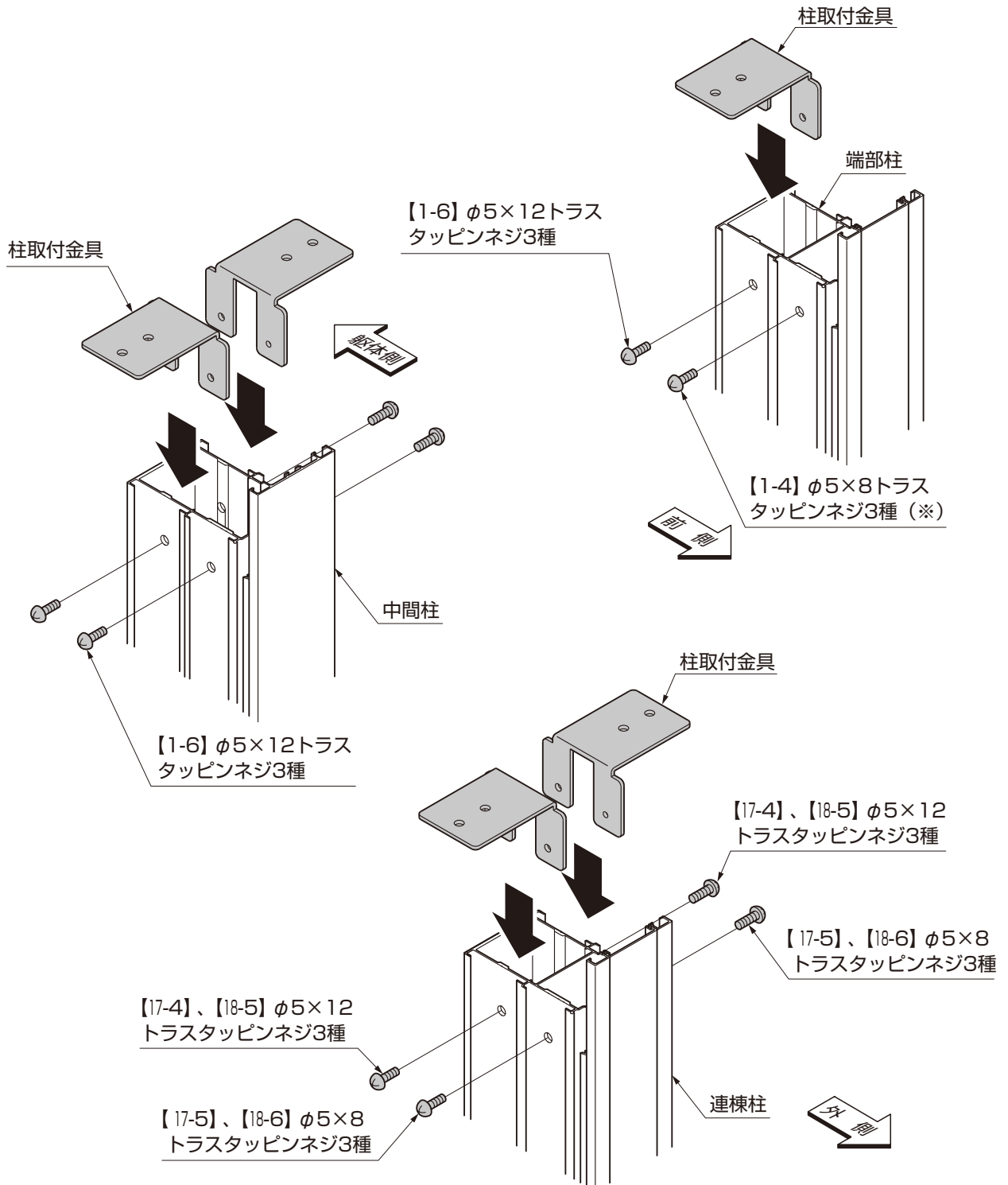
①中間柱スリーブ、端部柱スリーブを柱スリーブ台座に【1-9】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

2. 柱の組立て

ポイント

●図は右側を示しています。左側は左右対称です。



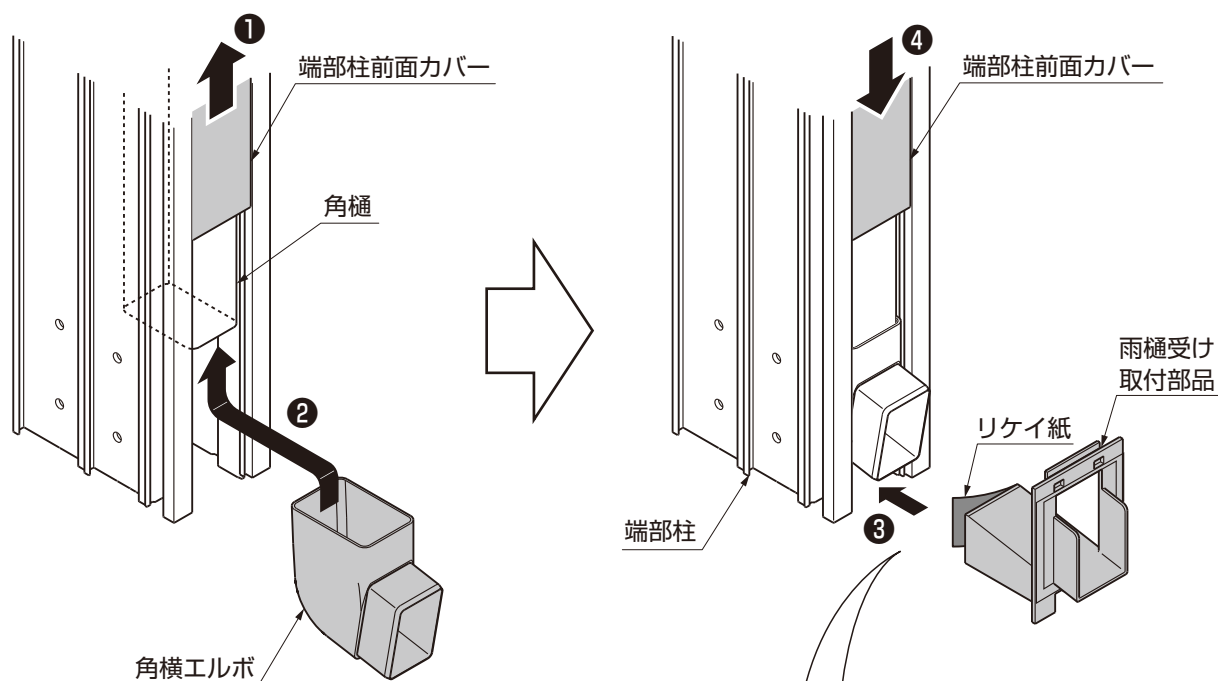
①柱取付け金具を端部柱と中間柱に【1-6】、【1-4】で取付けてください。

ポイント

●端部柱の前側は雨樋と干渉しないよう「φ5×8トラスタッピンネジ3種」を使用してください。（※）

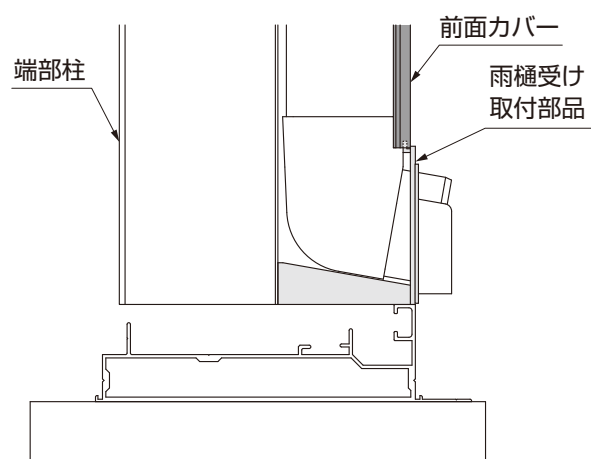
3. 雨樋の取付け

3-1 通常排水の場合



ポイント

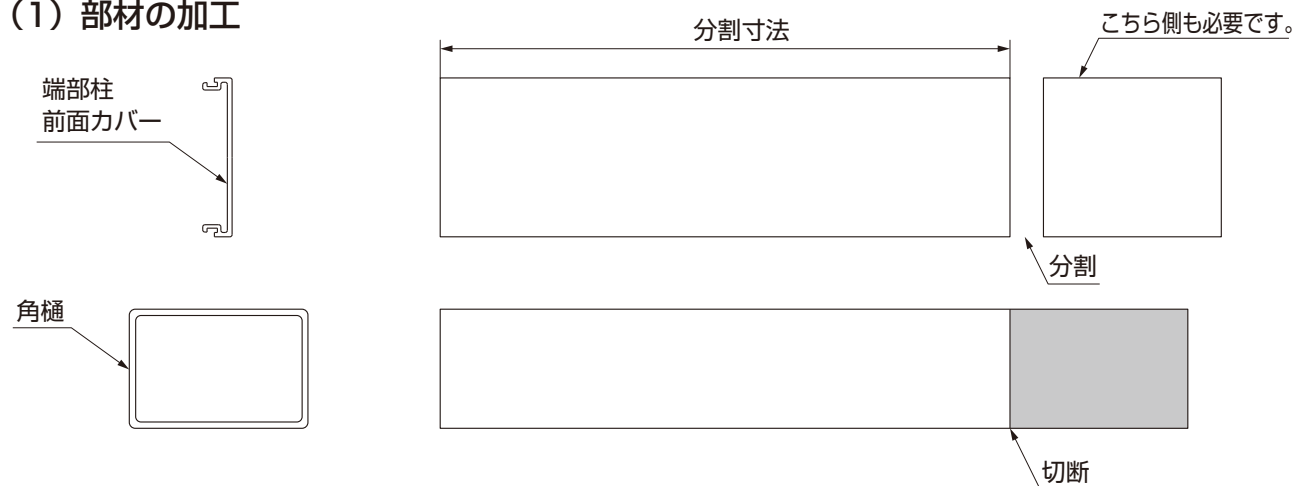
●雨樋受け取付部品の上に前面カバーを乗せてください。



- ①端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ②雨樋受け取付部品のリケイ紙をはがし、端部柱に取り付けてください。
- ③端部柱前面カバーを下ろし、雨樋受け取付部品に乗せてください。

3-2 下排水の場合 ※積雪対応や障害物を避けるため排水位置を上方に変更する方法です。

(1) 部材の加工

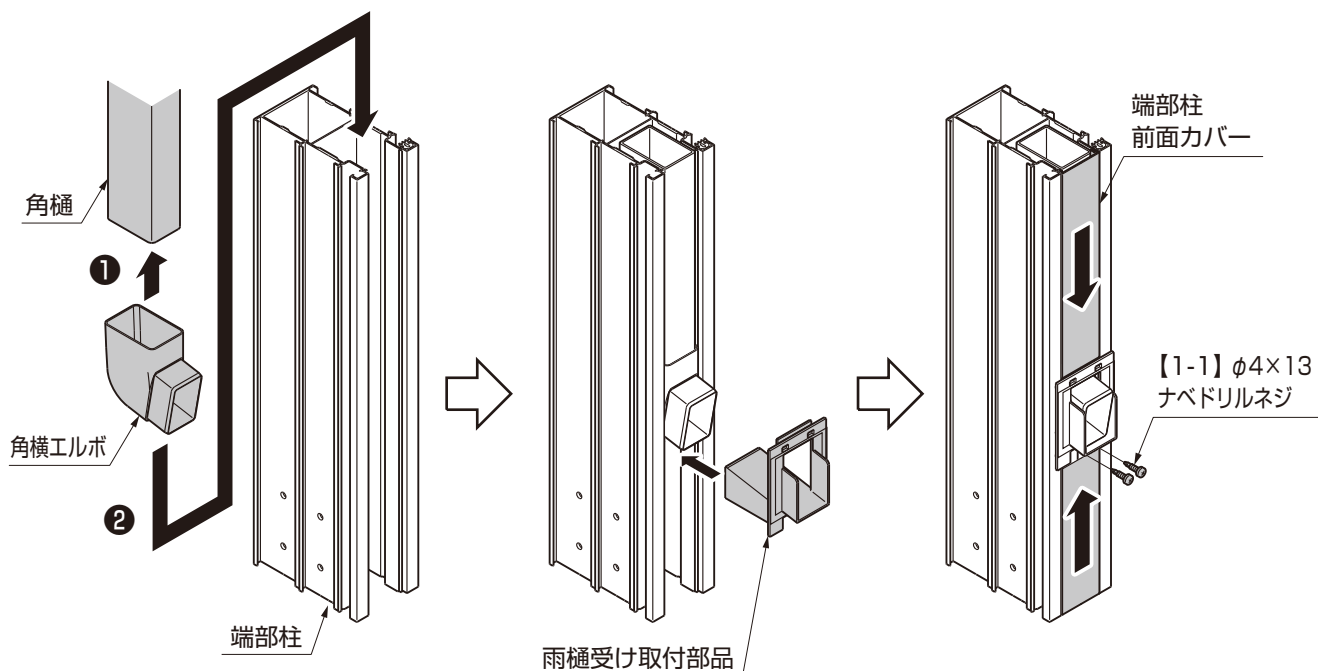


①端部柱から端部柱前面カバー、角樋を引抜き切断・分割してください。

ポイント

- 排水位置の上限は雨樋受け部品上部の端部柱前面カバーが100mm未満にならない位置までです。
端部柱内角樋のL寸は、「(切断前の角樋長さ) - (端部柱前面カバー分割寸法)」より求められます。

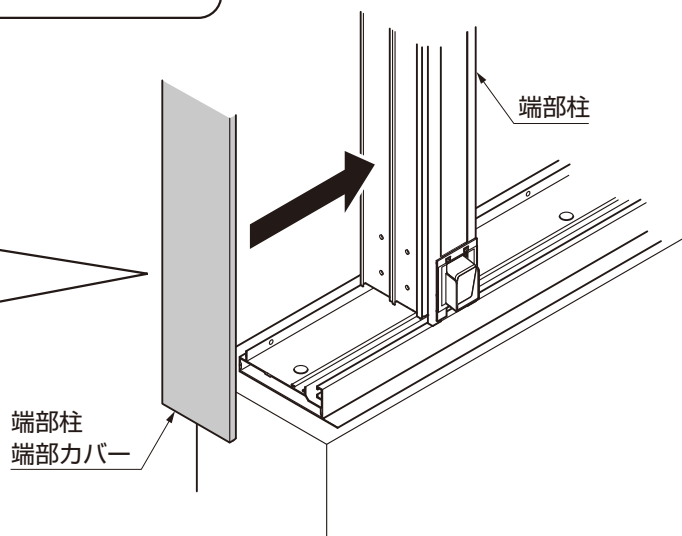
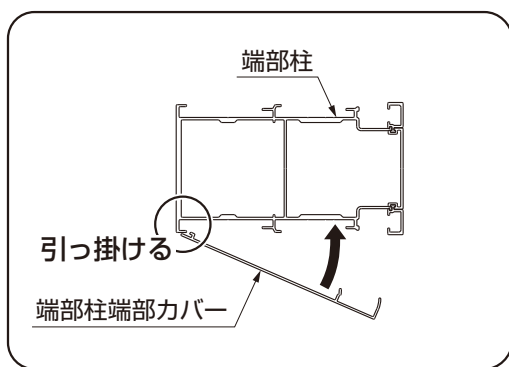
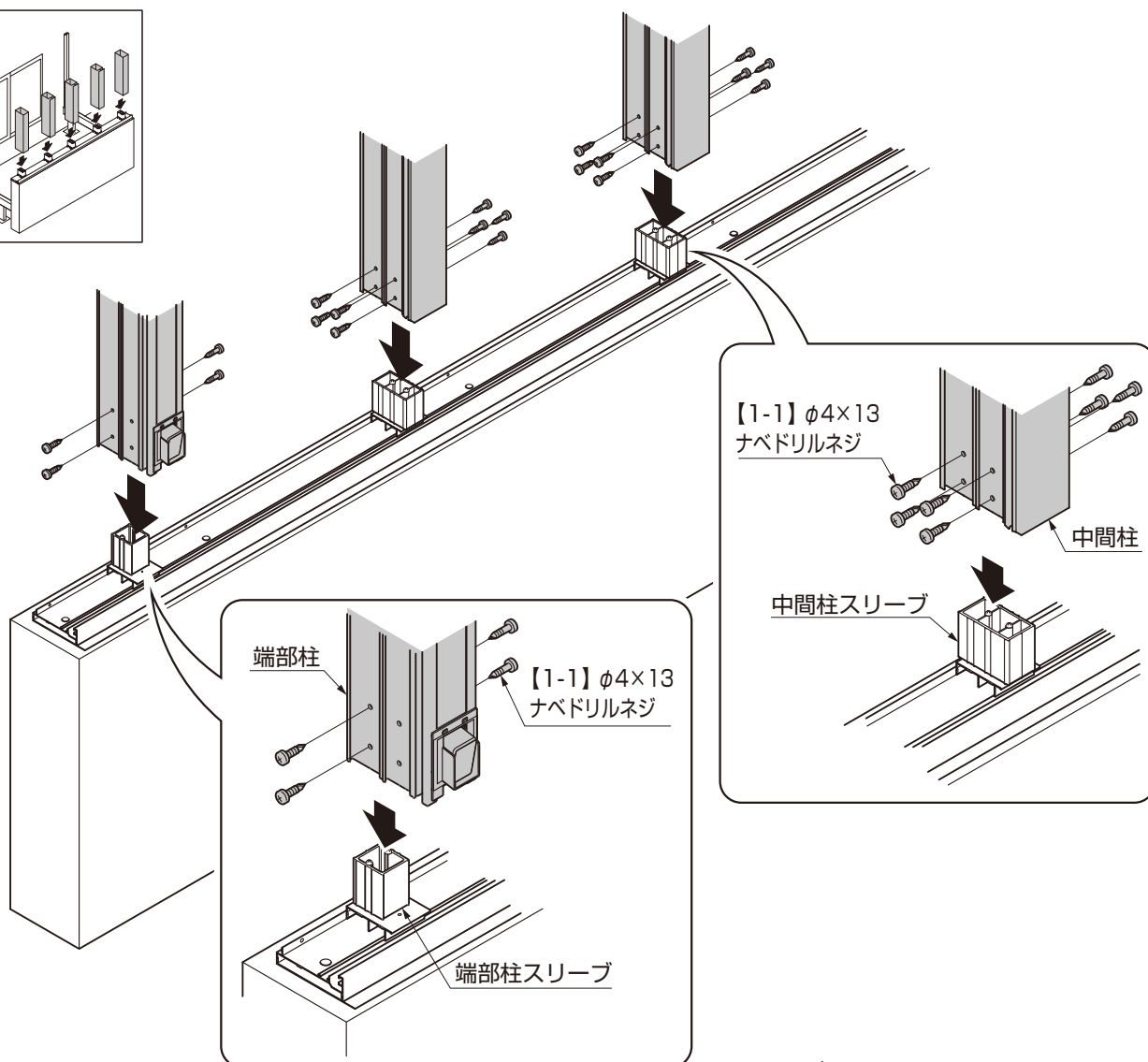
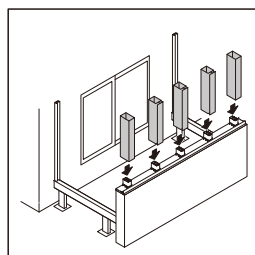
(2) 排水口の高さ調整



- ①角横エルボを角樋に取付け、端部柱にセットしてください。
- ②雨樋受け取付部品を端部柱にセットしてください。(ネジ固定はしないでください。)
- ③上下の端部柱前面カバーで雨樋受け取付部品をはさんでください。
- ④この位置で雨樋受け取付部品を端部柱に【1-1】で固定してください。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

4. 柱の建込み



- ① 中間柱を中間柱スリーブに【1-1】で取付けてください。
- ② 端部柱を端部柱スリーブに【1-1】で取付けてください。
- ③ 端部柱端部カバーを端部柱に取付けてください。

5. 入隅の場合

※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対象です。

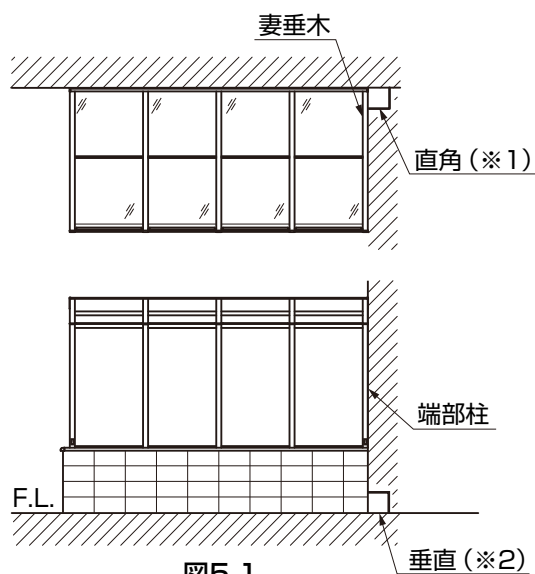


図5-1

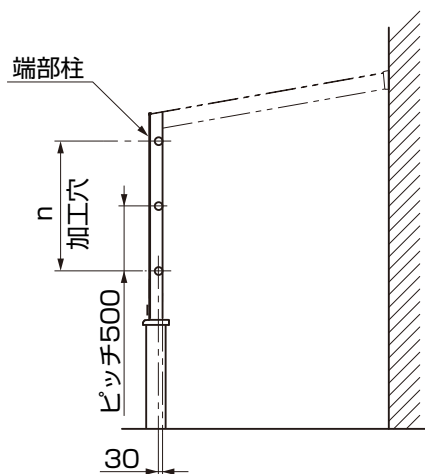


図5-2

表5-1

	加工穴n
H20	3
H22	3
H24	4

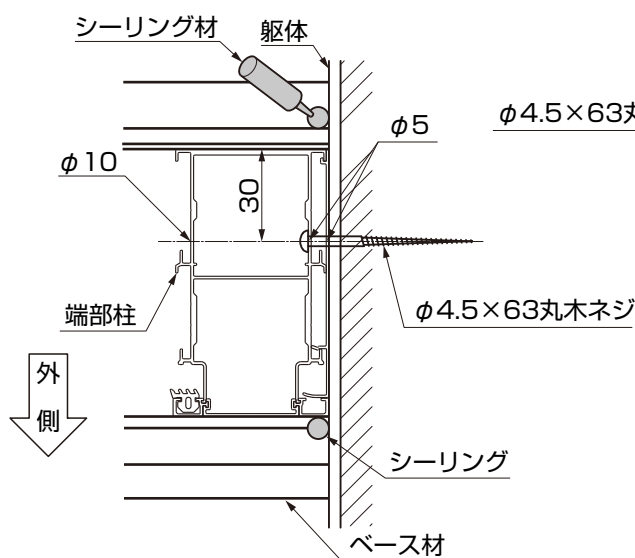


図5-3

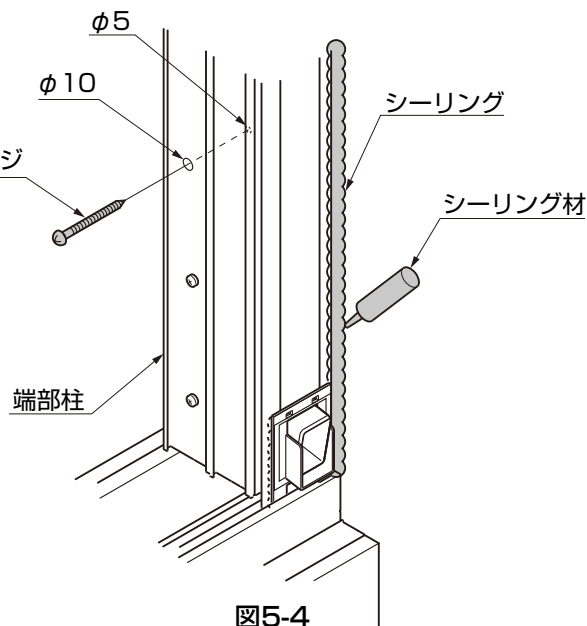


図5-4

ポイント

●躯体外壁の直角度(※1)、垂直度(※2)に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。(図5-1参照)

①入隅側の端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。(図5-1、図5-2、表5-1参照)

②端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。(図5-3、図5-4参照)

ポイント

●「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。(図5-3参照)

ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

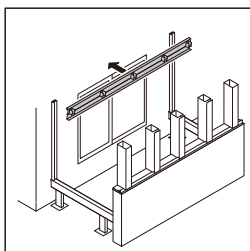
●入隅側のシーリング材は、現場で手配してください。

●躯体取付面の凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

6. 垂木掛けの取付け

6-1 垂木掛けの取付け



補足

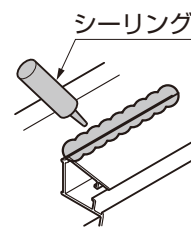
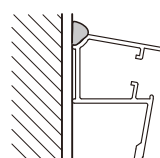
- 躯体方立を取付けている場合は垂木掛けを躯体方立に乗せて取付けてください。
- 垂木掛けの取付け位置は「5 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

ポイント

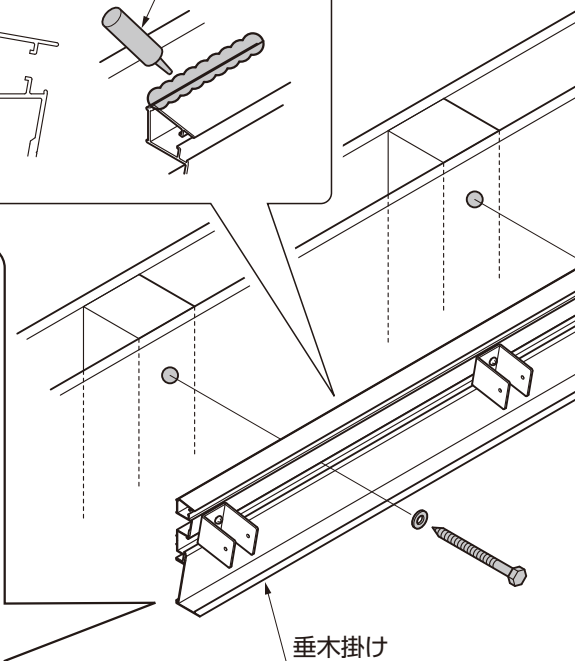
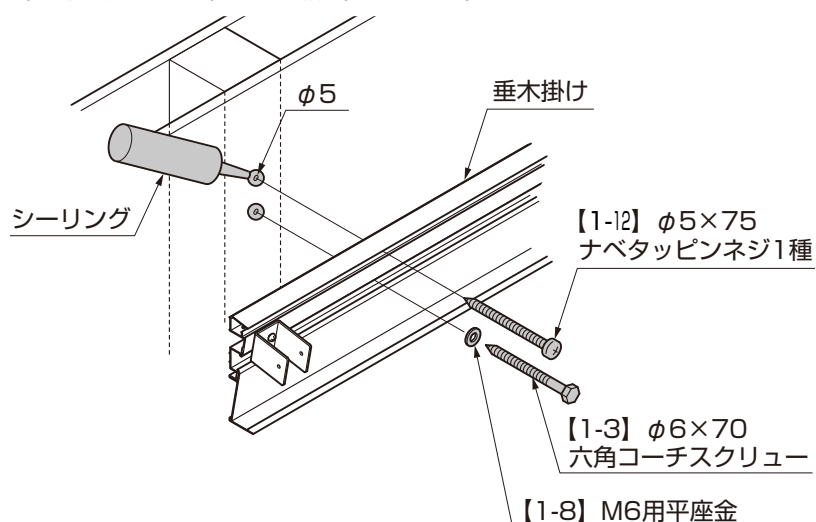
- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。



【積雪地域】



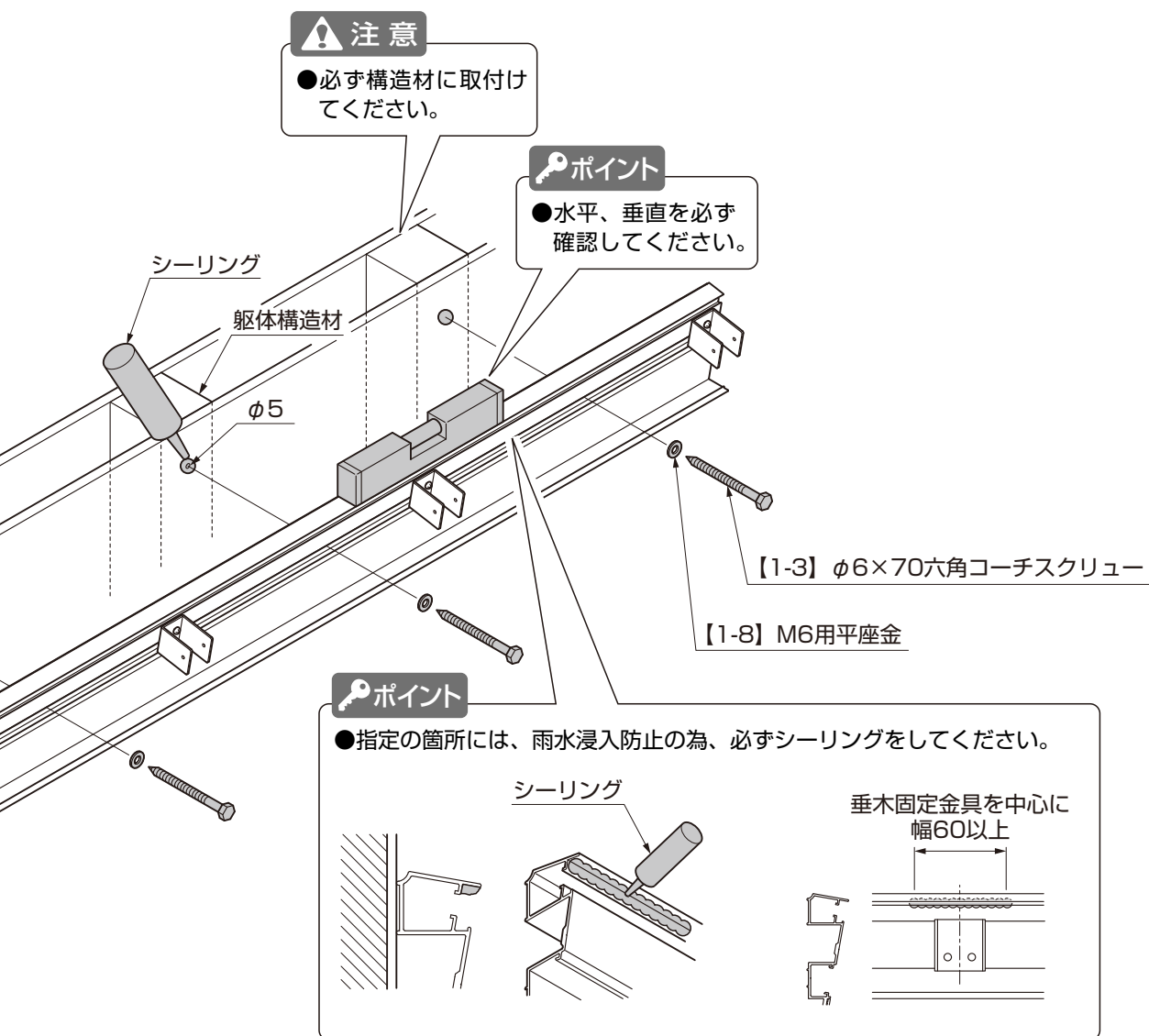
(積雪地域3000N(110Cm相当)仕様の場合)



【一般地域】



- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-3】、【1-8】で取付けてください。



【積雪地域】 (積雪地域1500N (50cm相当)仕様の場合)

- ①躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③垂木掛けを躯体の構造材に【1-3】、【1-8】で取付けてください。

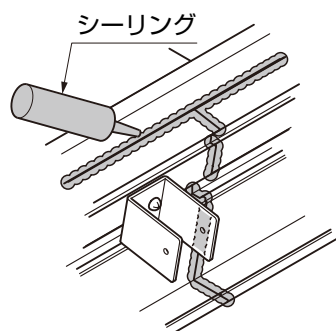
【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当)仕様の場合)

- ①躯体に垂木取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③垂木掛けを躯体の構造材に【1-3】、【1-8】と【1-12】で取付けてください。

6. (つづき)

6-2 連棟、垂木照明 オプション、入隅仕様の場合

(1) 連棟の場合



ポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。

(2) 垂木照明 オプション

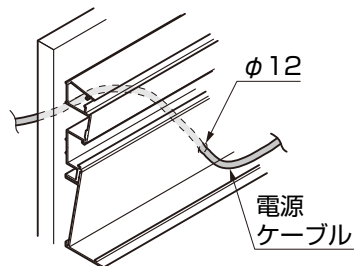


図6-1
躯体に穴をあけて配線する場合

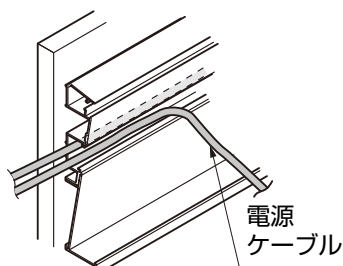
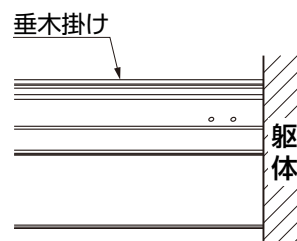


図6-2
垂木掛けの溝を利用する場合

(3) 入隅仕様の場合



ポイント

- 垂木掛け側面を躯体に突き当てて取付けてください。

(1) 連棟の場合

- ①垂木掛けの連結箇所にシーリングをしてください。

(2) 垂木照明 オプション

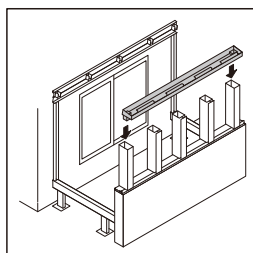
- ①躯体に穴をあけて配線する場合は、「8 施工前の準備 2配線工事」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ12の穴をあけ、躯体から配線してください。

(3) 入隅仕様の場合

- ①垂木掛けを躯体にあてがい取付けてください。

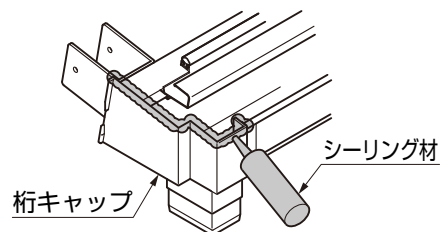
タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

7. 桁の取付け



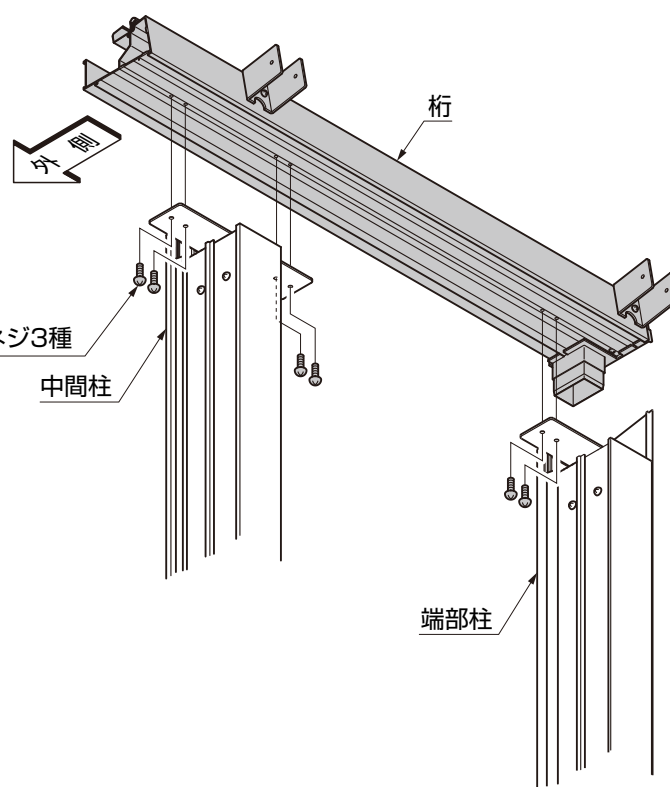
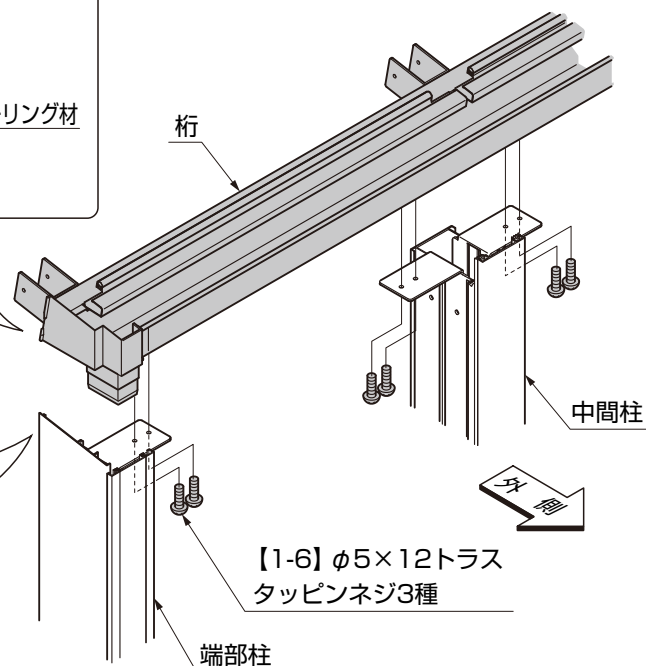
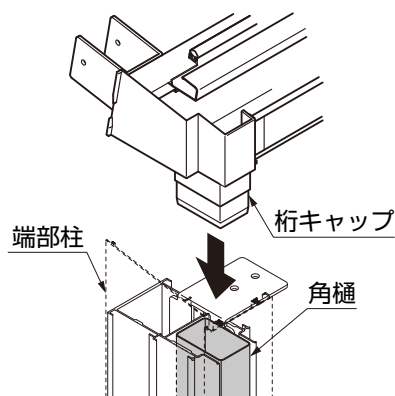
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。



ポイント

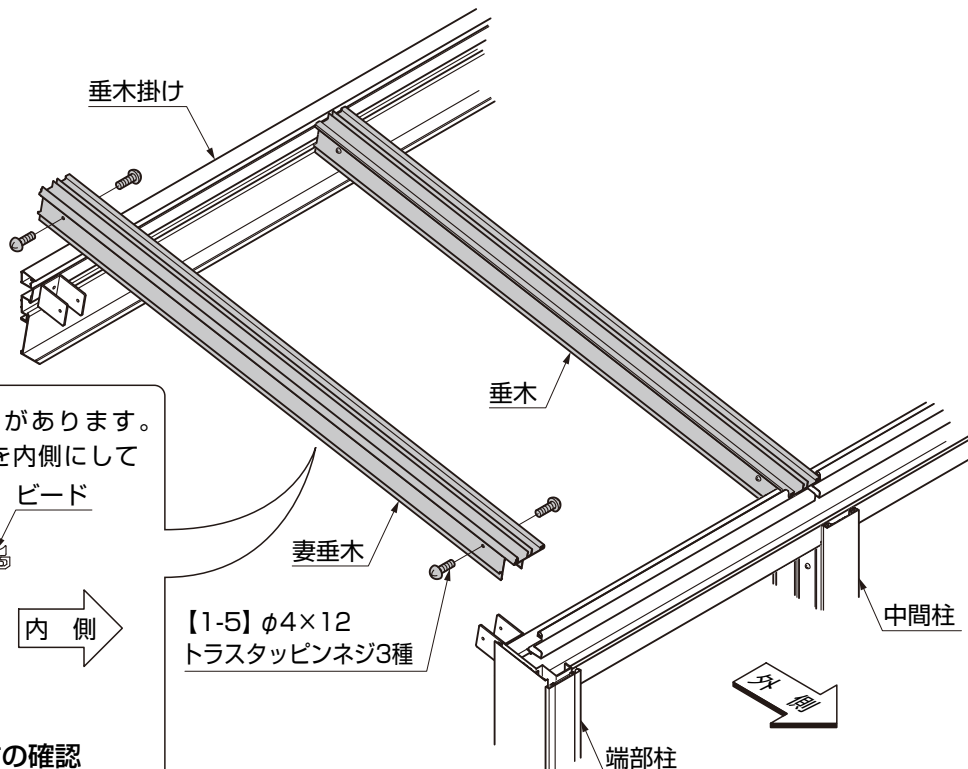
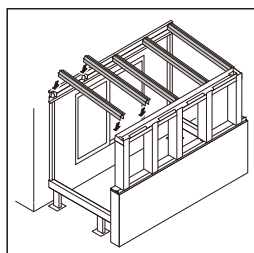
- 桁キャップを角樋に挿入してください。



- ①桁キャップをシーリングしてください。
- ②桁を端部柱、中間柱に【1-6】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

8. 妻垂木・垂木の取付け



ポイント

- 妻垂木には左右の向きがあります。ビードが付いている側を内側にして取付けてください。

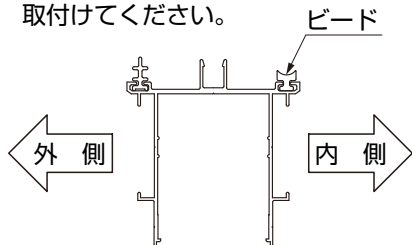
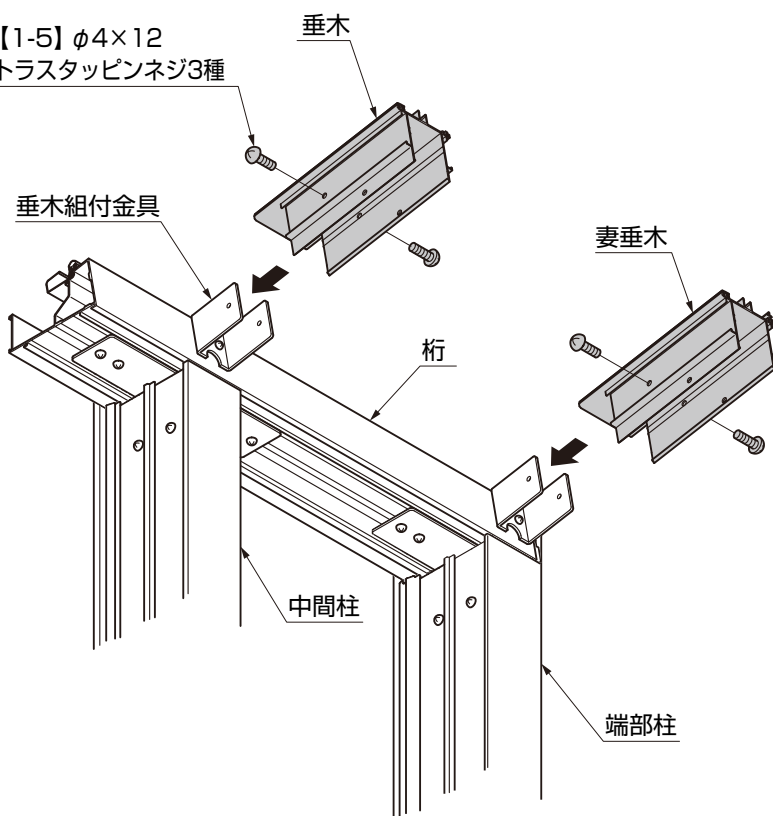


図8-1 妻垂木左右の確認

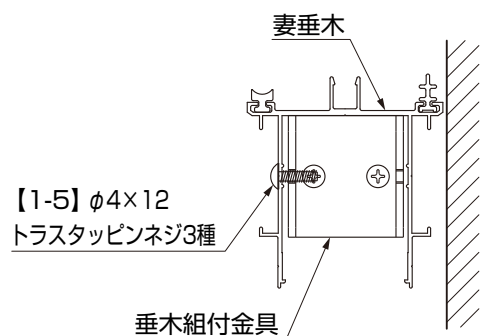
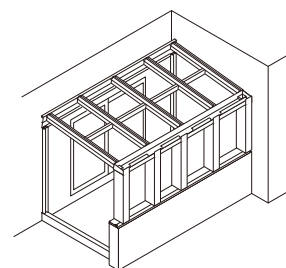
【1-5】 $\phi 4 \times 12$
トラスタッピンネジ3種



ポイント

【入隅仕様の場合】

- 【1-5】を片側だけ取付けてください。



①妻垂木、垂木を垂木組付け金具に【1-5】で取付けてください。

9. 中骨の取付け

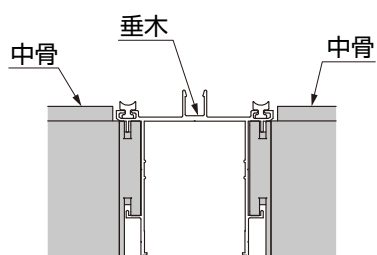
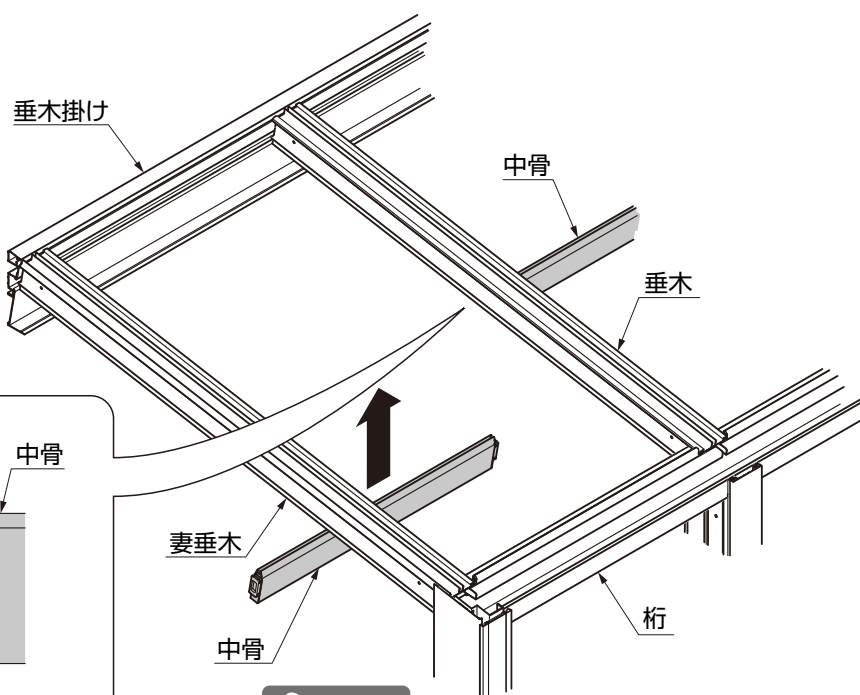
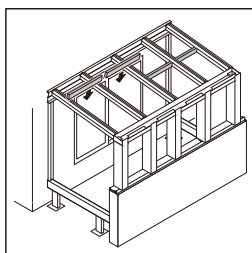


図9-1 中骨取付け位置

ポイント

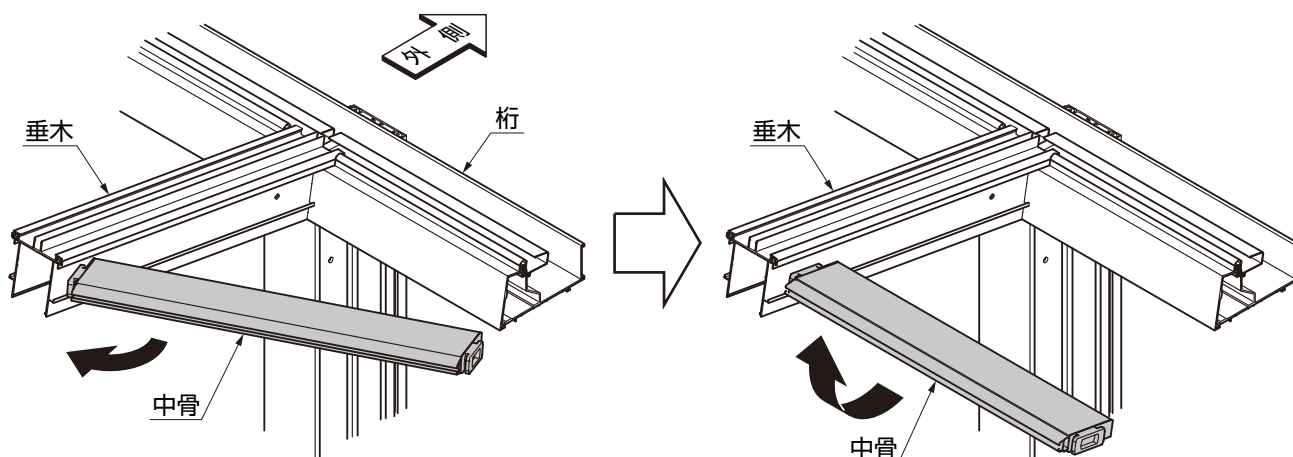
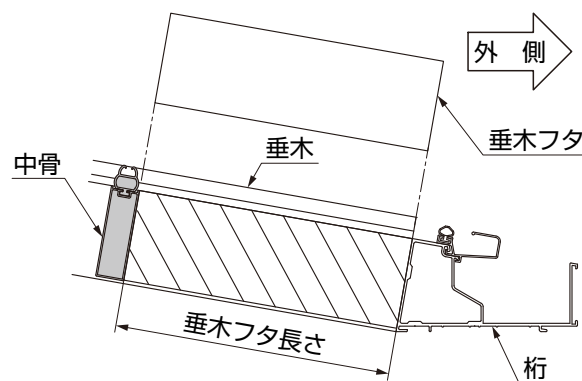
- 仕様によって中骨の本数が異なります。

表9-1 1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺	10尺
600N	—	1	1	2
1500N・3000N	1	2	3	—

ポイント

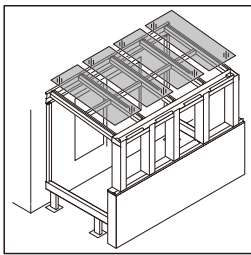
- 垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。



- ①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

10. 屋根材の取付け



ポイント

- 左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに取付けてください。
- 垂木掛けにしっかり差し込んでください。
- 屋根材には耐光面（裏表）があります。ラベルの貼付け面を確認の上、取付け間違いのないように注意してください。

ポイント

- グレチャンからの屋根材のはみ出し幅が左右均等になるようにしてください。

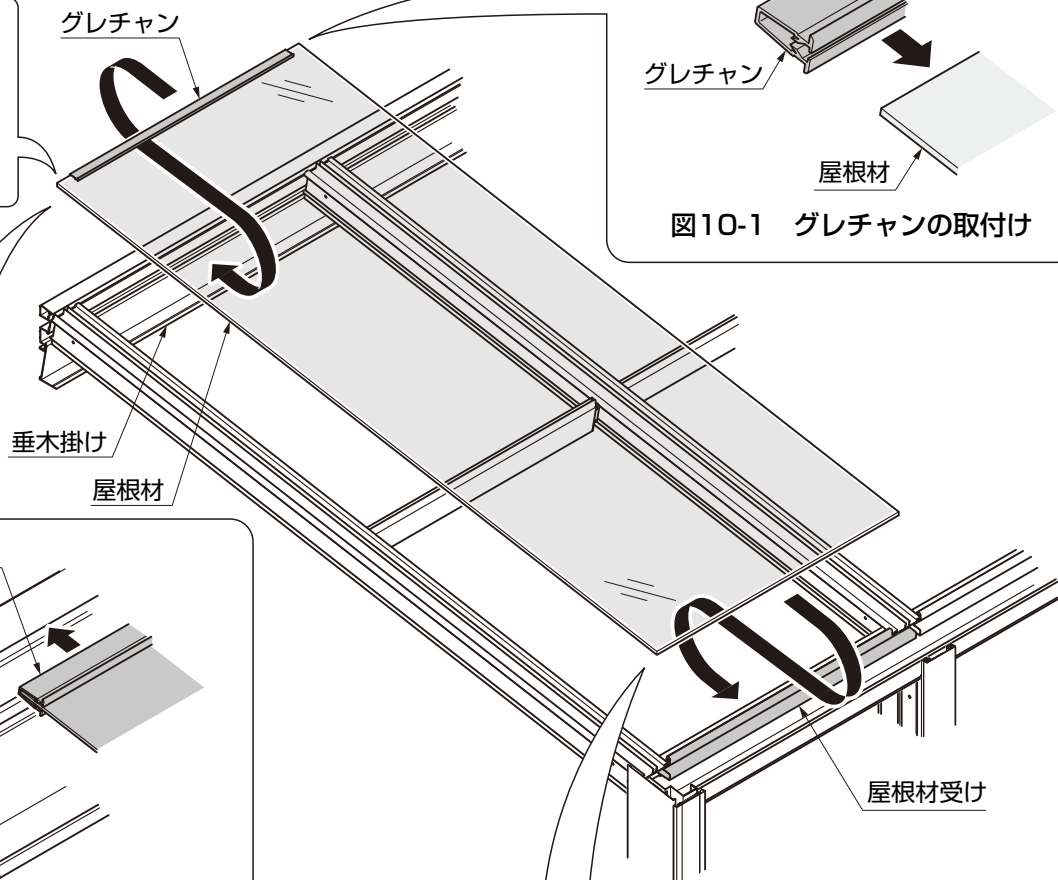


図10-1 グレチャンの取付け

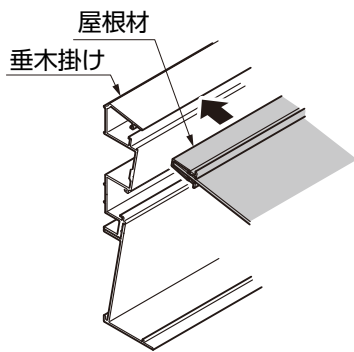
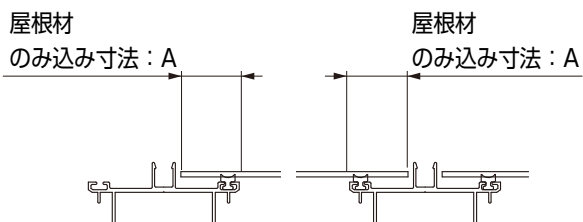


図10-2 屋根材の取付け

ポイント

- 屋根材ののみ込みが左右均等になるようにしてください。



ポイント

- 屋根材のはみ出しが左右均等になるように屋根材受けをスライドしてください。

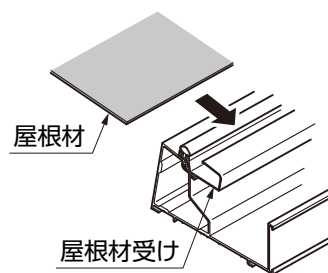
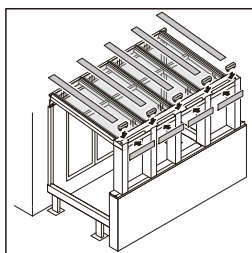


図10-3 屋根材の取付け

- ①グレチャンを屋根材に取付けてください。
- ②屋根材を垂木掛けに差し込んでください。（図10-1参照）
- ③屋根材を屋根材受けに、差し込んでください。（図10-2、図10-3参照）

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

11. 垂木カバーの取付け

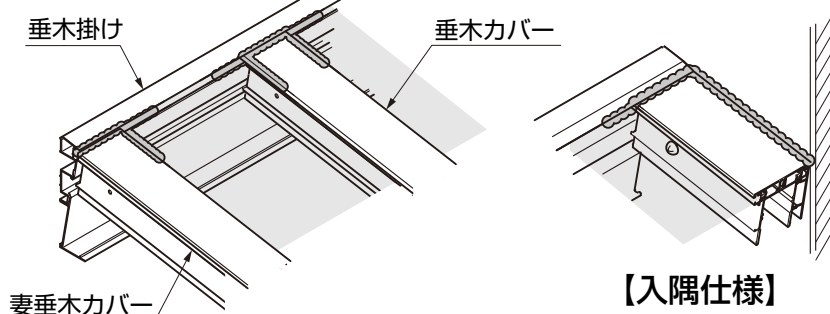


11-1 シーリング箇所一覧

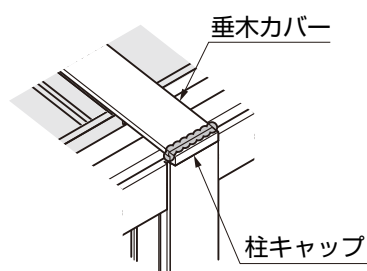
ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

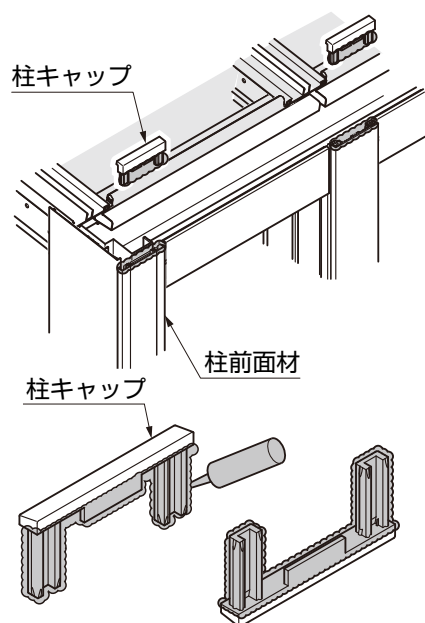
11-5 垂木カバーの取付け…(P.95)



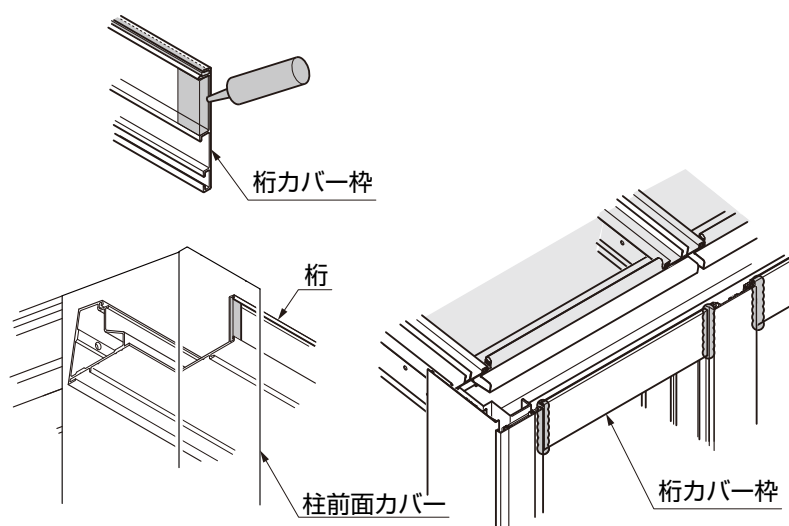
11-5 垂木カバーの取付け…(P.95)



11-3 柱キャップの取付け…(P.93)



11-2 桁カバー枠の取付け…(P.92)

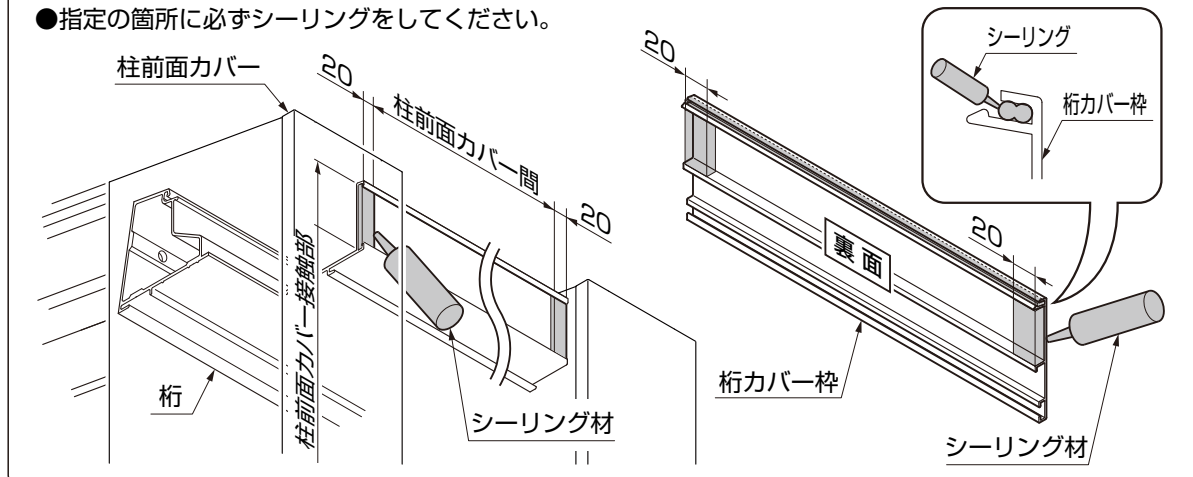


11. (つづき)

11-2 桁カバー枠の取付け

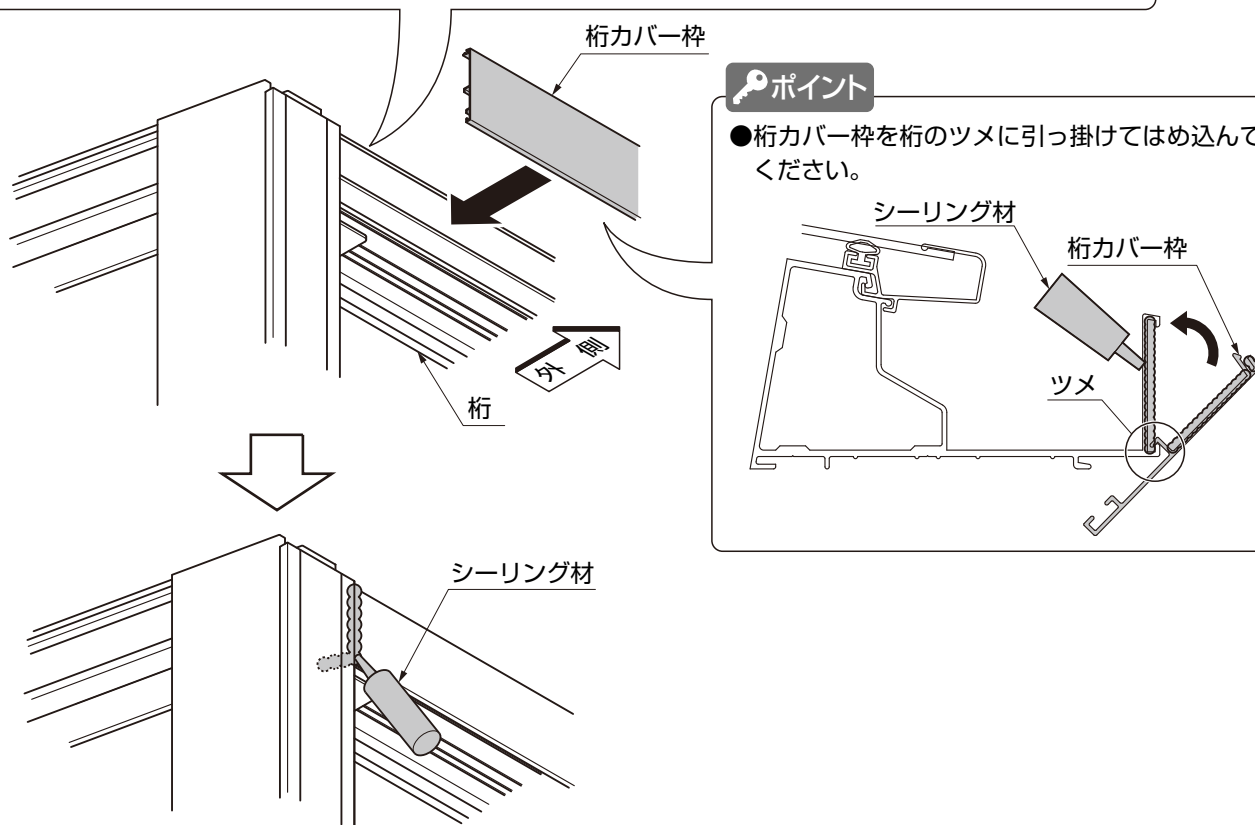
ポイント

●指定の箇所に必ずシーリングをしてください。



ポイント

●桁カバー枠を桁のツメに引っ掛けてはめ込んでください。



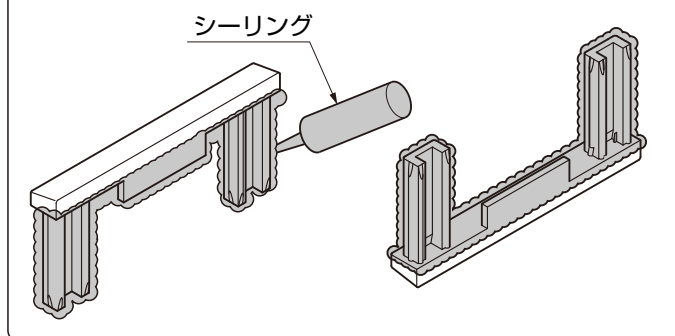
- ①桁の柱前面カバー接触部に幅20mmで縦に、前側の柱前面の上部にシーリングをしてください。
- ②桁カバー枠の裏側の両端に幅20mm程度の幅でシーリングをしてください。
- ③桁カバー枠の上側溝部に横通しでシーリングをしてください。
- ④桁カバー枠を桁にはめこんでください。
- ⑤桁カバー枠の両端部にシーリング材をしてください。

ポイント

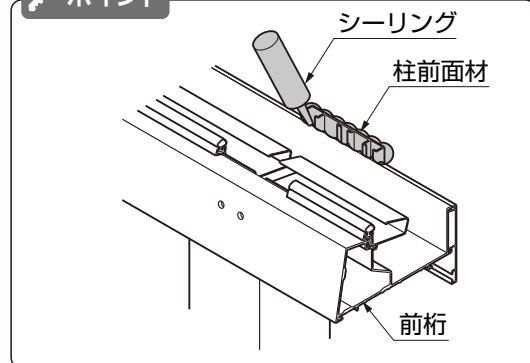
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

11-3 柱キャップの取付け

ポイント

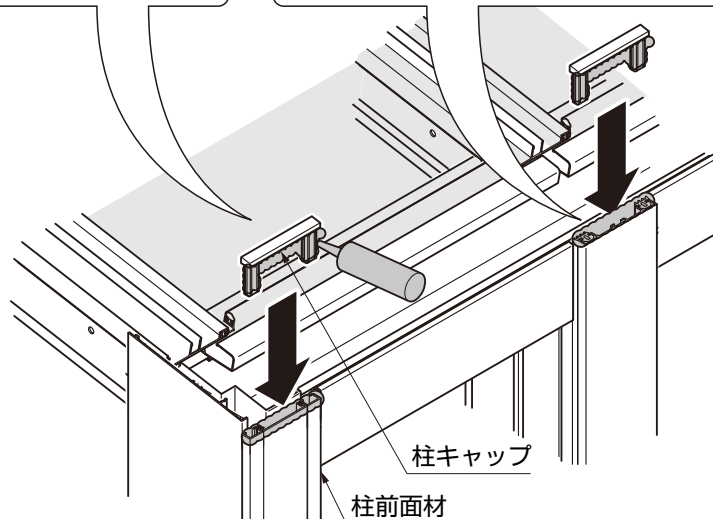


ポイント



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

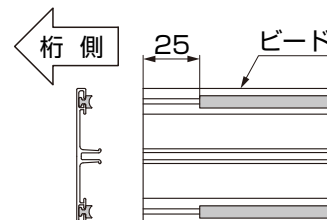


- ①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
- ②柱キャップにシーリングをしてください。
- ③柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

11-4 垂木カバー端部キャップの取付け ※積雪地域3000N仕様の作業です。

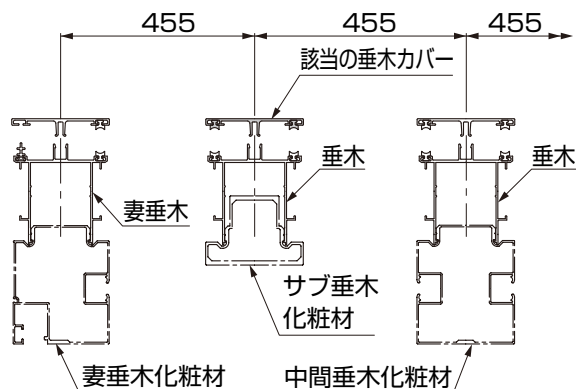
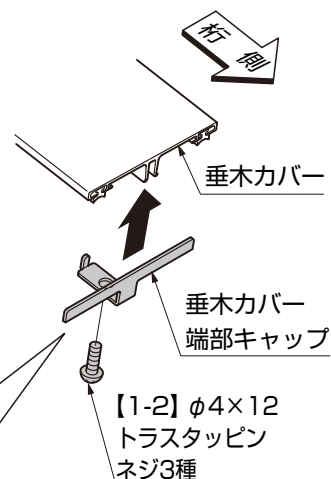
ポイント

- 垂木カバーのビードが25mm短い方を桁側にしてください。



ポイント

- 垂木カバー端部キャップは垂木カバーを垂木に取付ける前に行ってください。



- ①サブ垂木に取付ける垂木カバーの桁側に垂木カバー端部キャップを【1-2】で取付けてください。

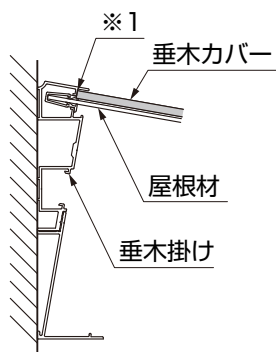
11. (つづき)

11-5 垂木カバーの取付け

(1) 垂木カバーのはめ込み

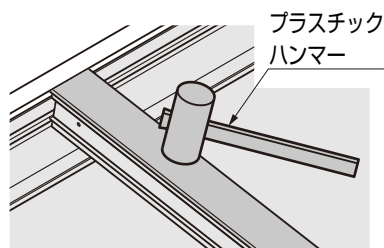
ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、(※1)取付けてください。



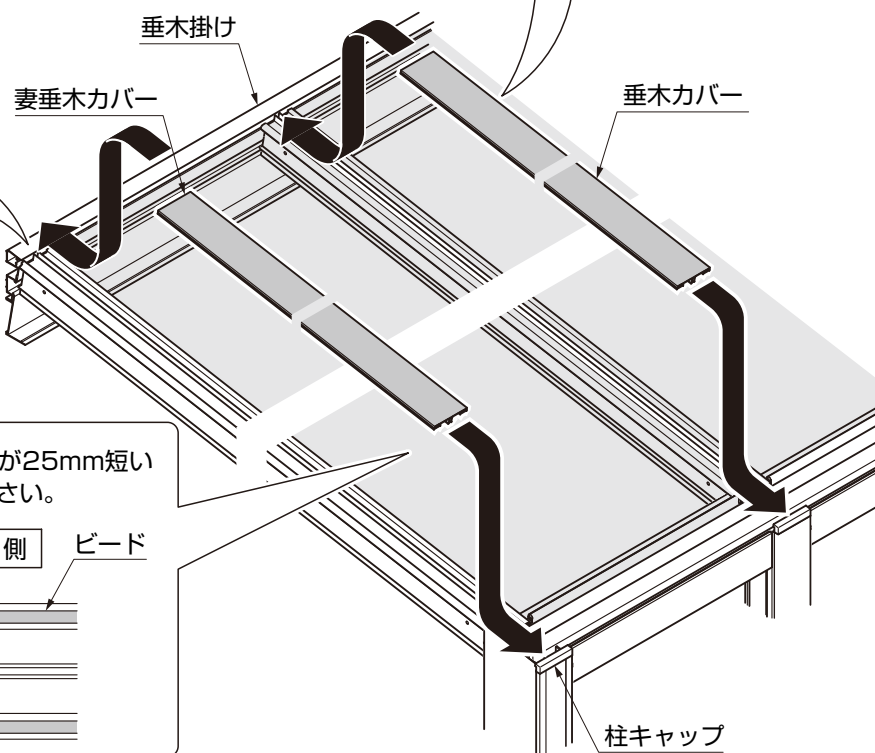
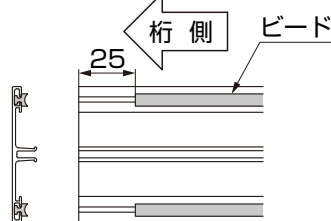
ポイント

- 部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。



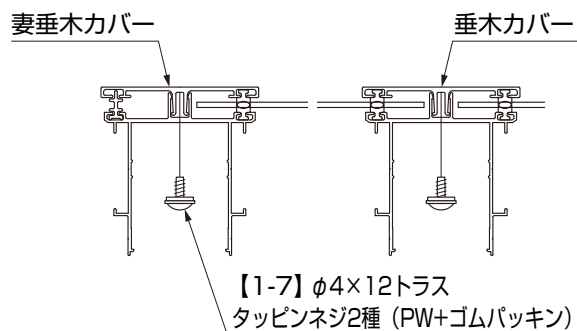
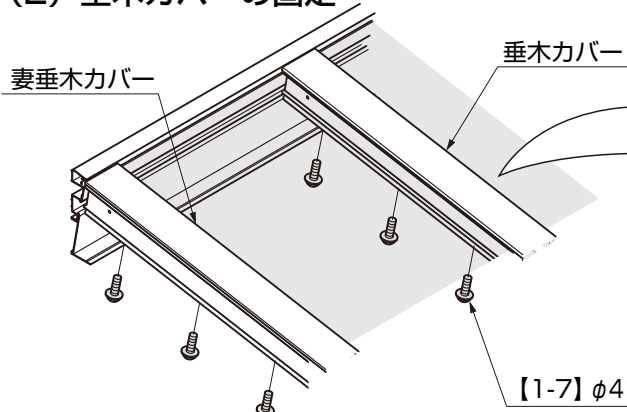
ポイント

- 垂木カバーのビードが25mm短い方を桁側にしてください。



- ①垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の妻垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。

(2) 垂木カバーの固定



- ①妻垂木カバーを妻垂木に、【1-7】で固定してください。
- ②垂木カバーを垂木に、【1-7】で固定してください。

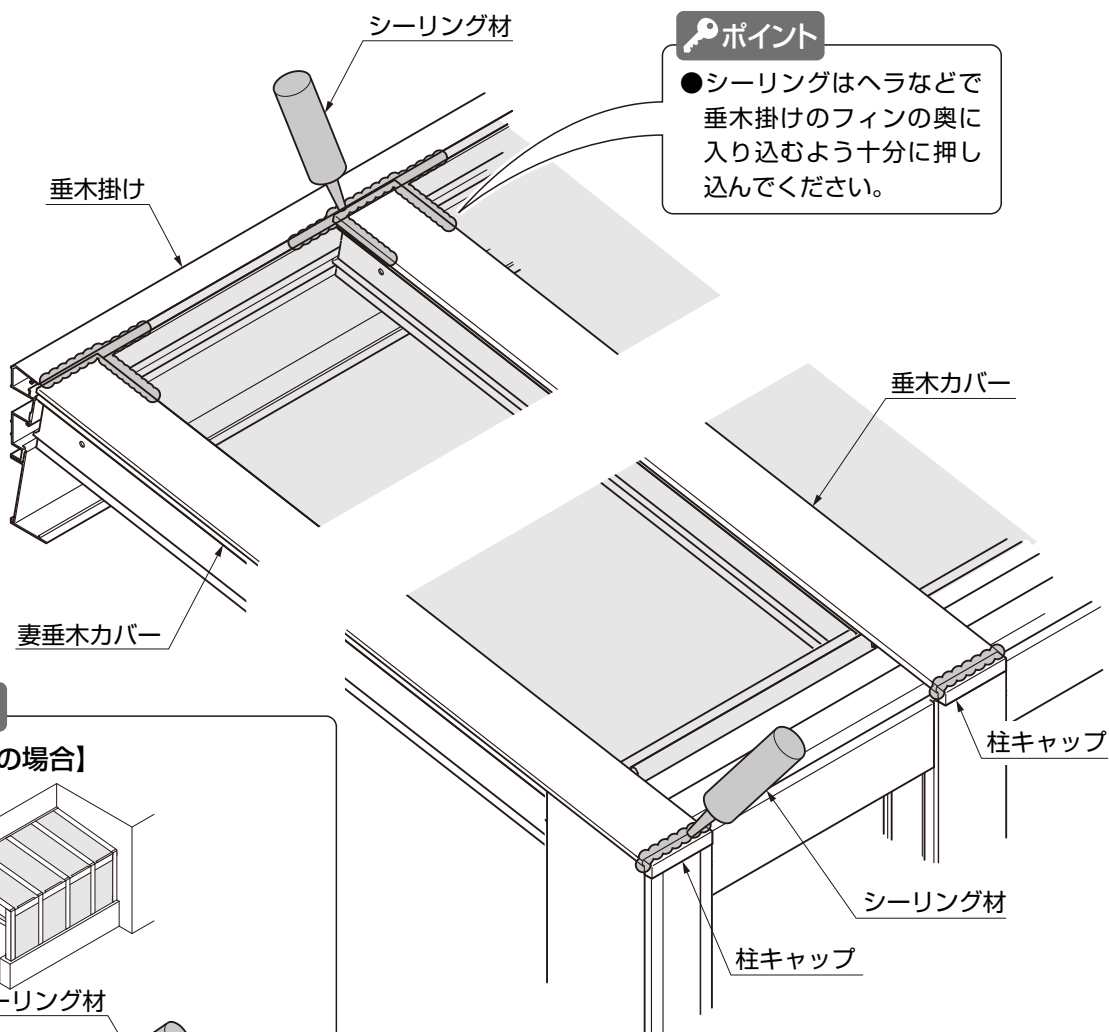
(3) 垂木カバーのシーリング

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

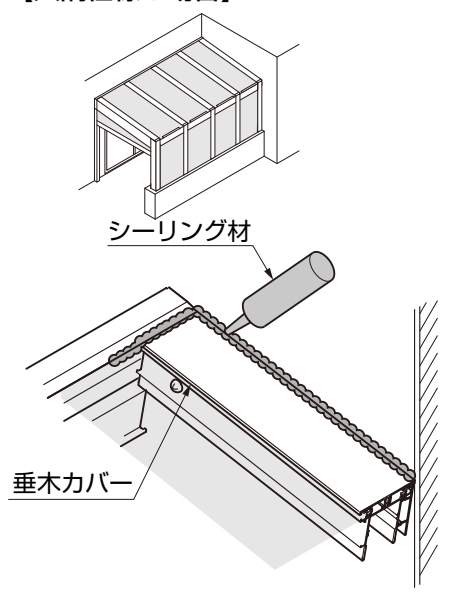
表11-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960



ポイント

【入隅仕様の場合】

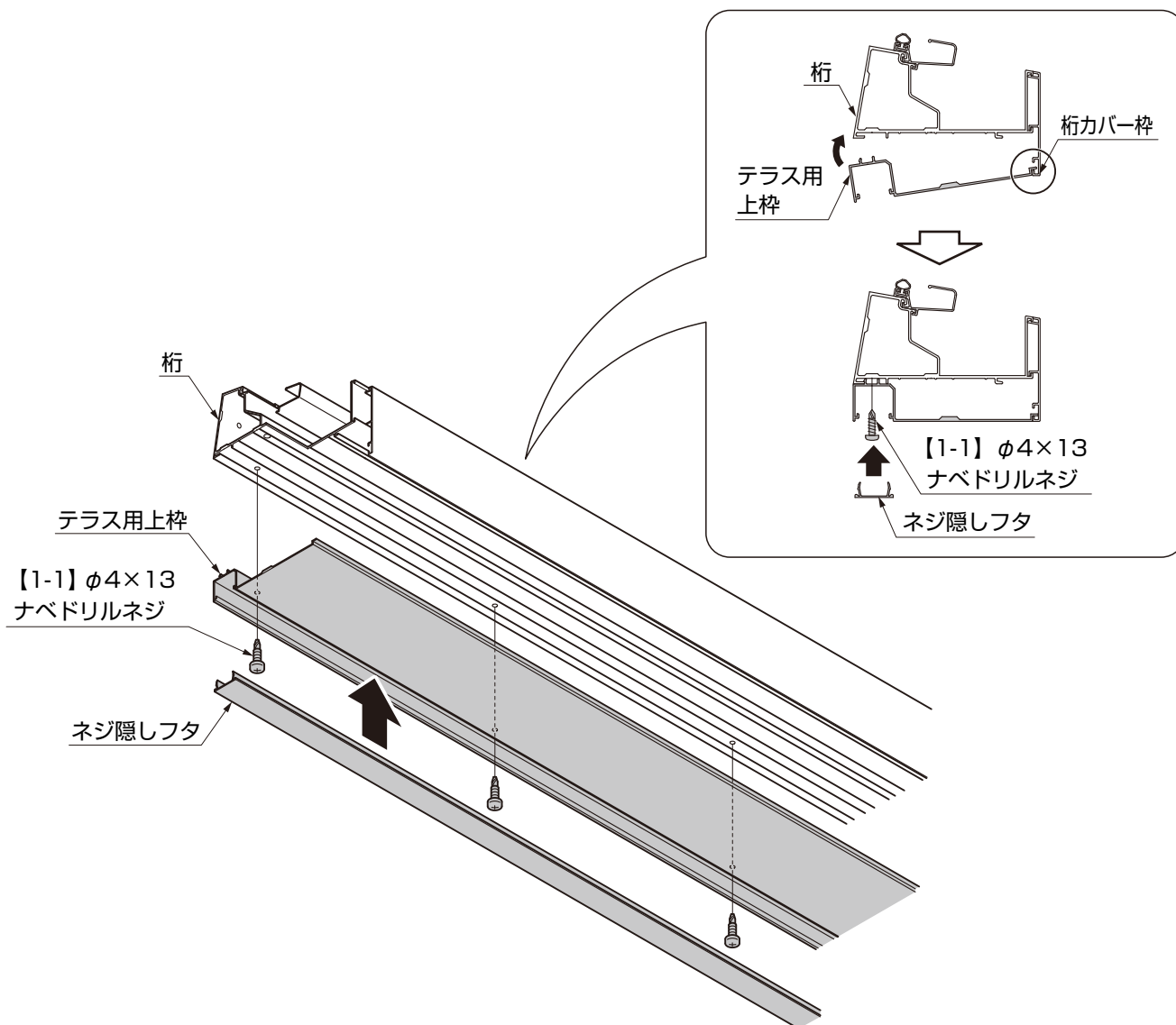


①妻垂木カバー・垂木カバーに、シーリングをしてください。

12. テラス用上枠の取付け

※オープンテラスタイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	地域



補足

- タイプにより、部材が異なります。下図を確認してください。
- ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合は、「ココマⅡ 開口部編 取付説明書 (E370)」にて取付けを行ないます。

オープンテラスタイプ



ガーデンルームタイプ サイドスルータイプ



- ①テラス用上枠を桁に【1-1】で取付けてください。
- ②ネジ隠しフタをテラス用上枠にはめ込んでください。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

13. 垂木化粧材の取付け

13-1 垂木内蔵LEDの取付け

※LED照明を取付ける場合の作業です。

※以下の(※)印は、トランス電源ユニット35W 屋外用での配線の場合は不要です。

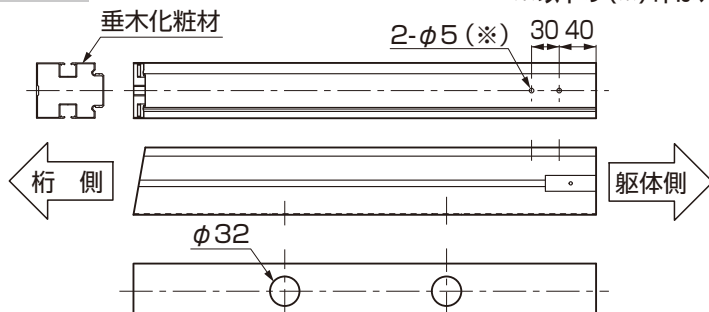


図13-1 LEDユニット2ヶ使いの場合

⚠ 注意

- 電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）
- 取付けの際は安全のため、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因になります。

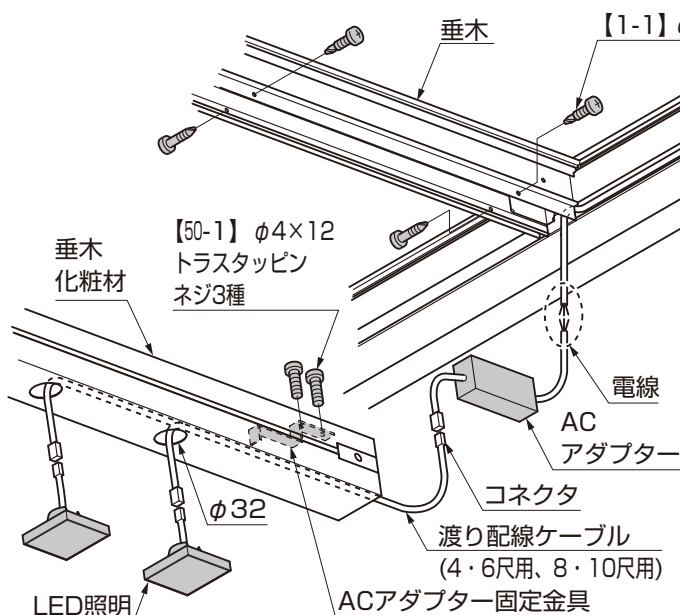


図13-2 ACアダプターで配線する場合

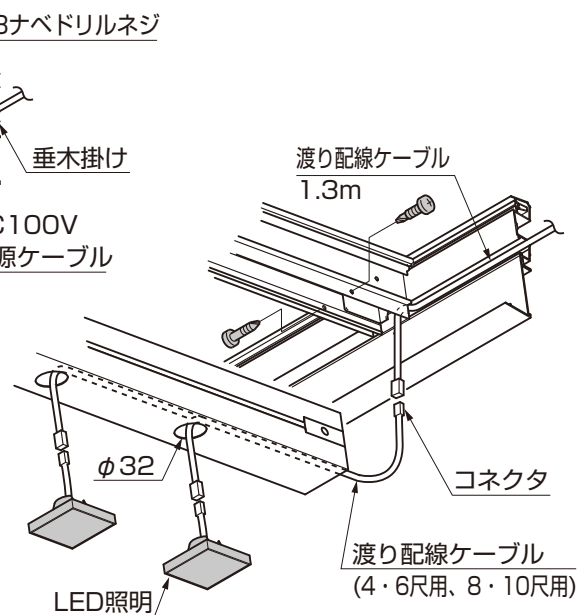
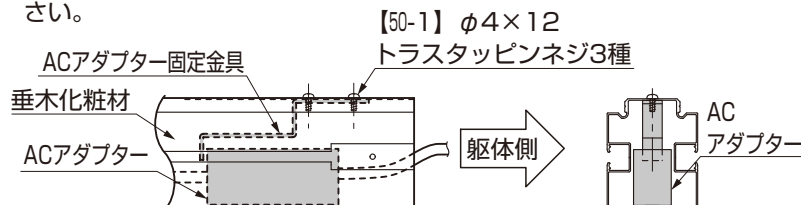


図13-3 トランス電源ユニットで配線する場合

🔑 ポイント

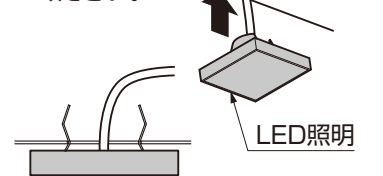
【ACアダプターで配線する場合】

- ACアダプターを下図の位置に収納してください。
- ACアダプター固定金具はACアダプターのズレ防止のため必ず取付けてください。



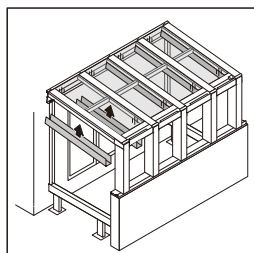
🔑 ポイント

- LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



- ①垂木化粧材にφ5穴加工をしてください。(※)
- ②ACアダプター固定金具を垂木化粧材に【50-1】で取付けてください。(※)
- ③渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）を垂木化粧材に配置してください。
- ④ACアダプターと渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）をコネクタ接続しながら、垂木化粧材を垂木に【1-1】で取付けてください。(※)
- ⑤渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）と渡り配線ケーブル1.3mを接続してください。
- ⑥渡り配線とLED照明をコネクタ接続してください。
- ⑦LED照明を垂木化粧材に取付けてください。

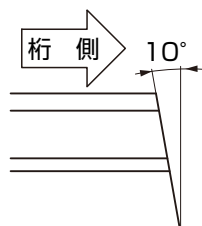
13. (つづき)



ポイント

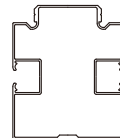
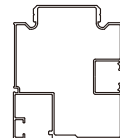
【垂木化粧材の向き】

- 垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。



妻側垂木化粧材 中間垂木化粧材

外側



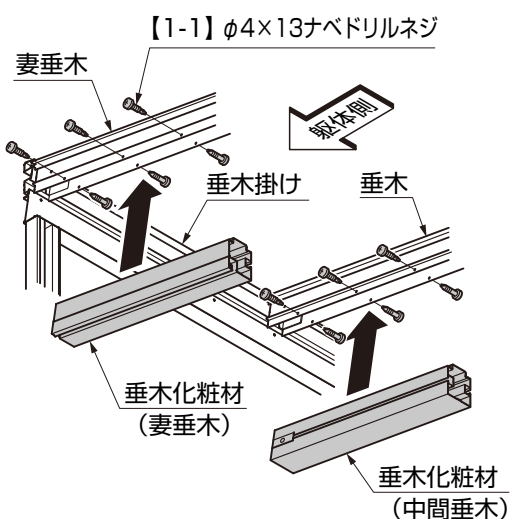
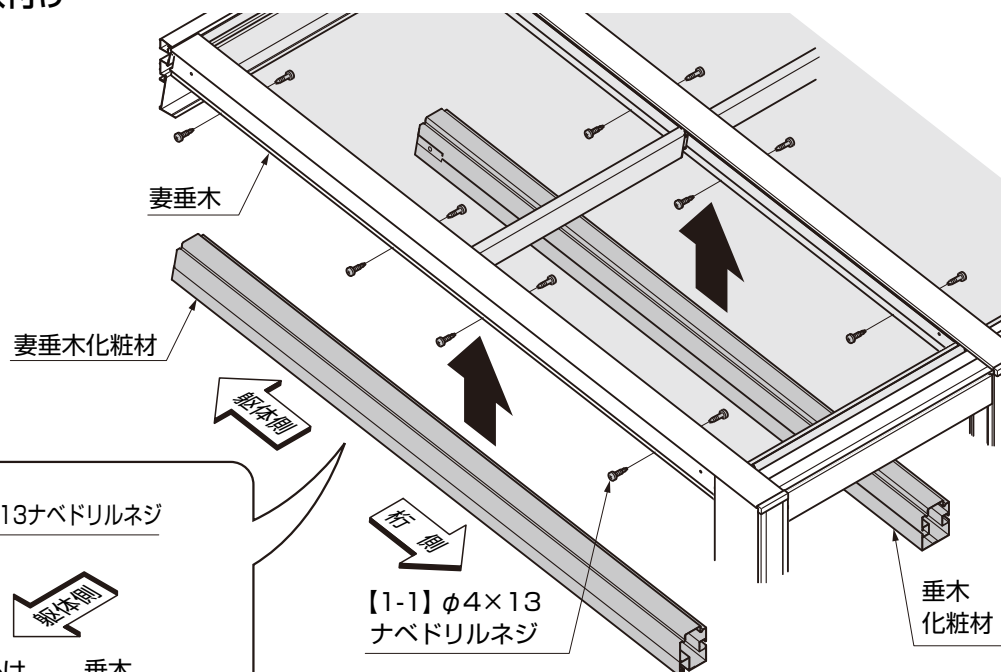
【積雪地域】



(積雪地域3000N(110cm相当)仕様の場合)

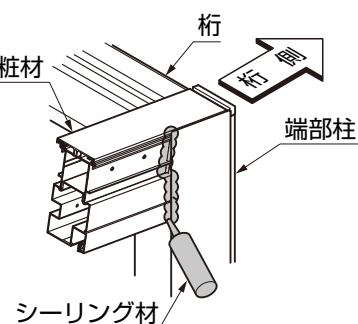
- 「13-3 サブ垂木化粧材の取付け」 もあわせてご確認ください。

13-2 垂木化粧材の取付け



ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



- ① 垂木化粧材キャップを垂木化粧材から取外してください。
- ② 垂木化粧材、妻垂木化粧材を垂木、妻垂木に【1-1】で取付けてください。
- ③ 妻垂木、妻垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。

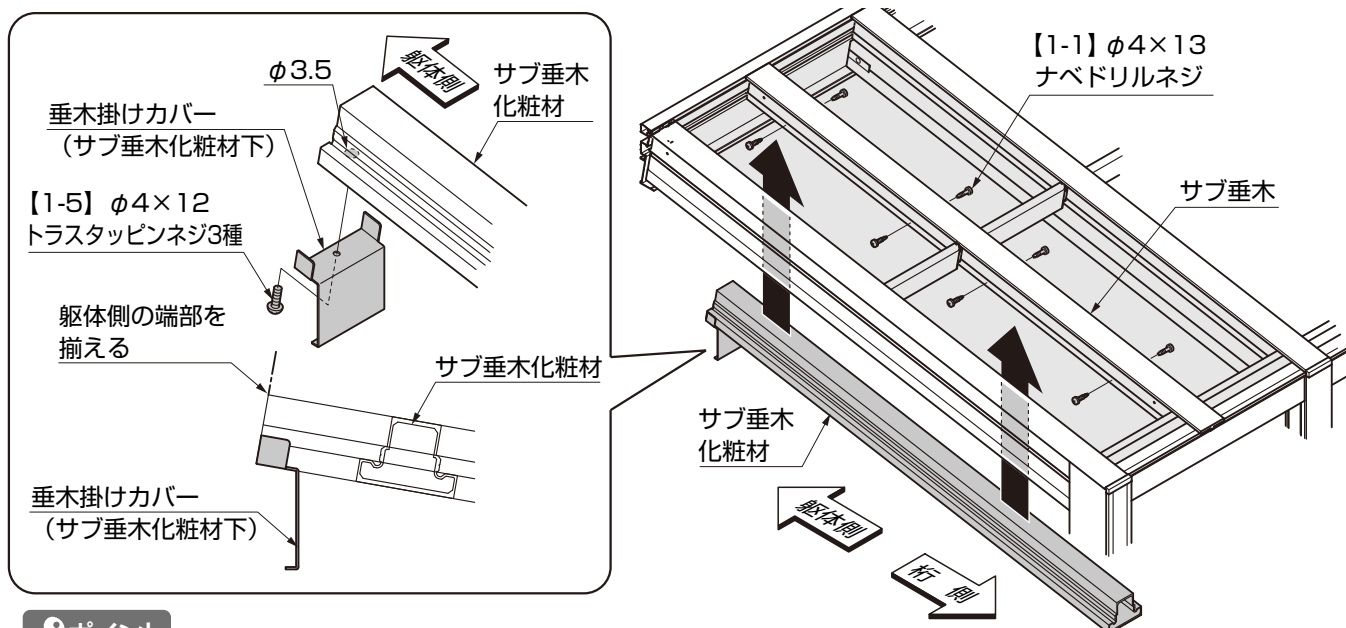
13-3 サブ垂木化粧材の取付け ※積雪地域3000N（110Cm相当）仕様の場合の作業です。

地域



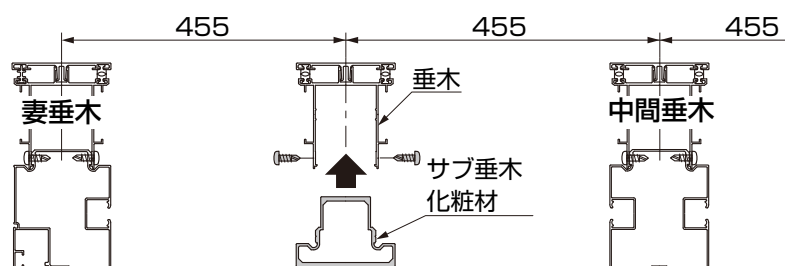
ポイント

- 前面に上げ下げ窓を取付ける場合は、サブ垂木化粧材の取付けは「ココマⅡ 開口部編 取付説明書 (E370)」を参照し、上げ下げ窓の取付け後に行なってください。



ポイント

- サブ垂木化粧材は妻垂木化粧材および垂木化粧材の間になるように取付けてください。

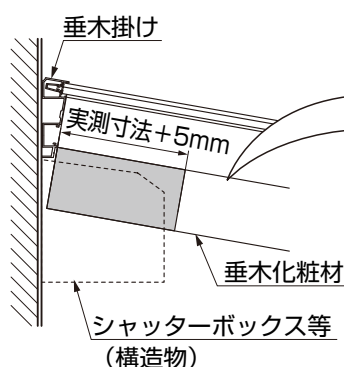


- ①サブ垂木化粧材の躯体側に垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）を合わせてφ3.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）をサブ垂木化粧材に【1-5】で取付けてください。
- ③サブ垂木化粧材をサブ垂木に【1-1】で取付けてください。

13-4 垂木化粧材が躯体側の障害物に干渉する場合

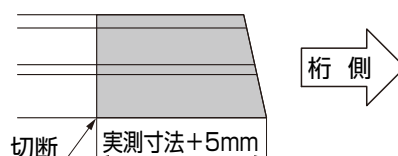
※躯体側の障害物を避けるため、垂木掛け下部を使用しない場合の内容を示します。

(1) 部材の加工



ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の構造物がある場合は、構造物を避けるように垂木化粧材の加工を行なってください。



- ①垂木化粧材が干渉する寸法を採寸し、加工してください。

13. (つづき)

(2) キャップの取付け

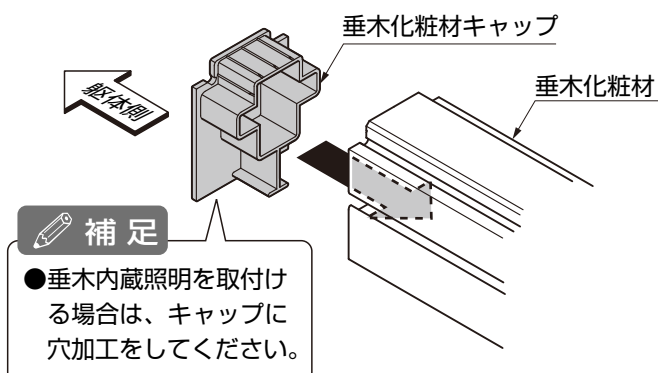


図13-4 垂木化粧材への取付け

【垂木の場合】

- ①垂木化粧材キャップを垂木化粧材に取付けてください。

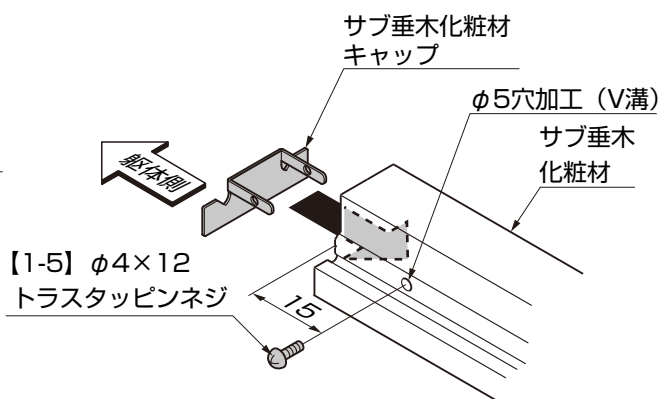


図13-5 サブ垂木化粧材への取付け

【サブ垂木の場合】

- ①サブ垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。
- ②サブ垂木化粧材キャップをサブ垂木化粧材に【1-5】で取付けてください。

13-5 ガーデンルームプラスタイプの場合

表13-1 ガーデンルームプラスLタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ	
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L テラス用 (※1)	仕切り部垂木化粧材 L ガーデンルーム用 (※1)	垂木化粧材 R ガーデンルーム用 (※1)
納まり図			

表13-2 ガーデンルームプラスRタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L ガーデンルーム用 (※1)	仕切り部垂木化粧材 R ガーデンルーム用 (※1)	垂木化粧材 R テラス用 (※1)
納まり図			

- ①表13-1、表13-2参照して、垂木化粧材を取付けてください。

ポイント

- 各タイプの垂木化粧材 (※1) は、「【32】、【33】 右または左入 妻垂木化粧材セット」に梱包しています。

13-6 入隅の場合

(1) 妻垂木の加工

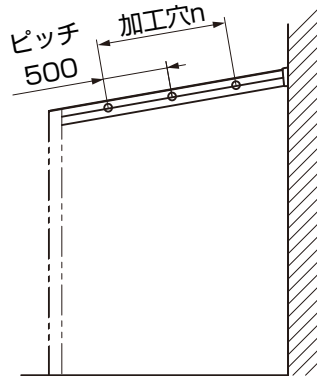
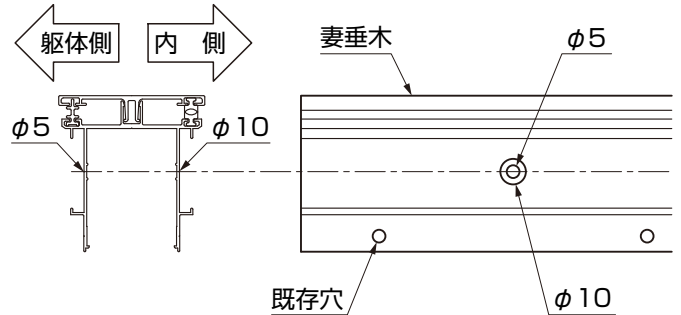


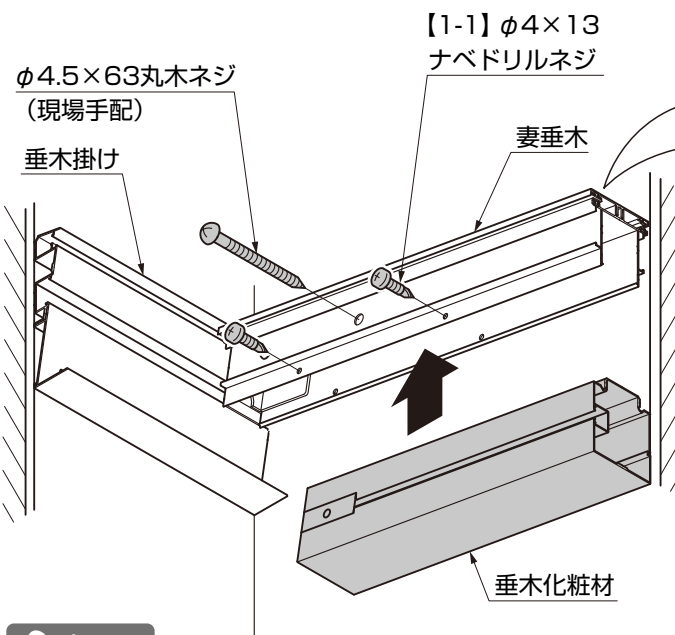
表13-3

	加工穴n
4尺	2
6尺	3
8尺	4
10尺	5



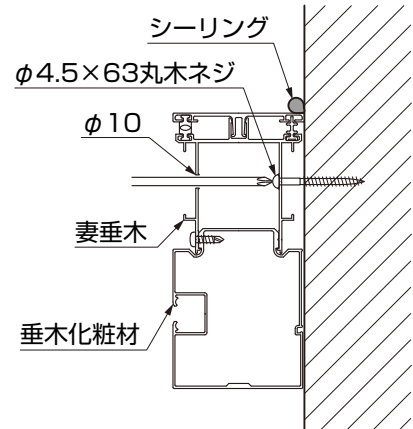
①妻垂木にφ10、φ5の穴をあけてください。

(2) 垂木化粧材の取付け



ポイント

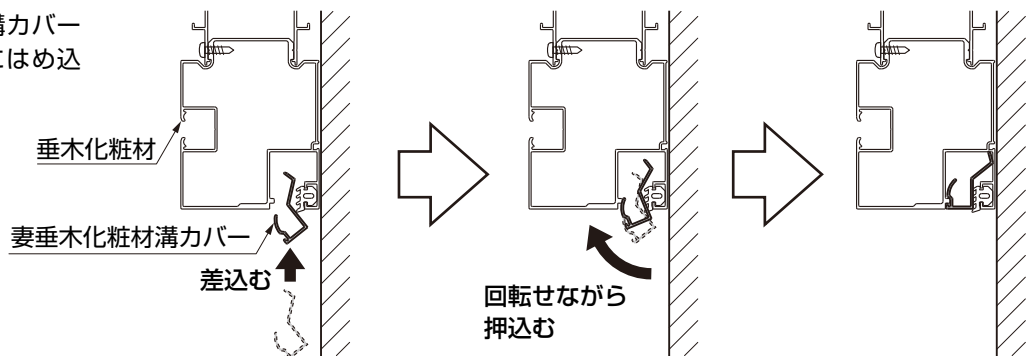
- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 妻垂木を躯体に固定する際は、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差し込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】、【サイドスルータイプ、オープンテラスタイプで妻梁上部フィックスがある場合】

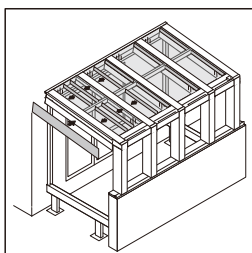
- 妻垂木化粧材溝カバーを垂木化粧材にはめ込んでください。



- ①垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-1】で取付けてください。
- ②妻垂木を躯体に「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

14. 垂木フタの取付け



ポイント

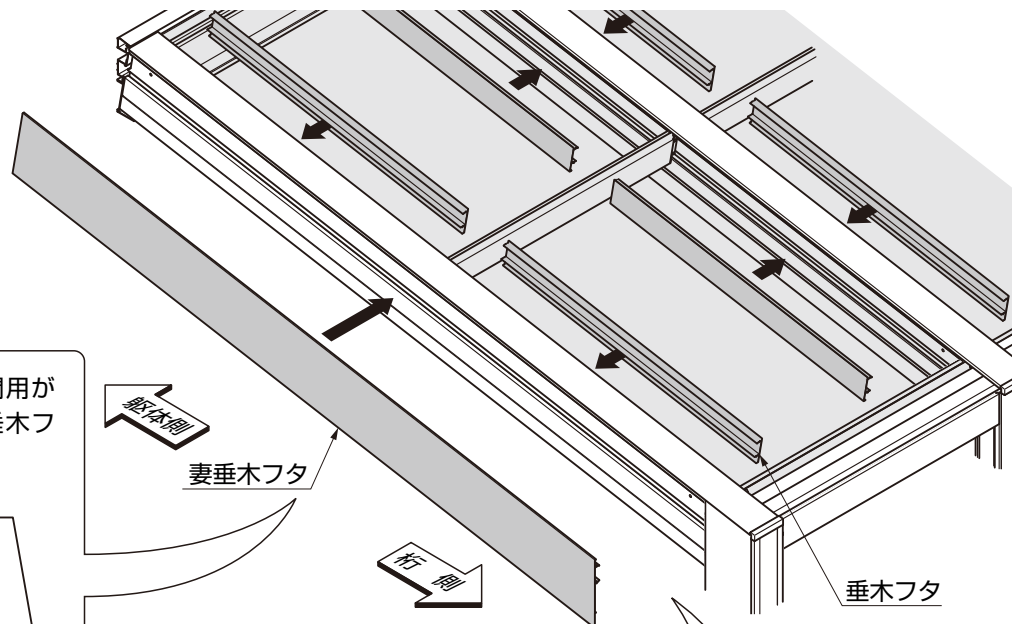
- 垂木フタは端部用と中間用があります。端部には妻垂木フタを取付けてください。



端部用（妻垂木フタ）

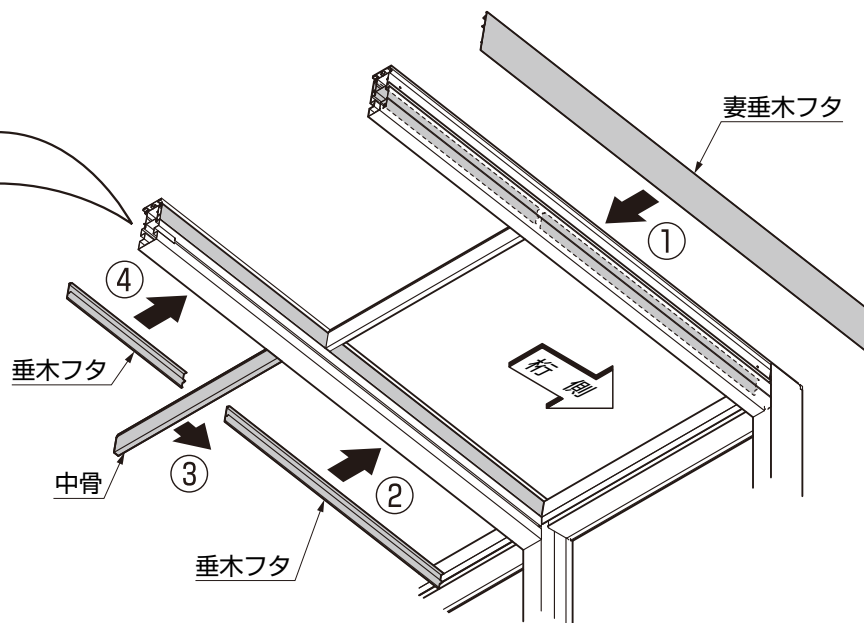
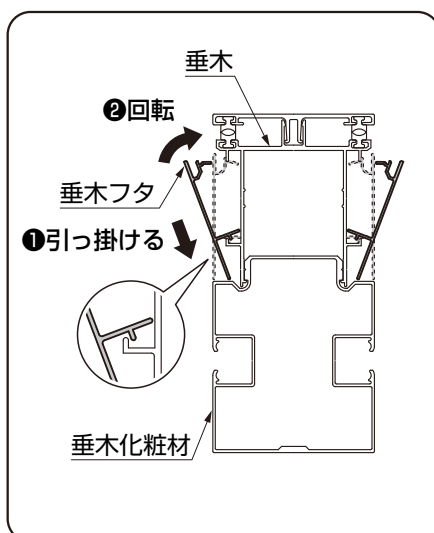


中間用（垂木フタ）



ポイント

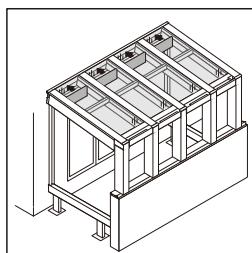
- 垂木フタは桁側に寄せて取付けてください。
- はめ込みは端部から行なってください。



- ①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
- ②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
- ③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
- ④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

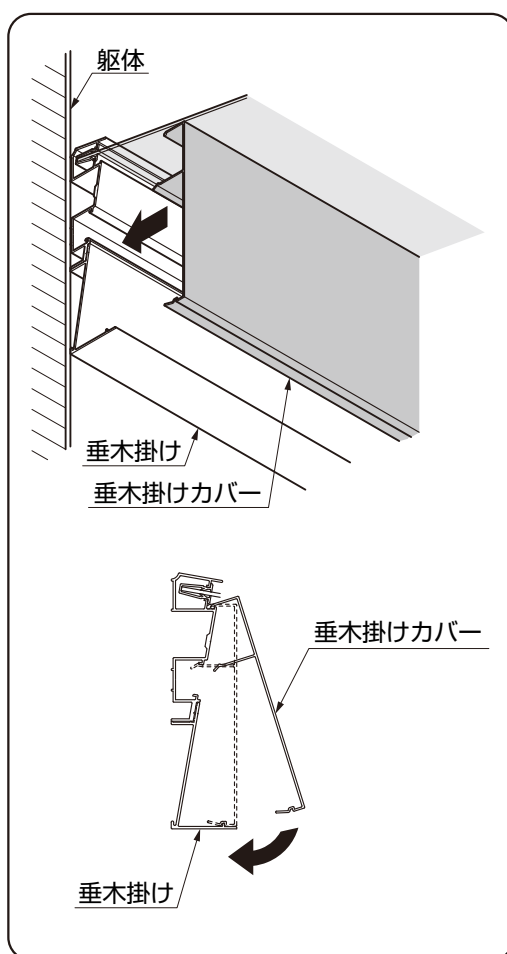
タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

15. 垂木掛けカバーの取付け



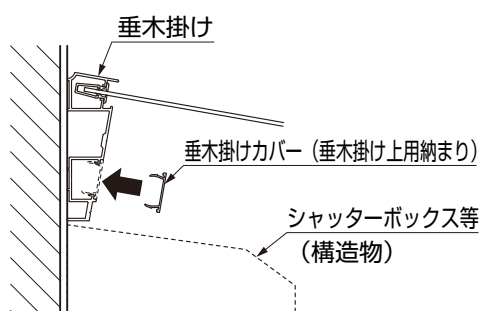
垂木掛け

垂木掛けカバー



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛けカバー（垂木掛け上用納まり）を使用してください。



ポイント

【内部日除けを取付ける場合】

- 内部日除けを先に取付けてください。

E269

・内部日除けの取付け
(E269 内部日除け取付説明書 参照)

E368

16. 垂木掛けカバーの取付け（本手順）

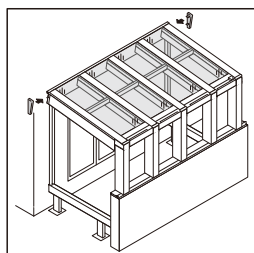
- ① 垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

ポイント

- 垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

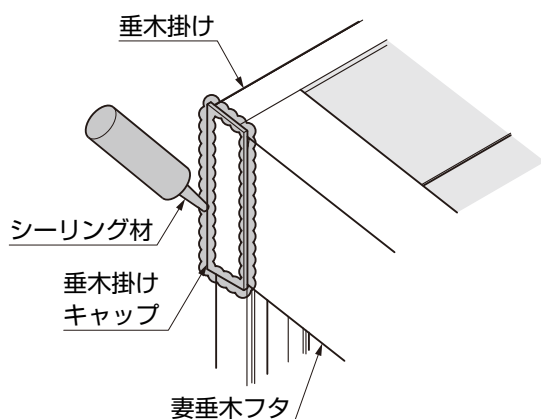
16. 垂木掛けキャップの取付け



垂木掛けキャップ

ポイント

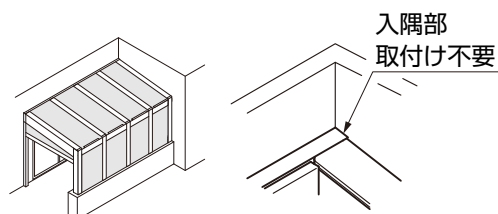
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

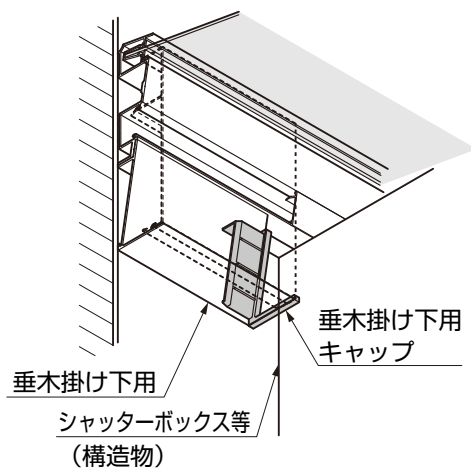
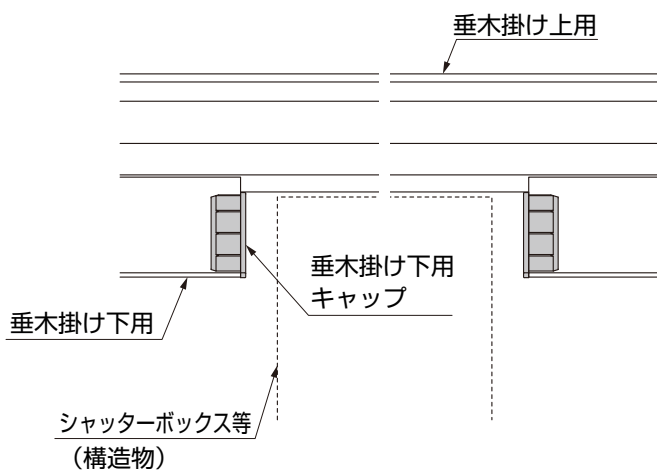
【入隅仕様の場合】

- 入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛け下用に垂木掛け下用キャップを取付けてください。



- ①垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。
- ②垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。

17. 妻梁上部FIXの取付け

※オープンテラスタイプで妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

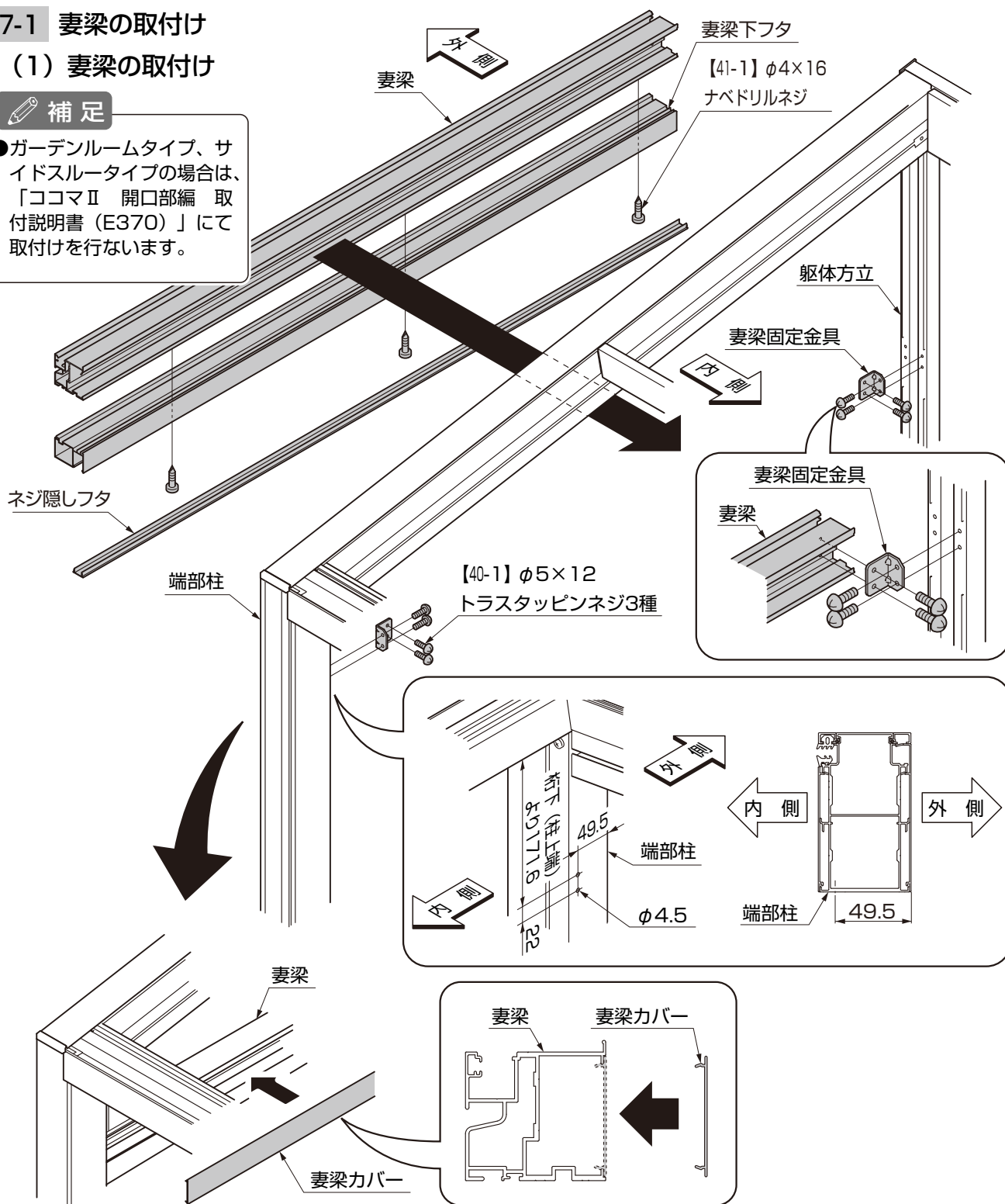
タイプ	腰壁	床	土間	地域
 OT				

17-1 妻梁の取付け

(1) 妻梁の取付け

補足

- ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合は、「ココマII 開口部編 取付説明書 (E370)」にて取付けを行ないます。



- ①端部柱にφ4.5の穴加工を行なってください。
- ②妻梁固定金具を端部柱、躯体方立に【40-1】で取付けてください。
- ③妻梁を妻梁固定金具に【40-1】で取付けてください。
- ④妻梁下フタを妻梁に【41-1】で取付けてください。
- ⑤ネジ隠しフタを妻梁下フタに取付けてください。
- ⑥妻梁カバーを妻梁に取付けてください。

17. (つづき)

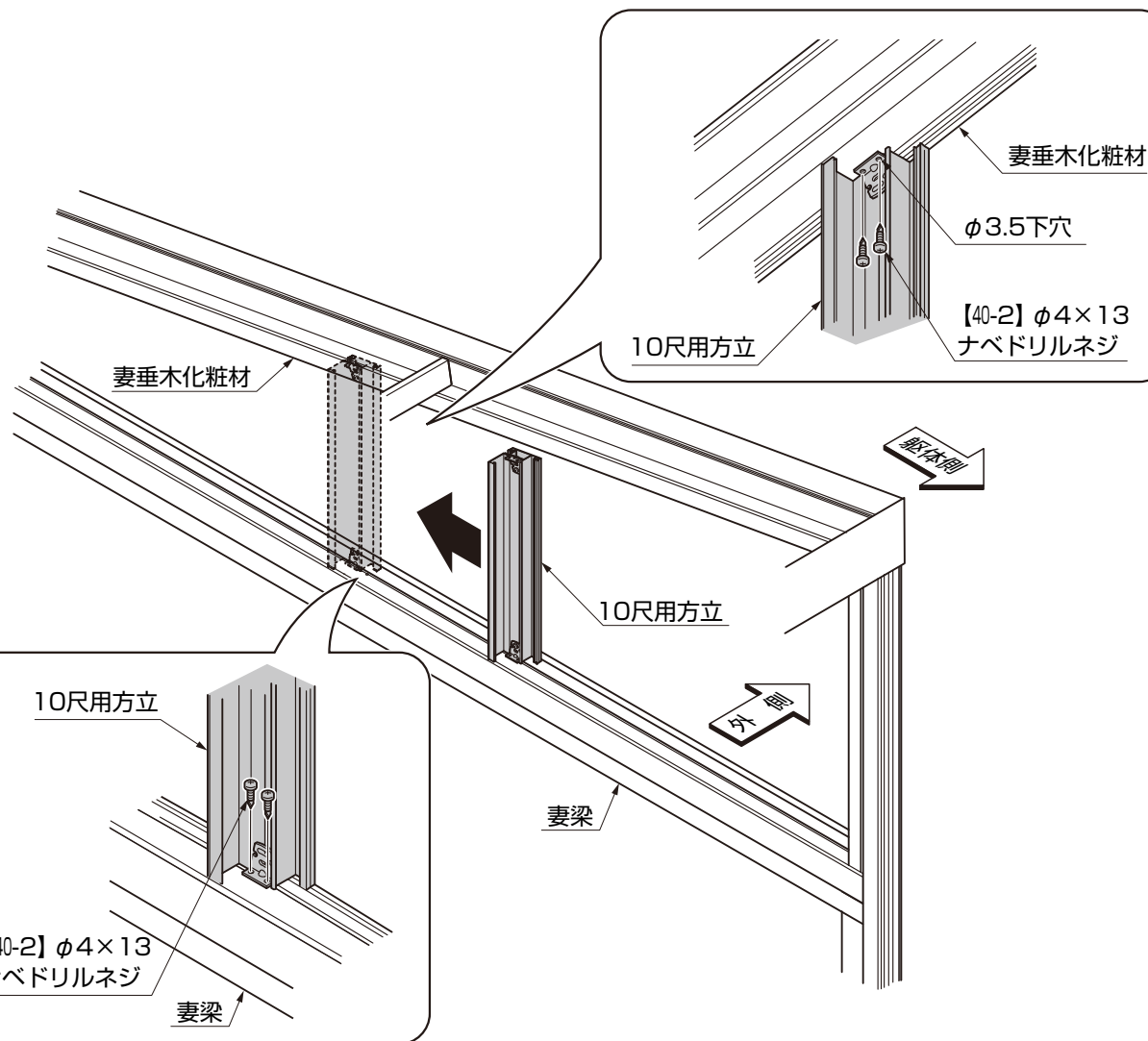
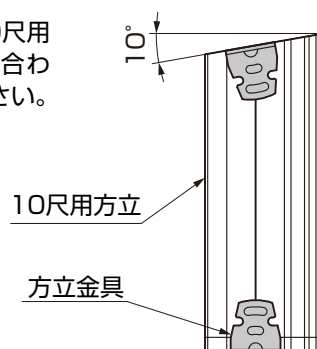
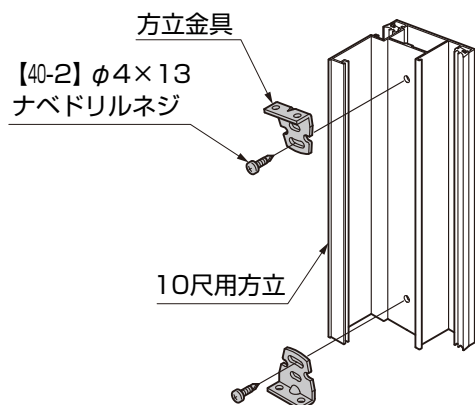
17-1 つづき

(2) 10尺用方立の取付け

※出幅10尺の場合の作業になります。

ポイント

- 方立取付金具は10尺用方立の切断角度と合わせて取付けてください。

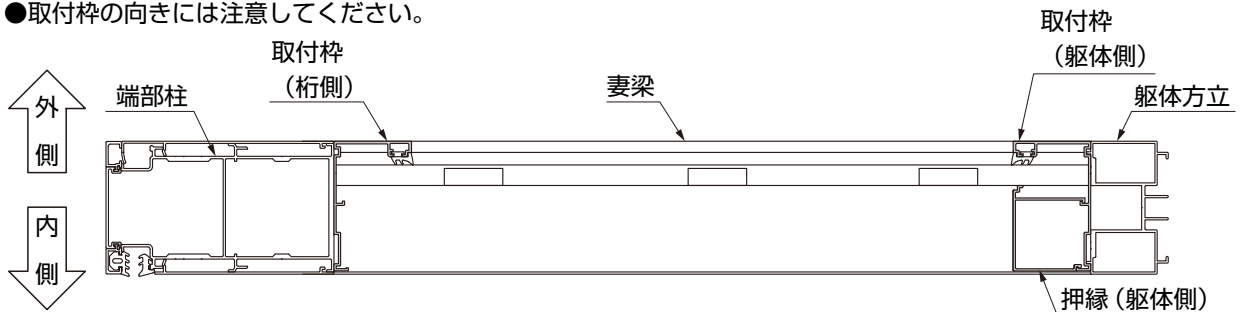


- ①方立金具を10尺用方立上下に【40-2】で取付けてください。
- ②躯体側から10尺用方立を挿入し、下部の方立取付金具を妻梁に【40-2】で取付けてください。
- ③上部の方立取付金具を妻垂木化粧材にφ3.5の穴加工を行って【40-2】で取付けてください。

17-2 取付枠の取付け

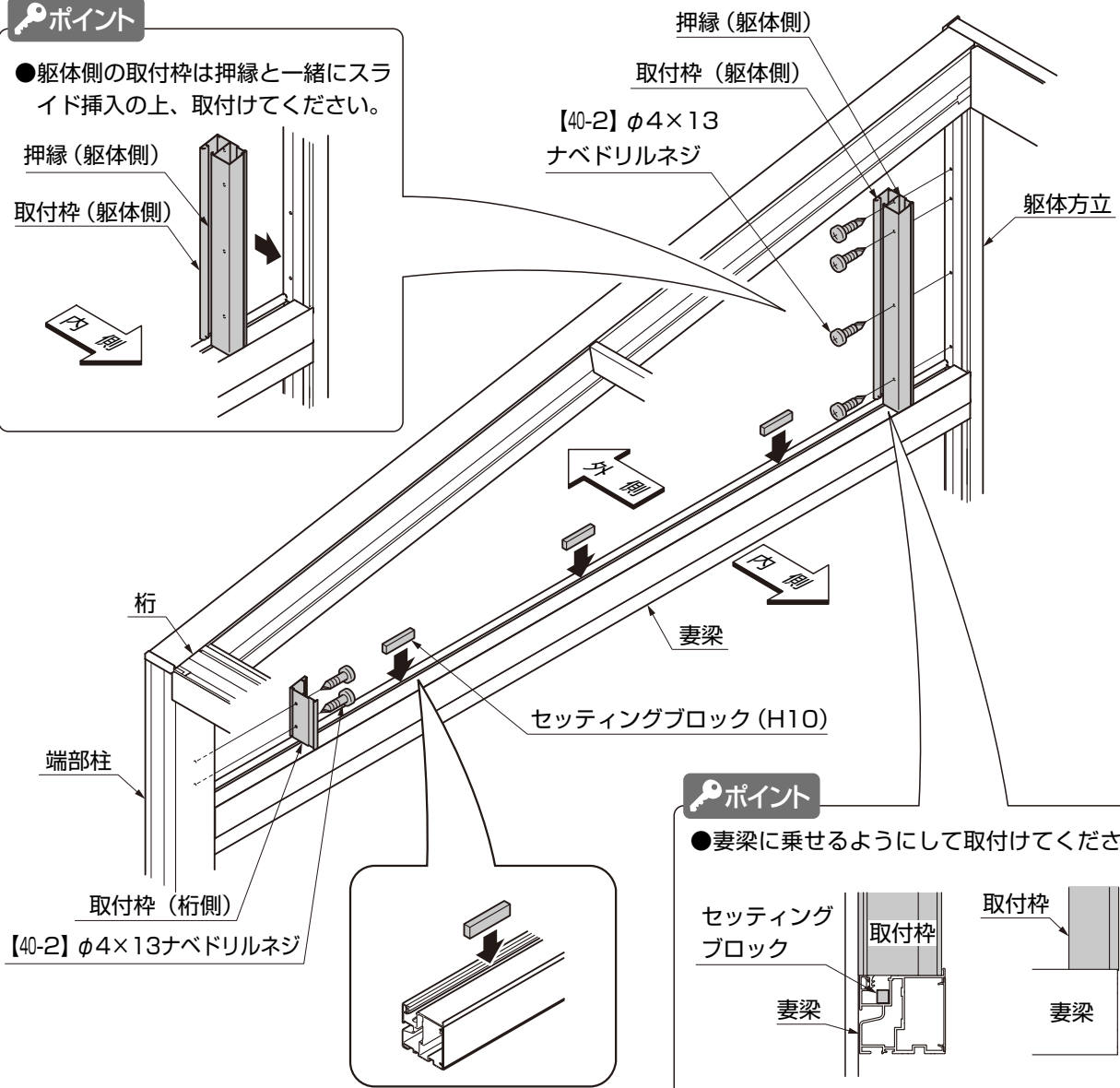
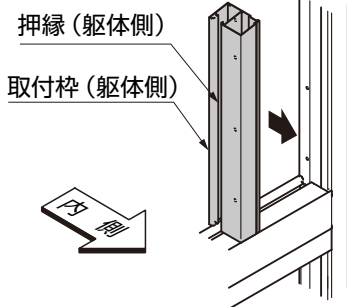
ポイント

- 取付枠の向きには注意してください。



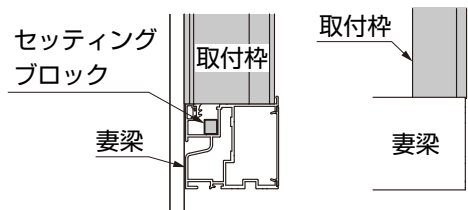
ポイント

- 躯体側の取付枠は押縁と一緒にスライド挿入の上、取付けてください。



ポイント

- 妻梁に乗せるようにして取付けてください。



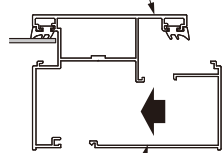
- ①取付枠 (桁側、躯体側ともに)、押縁 (躯体側) を端部柱、躯体方立に【40-2】で取付けてください。
- ②妻梁にセッティングブロック (H10) を取付けてください。

17. (つづき)

17-3 妻梁上部FIXパネルの取付け ※妻梁上部FIXパネルの場合の作業です。

【出幅10尺の場合】

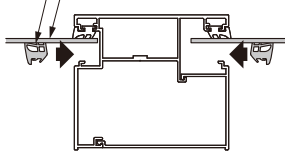
10尺用方立



方立カバー

後付ビード

FIXパネル



端部柱

押縁 (桁側)

押縁 (躯体側)

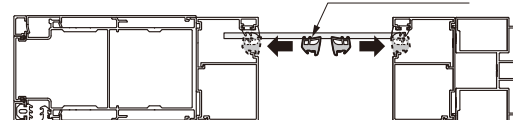
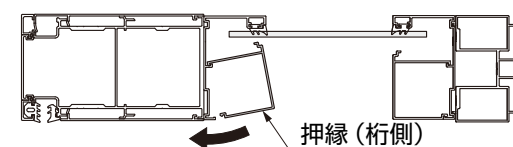
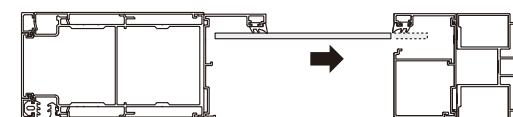
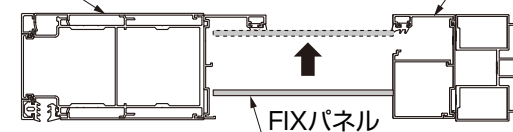
躯体方立

FIXパネル

後付けビード

端部柱

躯体方立



後付けビード

外側

内側

妻垂木化粧材

FIXパネル

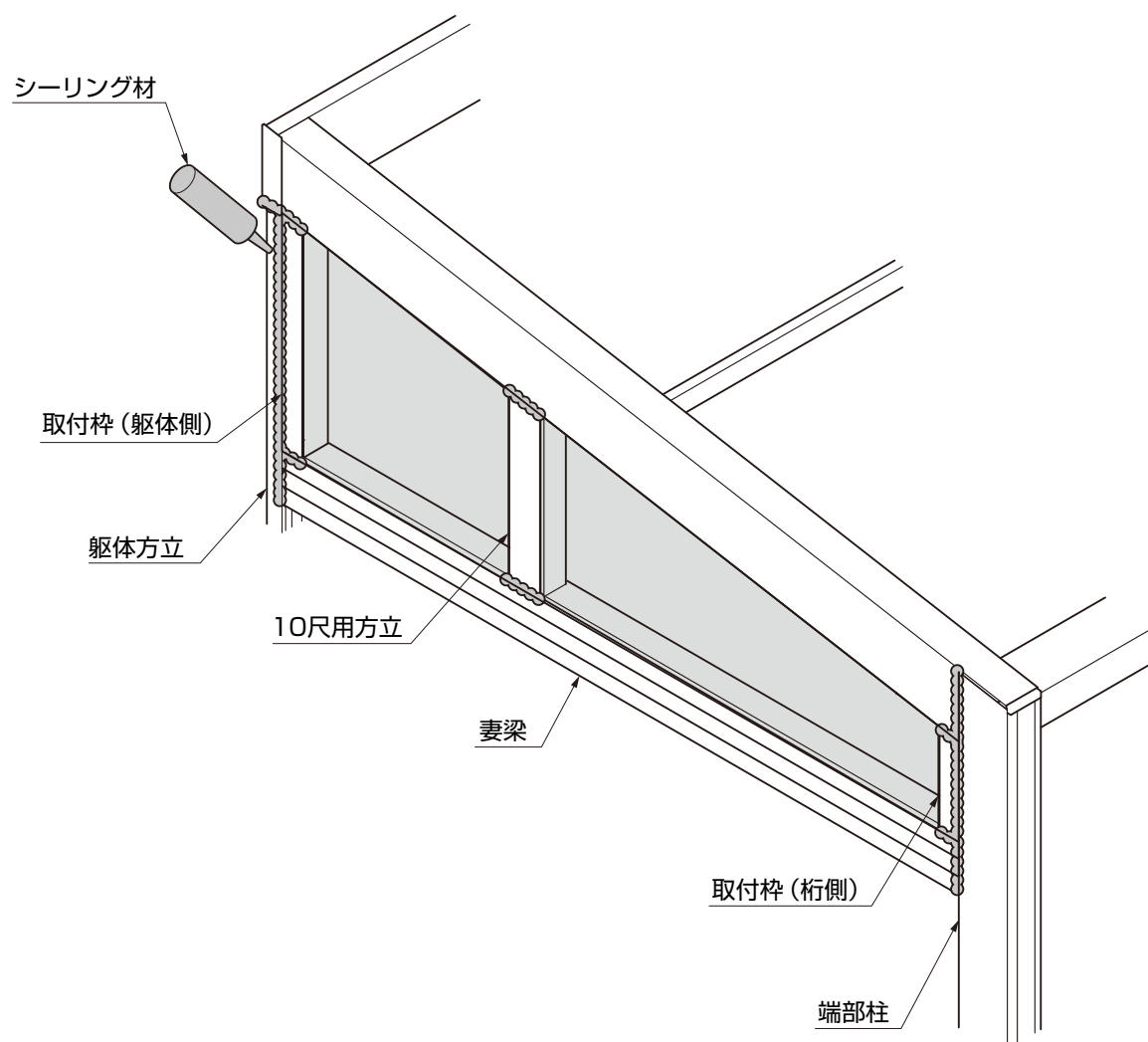
後付けビード

セッティング
ブロック

妻梁

- ①FIXパネルをけんどし妻垂木化粧材と妻梁の溝部に入れ、桁側、躯体側の取付枠に均等に掛かるようパネル位置を調整してください。
- ②押縁を取付枠に取付けてください。
- ③後付けビードをはめ込んでください。

17-4 シーリング処理



① 指定の箇所にシーリングをしてください。

14 腰壁部の取付け

1. 腰壁調整縦枠の取付け

※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
GR				

1-1 前面腰壁の場合

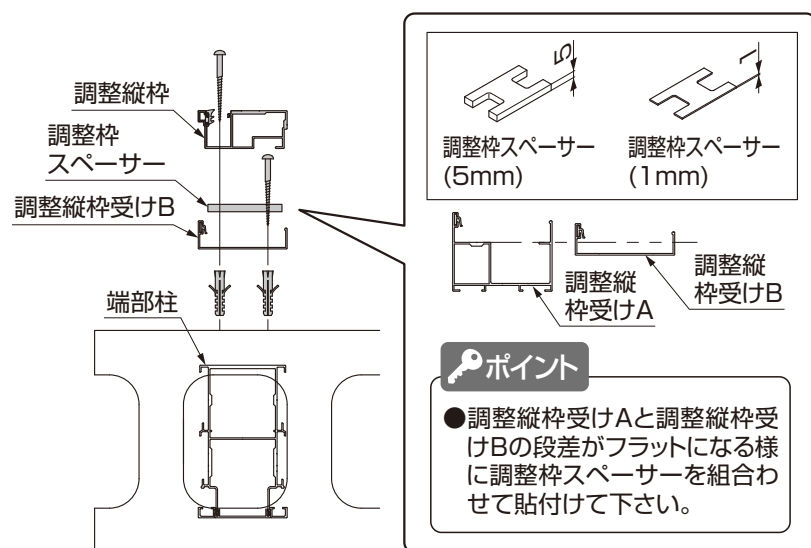
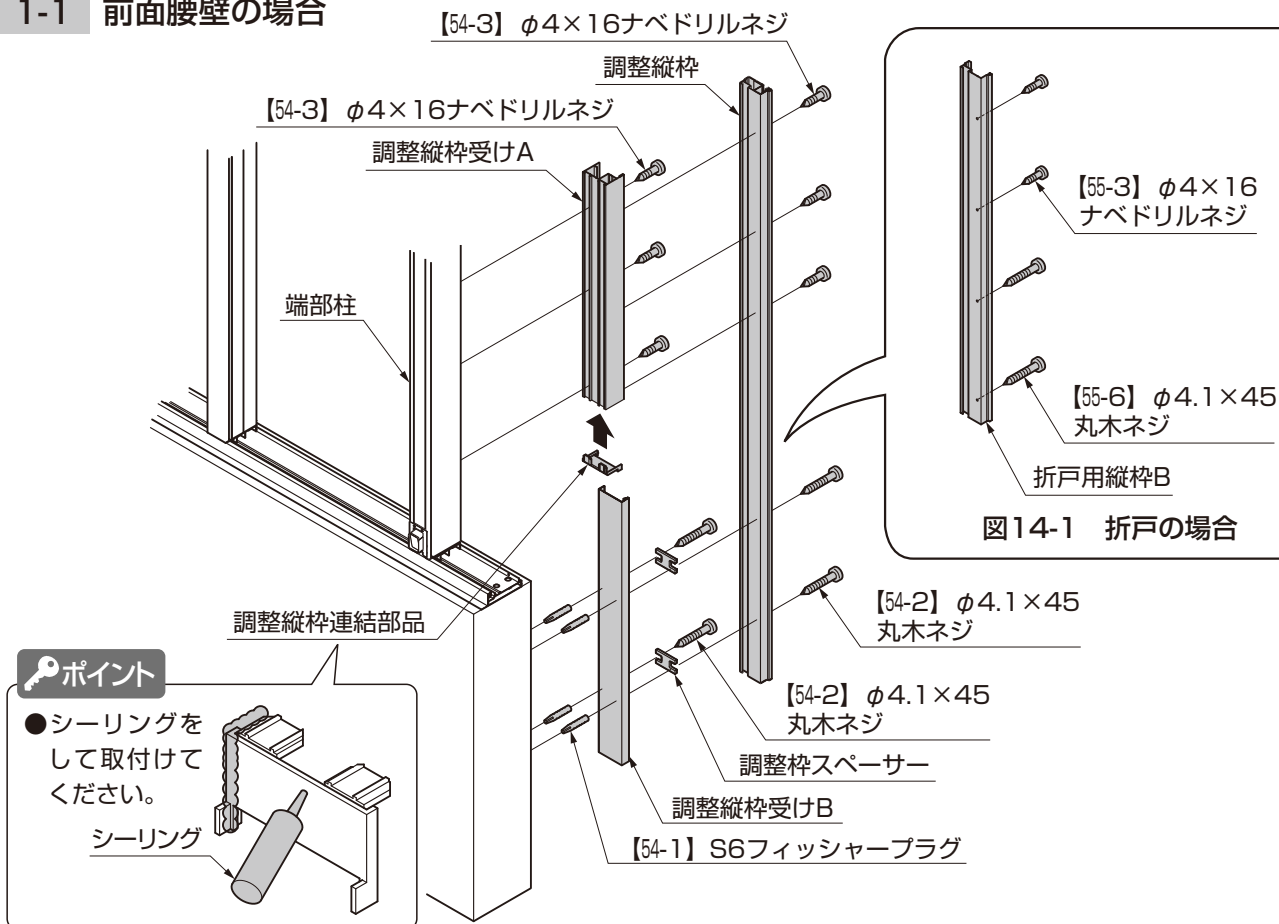


図14-2 笠木下部納まり

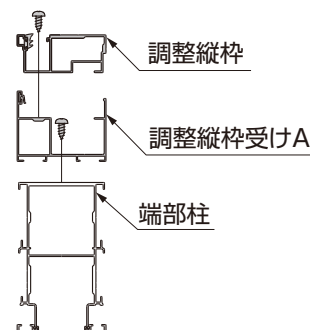


図14-3 笠木上部納まり

- ①調整縦枠連結部品を調整縦枠Aに取付けてください。
- ②調整縦枠受けAを端部柱に【54-3】で取付けてください。
- ③調整縦枠受けBを端部柱に【54-2】で取付けてください。
- ④調整縦枠を調整縦枠受けAに【54-3】で、調整縦枠受けBに【54-2】で取付けてください。

1-2 L字腰壁の場合

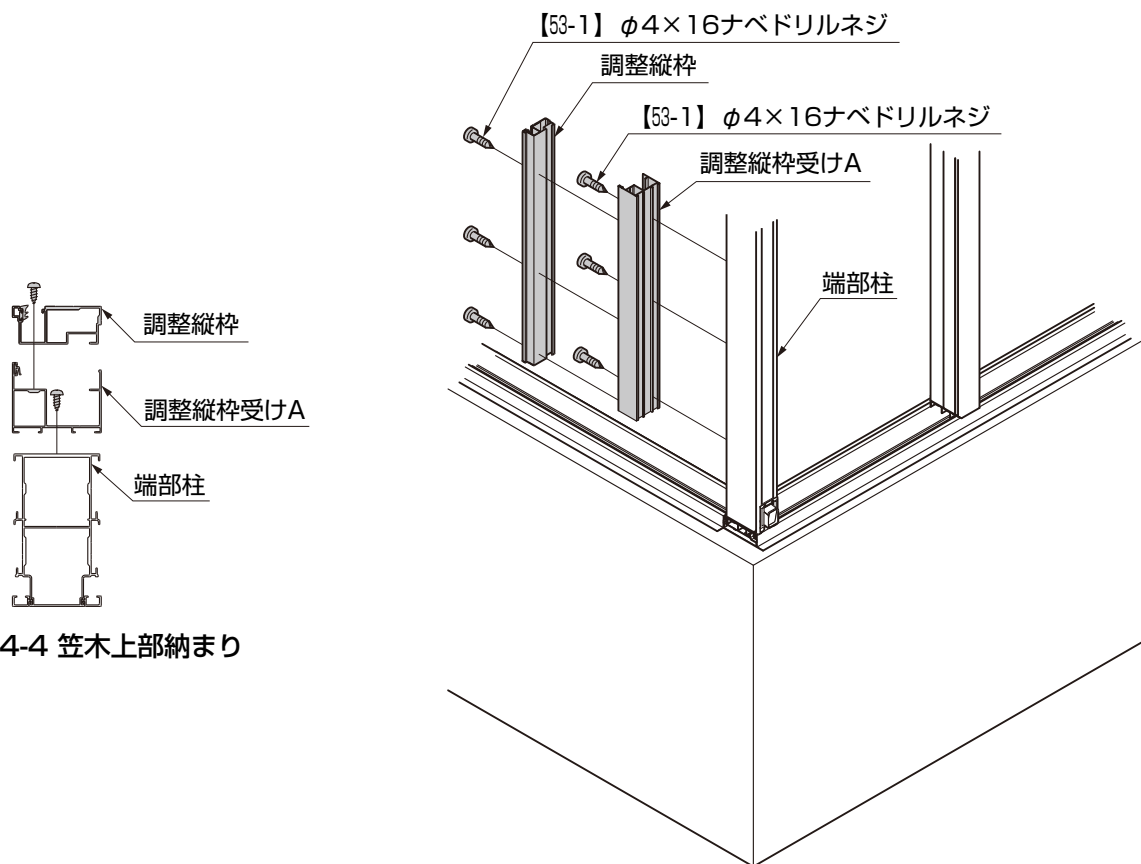


図14-4 笠木上部納まり

- ①調整縦枠受けAを端部柱に【53-1】で取付けてください。
- ②調整縦枠を調整縦枠受けAに【53-1】で取付けてください。

ポイント

●設置するタイプによって以下説明ページを参照してください。

2.前面腰壁の場合

P.112

3.L字腰壁の場合

P.116

4.柱カバーの取付け

P.124

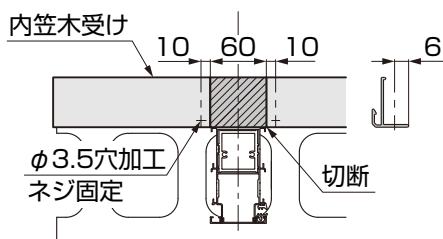
タイプ	腰壁	床	土間	地域
	 前			

2. 前面腰壁の場合

2-1 腰壁笠木受けの取付け ※部材を加工の際は、本ページの切断寸法を目安に各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

ポイント

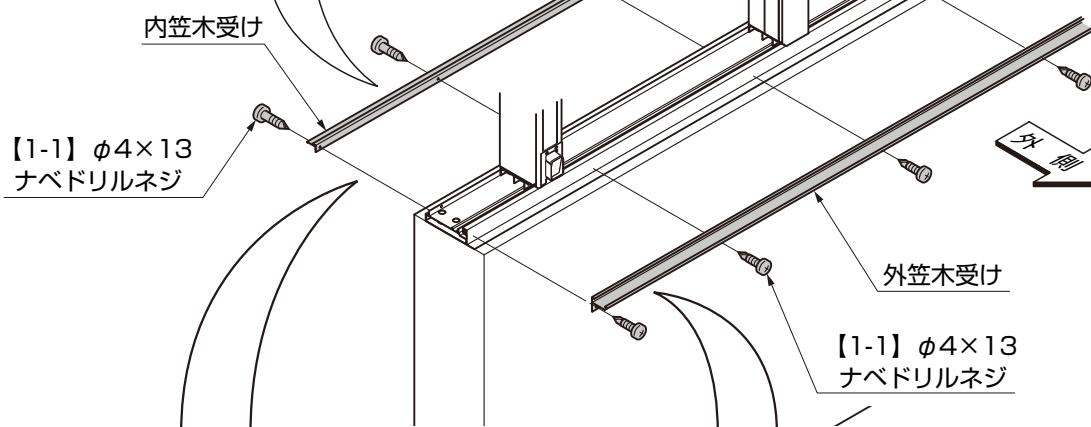
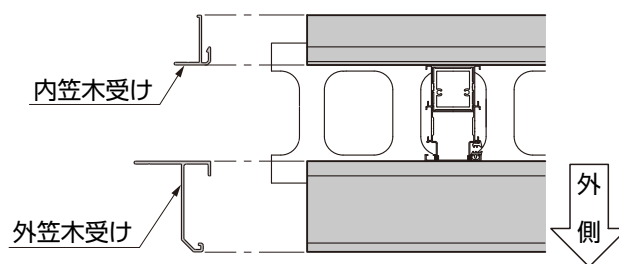
【ガーデンルームタイプの場合】



- 側面の開口が入る60mm分のすき間をあけて切断、穴加工し、調整縦枠を避けてネジ固定します。

ポイント

- 笠木受けは内外で部材が異なります。

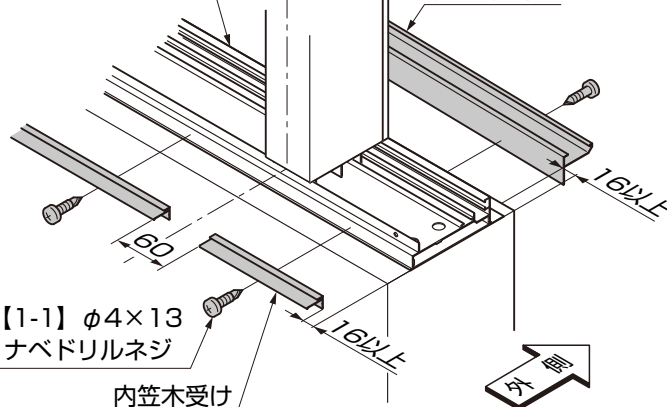


【1-1】φ4×13
ナベドリルネジ

【1-1】φ4×13
ナベドリルネジ

腰壁ベース材

外笠木受け



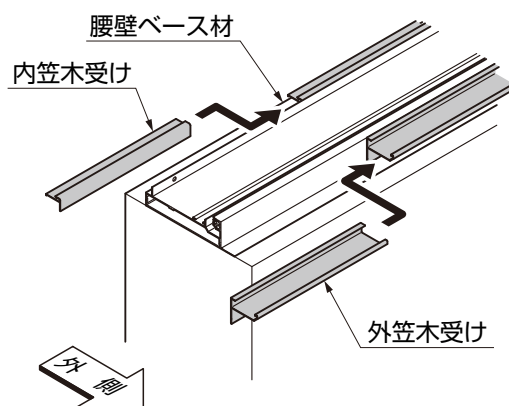
【1-1】φ4×13
ナベドリルネジ

内笠木受け

ポイント

- 笠木受けの端部は、腰壁ベース材の端部より16mm以上内側に取付くことを確認してください。

【連棟の場合】

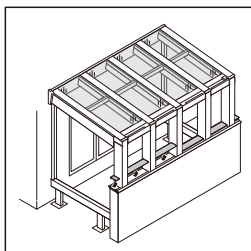


ポイント

- 部材を突き当ててネジ固定してください。

①笠木受けを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

2-2 腰壁笠木カバーの取付け



補足

- タイプにより、部材が異なります。右図を確認してください。

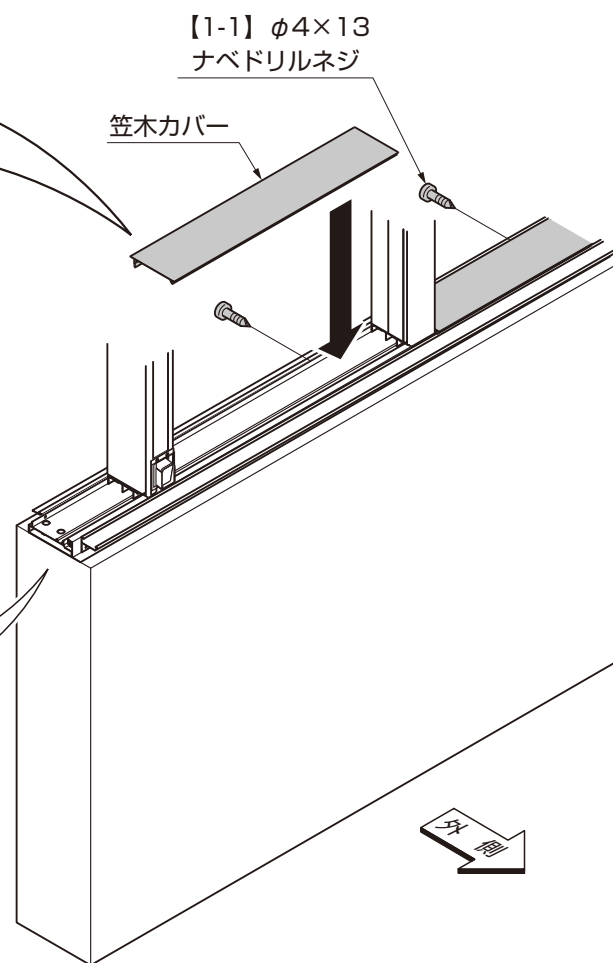
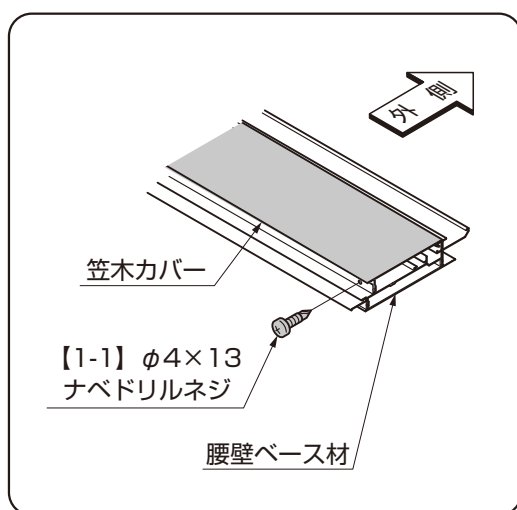
オープンテラスタイプ

ガーデンルームタイプ
サイドスルータイプ



【ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合】

- 「ココマII 開口部編 取付説明書 (E370)」で取付けを行ないます。



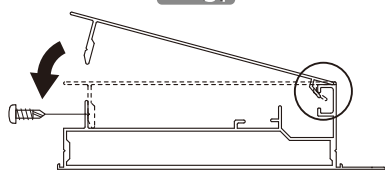
ポイント

- 端部の笠木カバーはまだ取付けないでください。

ポイント

- ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。

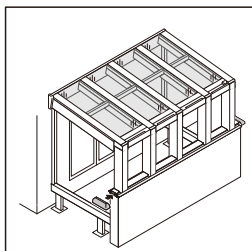
オープンテラスタイプ



①笠木カバーを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

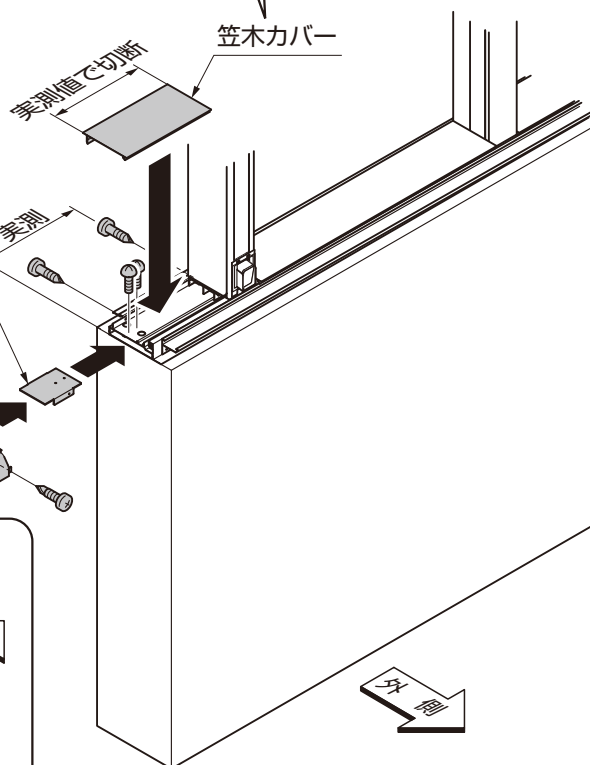
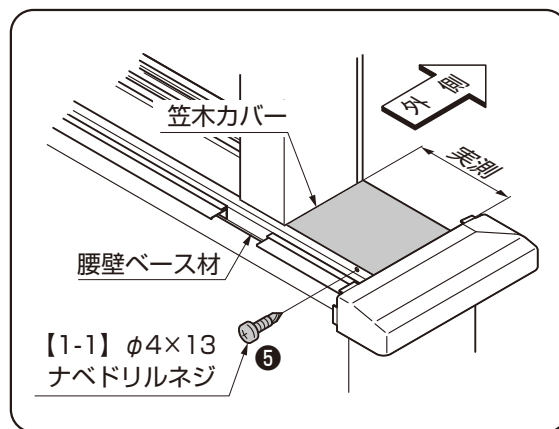
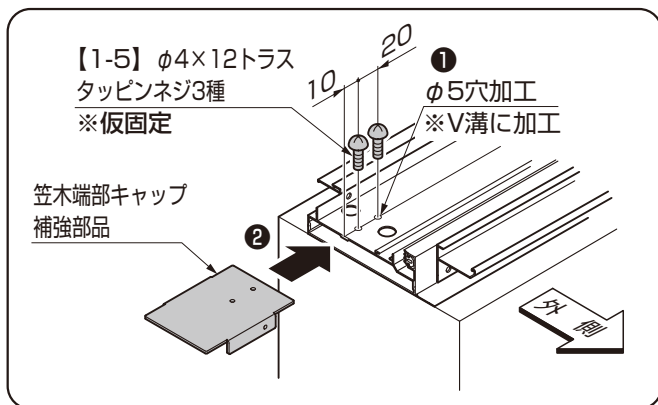
2. (つづき)

2-3 腰壁笠木端部キャップの取付け



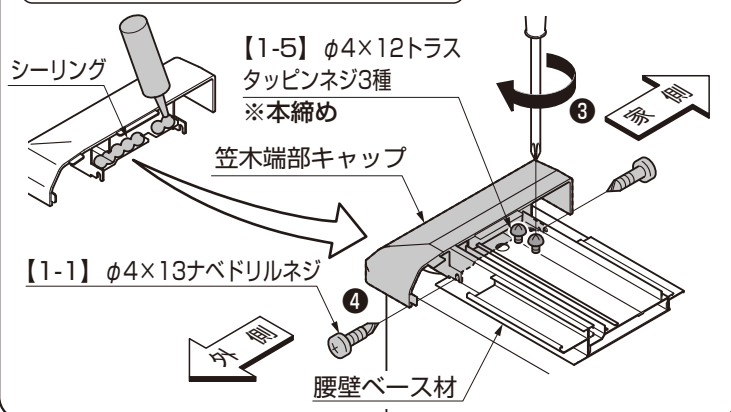
ポイント

- ネジの締めすぎに注意してください。



ポイント

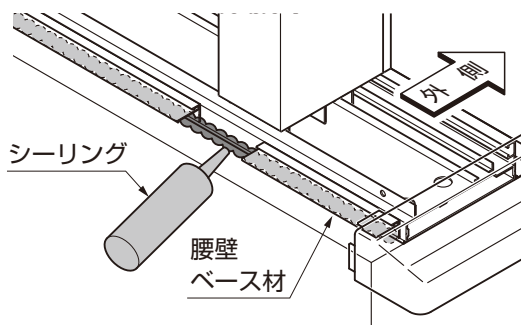
- 笠木端部キャップにシーリングをして、腰壁ベース材につき当てて取付けてください。



- ①腰壁ベース材にφ5の穴加工をしてください。
- ②笠木端部キャップ補強部品を腰壁ベース材に挿入し、【1-5】で仮固定してください。
- ③笠木端部キャップを腰壁ベース材に差込み、【1-5】を本締めしてください。
- ④笠木端部キャップを腰壁ベース材に【1-1】で固定してください。
- ⑤笠木カバーを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

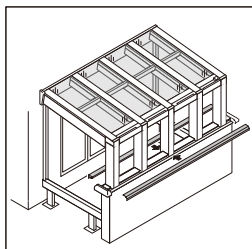
ポイント

- キャップ取付け後、指定の箇所には必ず雨水侵入防止のためのシーリングをしてください。



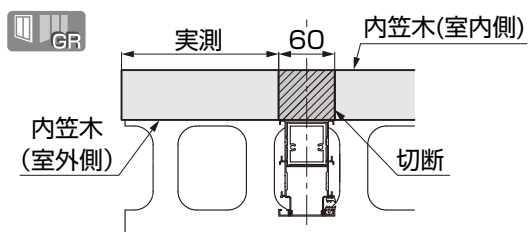
タイプ	腰壁	床	土間	地域
				

2-4 腰壁笠木の取付け



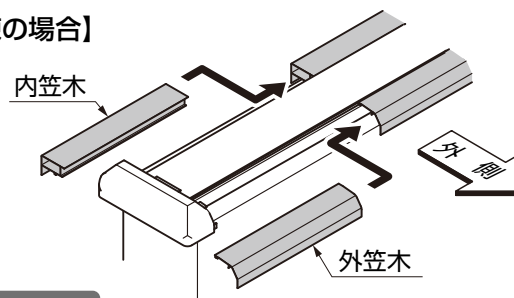
ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】



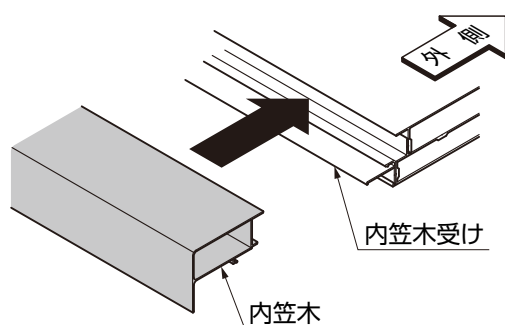
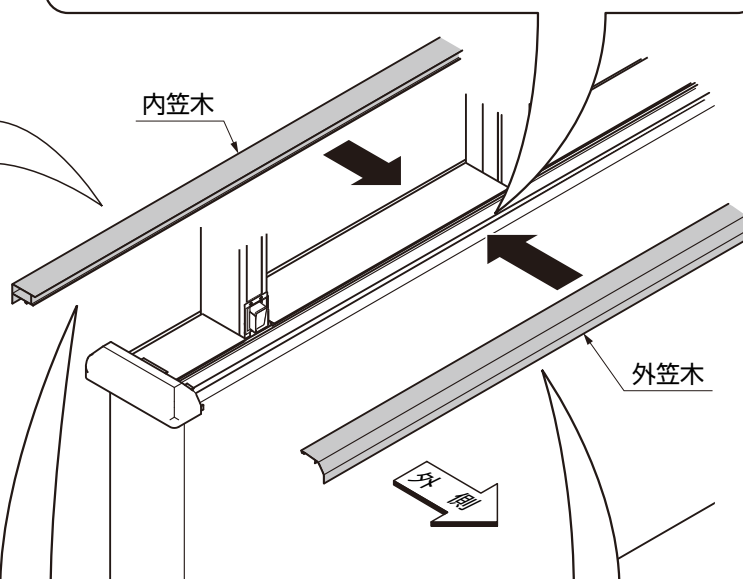
- 側面の開口が入る60mm分を切断して、室外側の内笠木を取付けます。
- 内笠木(室内側)は「ココマⅡ開口編取付け説明書(E370)」にて取付けを行います。
- 寸法を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。また、内笠木(室外側)は、ガタツキ防止のため内笠木受けにシーリング後、取付けてください。

【連棟の場合】



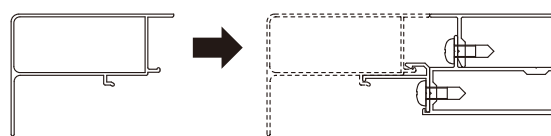
ポイント

- 部材をつき当てて固定してください。
- 笠木端部キャップ内々寸法を実測の上、実測値に合わせて切断加工・取付けをしてください。

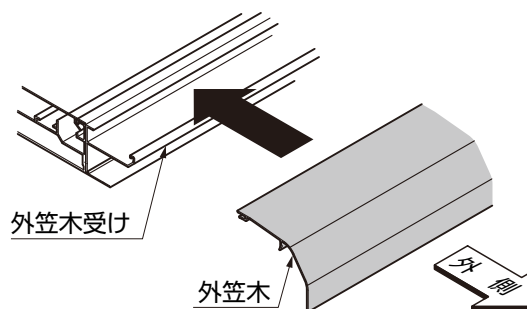


ポイント

- 内笠木受けに差し込むようにして取付けてください。

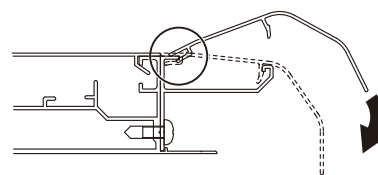


①笠木を笠木受けに取付けてください。



ポイント

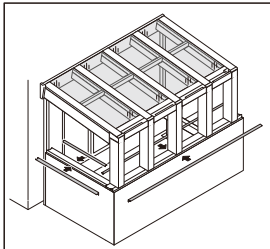
- 外笠木受けに引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



タイプ	腰壁	床	F.L	地域

3. L 字腰壁の場合

3-1 笠木受け材の取付け



ポイント

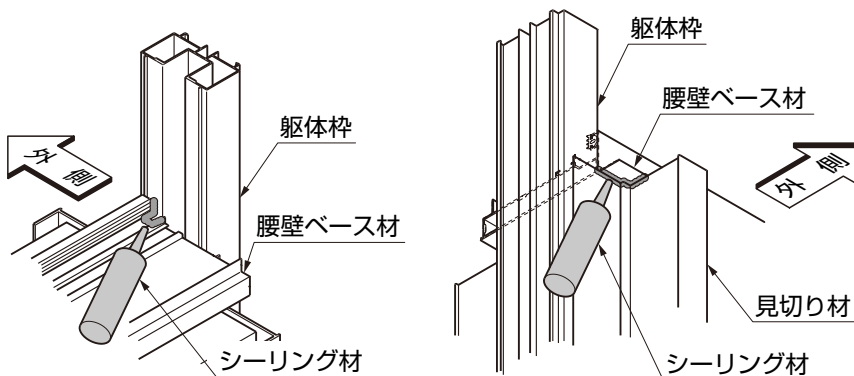
- L 字腰壁の取付け手順は、左側に L 字腰壁を施工する図を記載しています。
- 右側に L 字腰壁を施工する場合は左右対称になります。
- 取付説明書の図記号は下記の内容を示します。

L 字部 = 「L 字腰壁側」の内容

前面部 = 「前面腰壁側」の内容

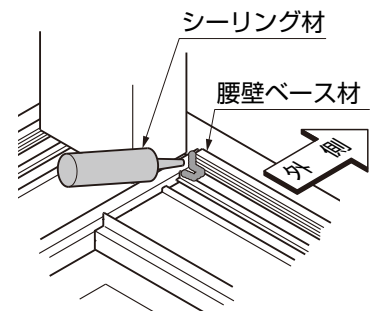
コーナー部 = 「コーナー部」の内容

共通 = 「L 字側腰壁」「前面腰壁側」共通の内容



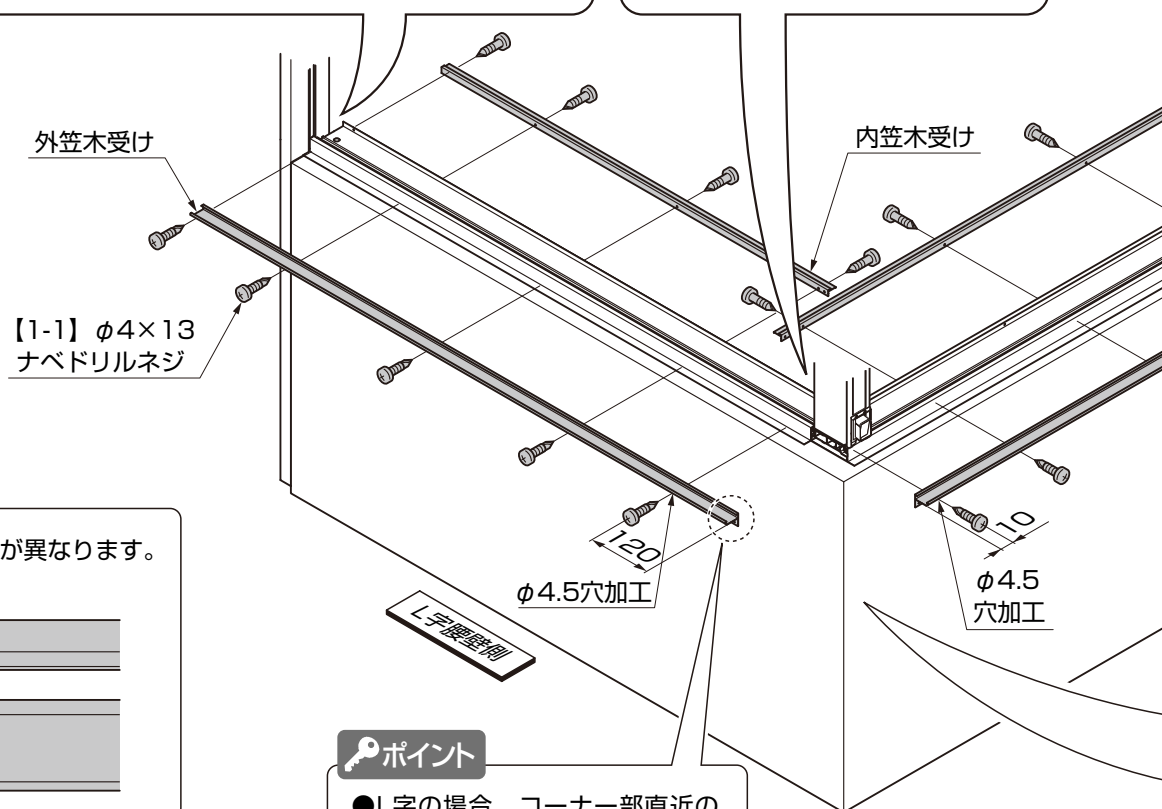
ポイント

- 腰壁ベース材と躯体方立の取合せ部にシーリングしてください。



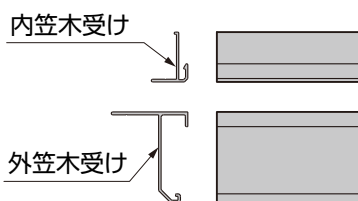
ポイント

- 腰壁ベース材と端部柱の取合せ部にシーリングしてください。



ポイント

- 笠木受けは内外で部材が異なります。

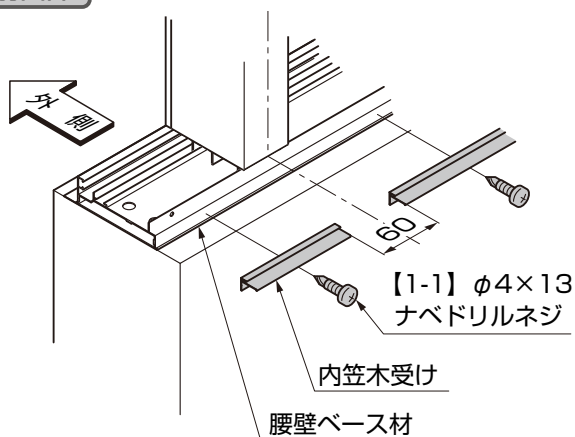


ポイント

- L 字の場合、コーナー部直近のネジは、固定しないでください。

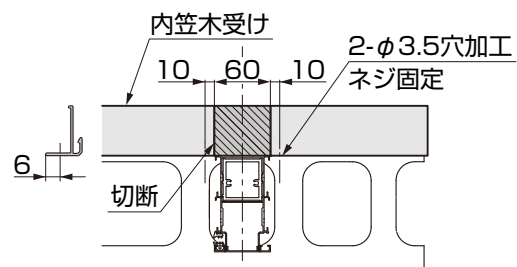
① 笠木受けを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

前面部



ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】



- 側面の開口が入る60mm分をすき間をあけて切断、穴加工し、調整縦枠を避けて取付けます。

【1-1】φ4×13
ナベドリルネジ

内笠木受け

外笠木受け

【1-1】φ4×13
ナベドリルネジ

【連棟の場合】

内笠木受け

外笠木受け

ポイント

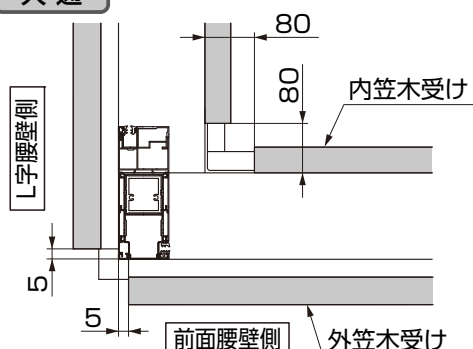
- 部材を突き当ててネジで固定してください。

ポイント

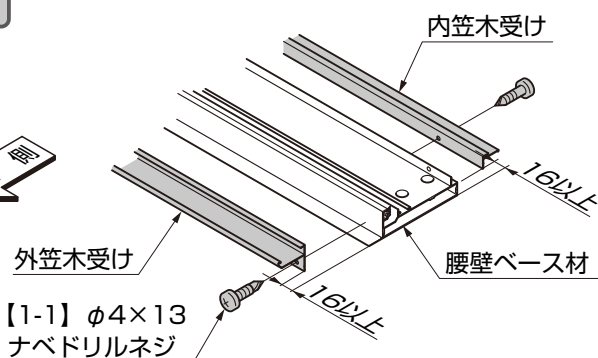
コーナー部

共通

- コーナー部は、下記のように取付けます。



前面部

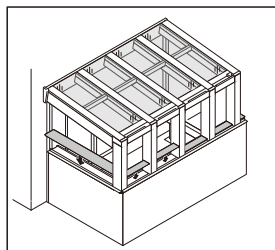


ポイント

- 笠木受けの端部は、腰壁ベース材の端部より16mm以上内側に取付くことを確認してください。

3. (つづき)

3-2 腰壁笠木カバーの取付け



補足

L字部

- タイプにより、部材が異なります。サイドスルータイプ オープンテラスタイプ ガーデンルームタイプ
右図を確認してください。



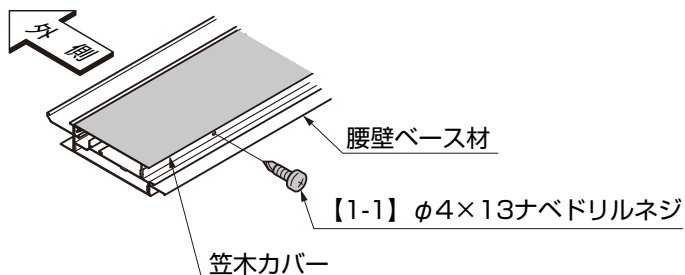
【ガーデンルームタイプの場合】

- 「ココマⅡ 開口部編 取付説明書 (E370)」で取付けを行ないます。



L字部

サイドスルータイプ オープンテラスタイプ



ガーデンルームタイプ



- 「ココマⅡ 開口部編 取付説明書 (E370)」で取付けを行ないます。
本手順では取付けを行なわないでください。

笠木カバーA

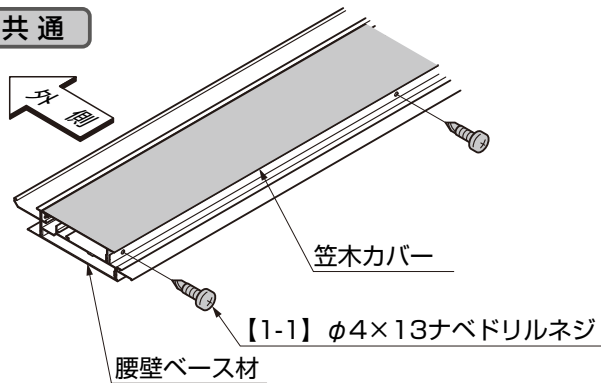


笠木カバー

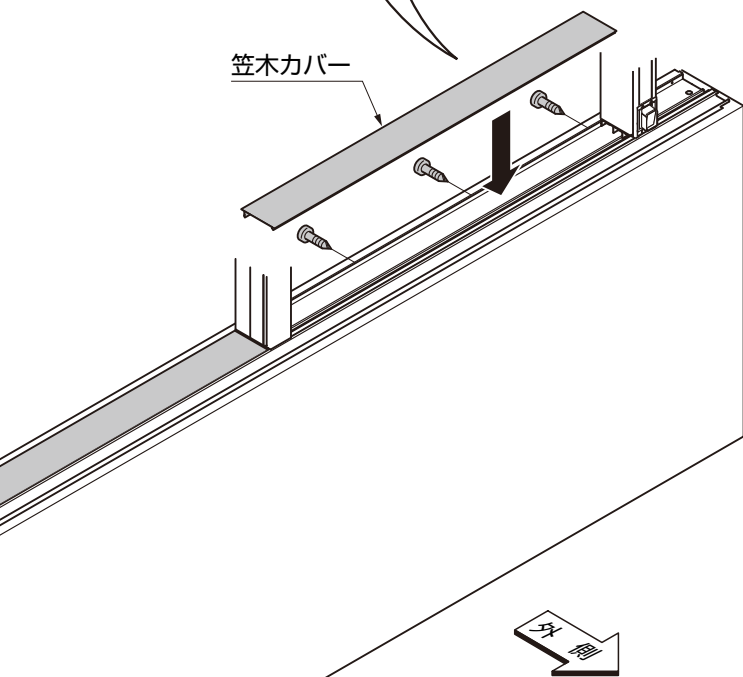


①笠木カバーを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

共通



笠木カバー



補足

前面部

●タイプにより、部材が異なります。下図を確認してください。

【ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合】

●「ココマⅡ 開口部編 取付説明書（E370）」で取付けを行います。

オープンテラスタイプ

ガーデンルームタイプ
サイドスルータイプ

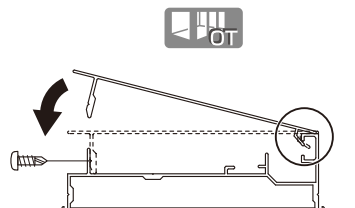


ポイント

共通

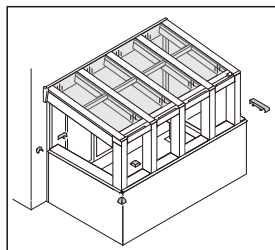
●ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。

オープンテラスタイプ



3. (つづき)

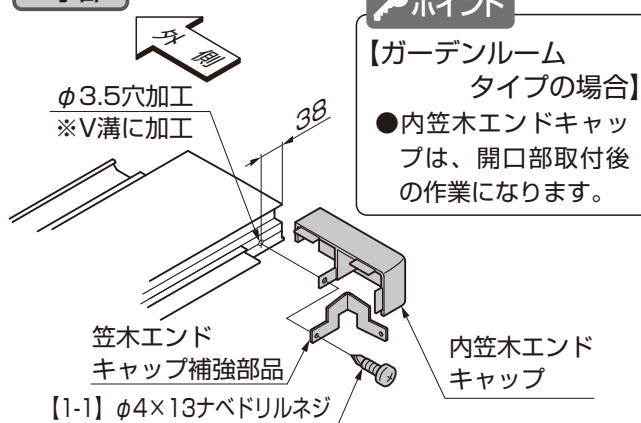
3-3 キャップ類の取付け



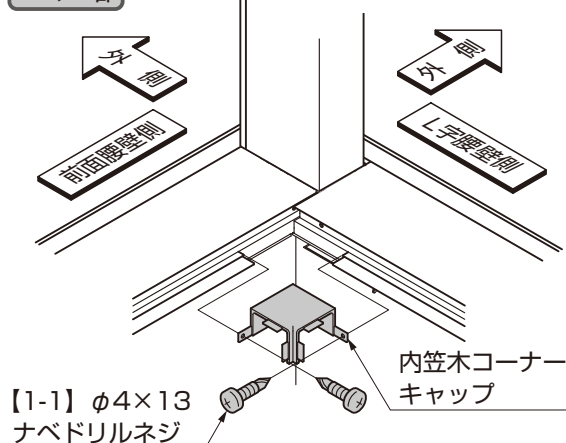
ポイント

- ネジの締めすぎに注意してください。

L字部



コーナー部



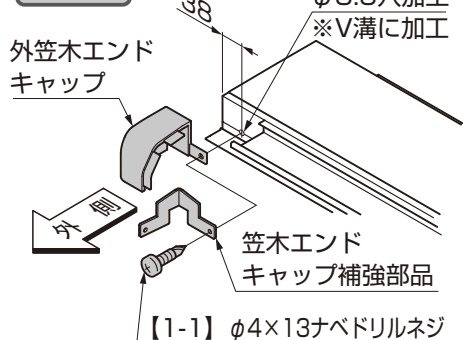
ポイント

- ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプでは、内笠木コーナーキャップは開口部取付け後の作業になります。

14

腰壁笠木の取付け

L字部



【笠木エンドキャップの取付け】

- ①腰壁ベース材にφ3.5の穴加工をし、笠木エンドキャップと笠木エンドキャップ補強材を【1-1】で取付けてください。

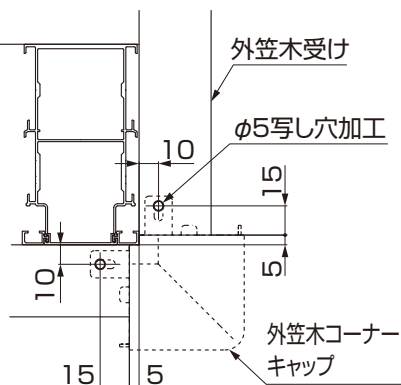
【笠木コーナーキャップの取付け】

- ①内笠木コーナーキャップを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。
- ②外笠木コーナーキャップを外笠木受けに当てがい、φ5の写し穴加工をしてください。
- ③外笠木コーナーキャップと笠木コーナーキャップ補強部品を外笠木受けに【1-5】で取付けてください。

コーナー部

ポイント

- 外笠木コーナーキャップを当てて、穴加工位置を出してください。



【1-5】φ4×12トラス
タッピンネジ3種

外笠木コーナー
キャップ

φ5写し穴加工
笠木端部キャップ
補強部品

外笠木受け

前面部

① φ5穴加工
※V溝に加工

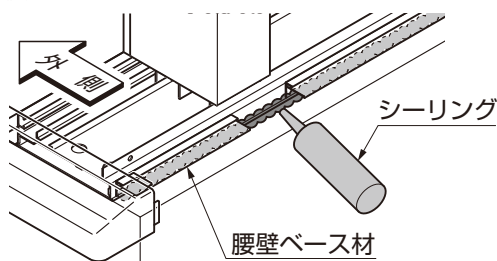
【1-5】φ4×12トラス
タッピンネジ3種
※仮固定

笠木端部キャップ
補強部品

腰壁ベース材

ポイント

- キャップ取付け後、指定の箇所には必ず雨水侵入防止のためのシーリングをしてください。

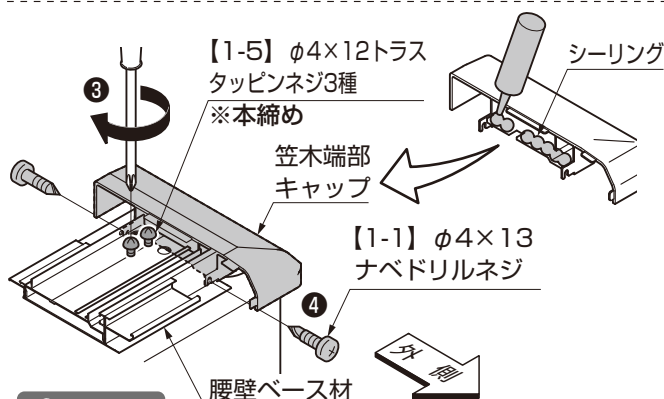


【笠木端部キャップの取付け】

- ①腰壁ベース材にφ5の穴加工をしてください。
- ②笠木端部キャップ補強部品を腰壁ベース材に挿入し、【1-5】で仮固定してください。
- ③笠木端部キャップを腰壁ベース材に差込み、【1-5】を本締めしてください。
- ④笠木端部キャップを腰壁ベース材に【1-1】で固定してください。
- ⑤笠木カバーを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

ポイント

- 笠木端部キャップにシーリングをして、腰壁ベース材につき当てて取付けてください。



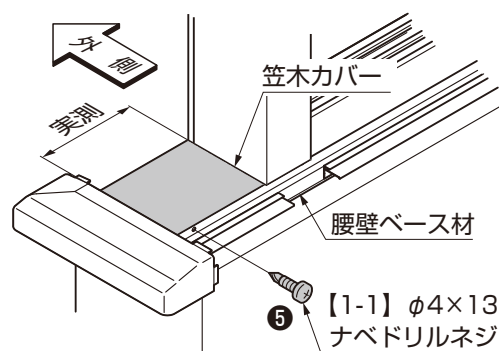
【1-5】φ4×12トラス
タッピンネジ3種
※本締め

笠木端部
キャップ

【1-1】φ4×13
ナベドリルネジ

腰壁ベース材

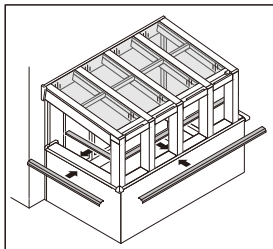
シーリング



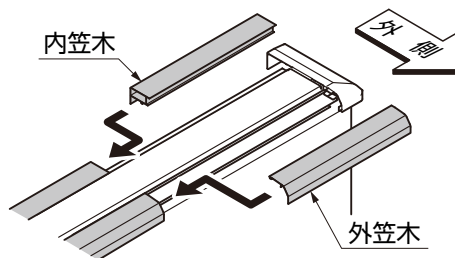
【1-1】φ4×13
ナベドリルネジ

3. (つづき)

3-4 笠木の取付け



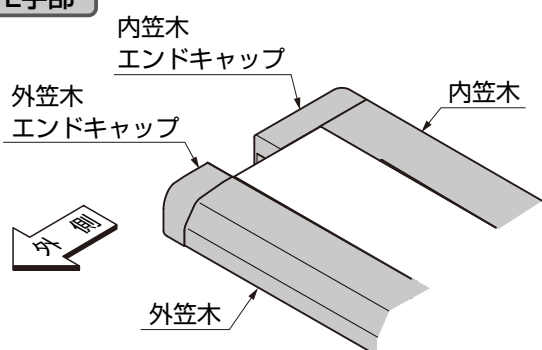
【連棟の場合】



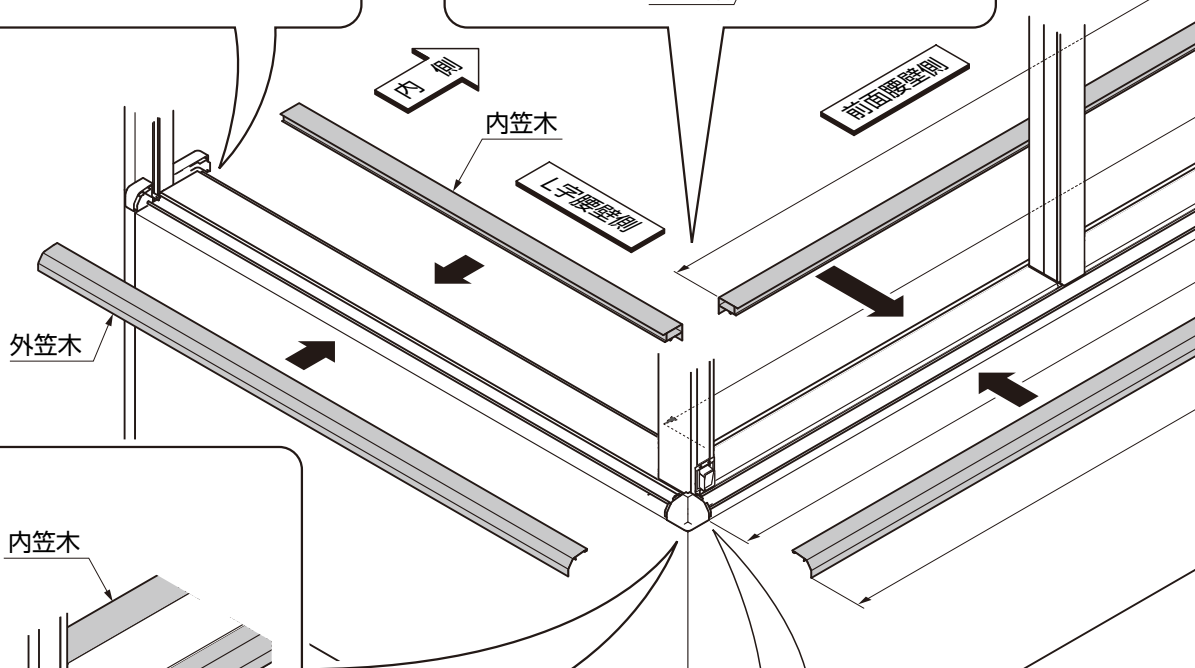
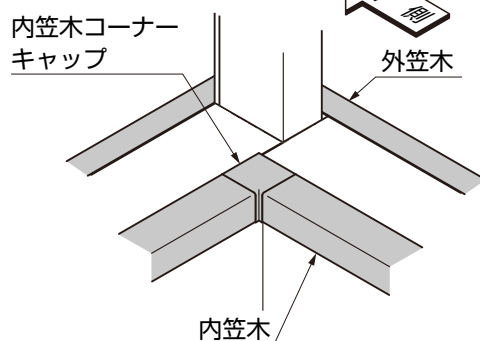
ポイント

●部材を突き当てて固定してください。

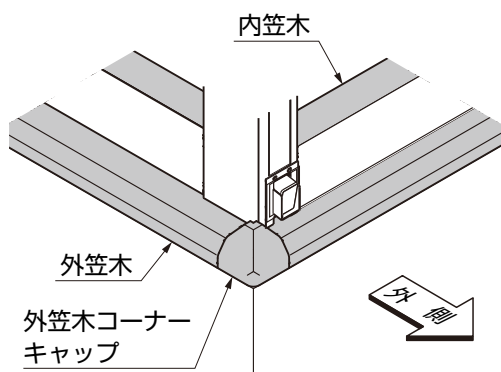
L字部



コーナー部

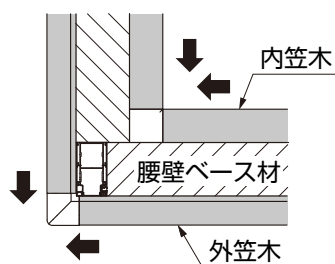


コーナー部



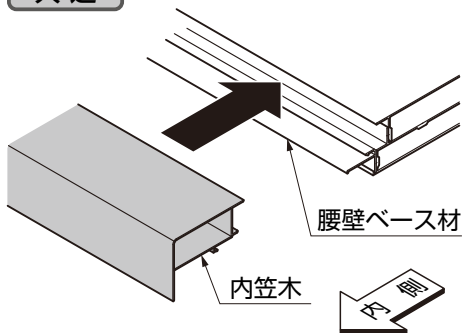
ポイント

●笠木はコーナー部に寄せて固定してください。



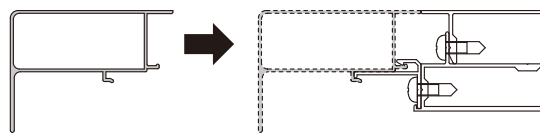
①笠木を笠木受けに取付けてください。

共通



ポイント

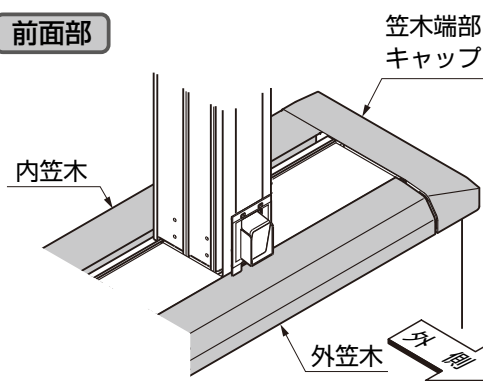
- 内笠木受けに差し込むようにして取付けてください。



【ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合】

- 「ココマⅡ開口編取付け説明書(E370)」にて取付けを行います。本手順では取付けを行わないでください。

前面部



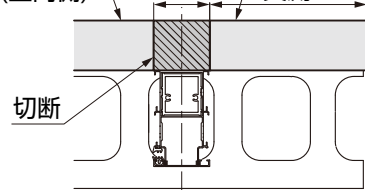
ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】



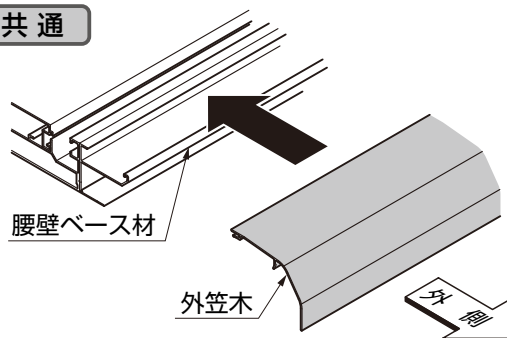
内笠木
(室内側)

内笠木
(室外側)
実測



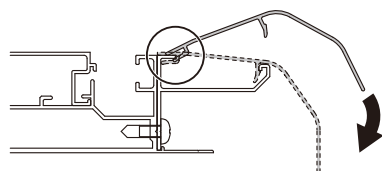
- 側面の開口が入る60mm分を切断して、室外側の内笠木を取付けます。
- 寸法を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。また、端部の内笠木は、ガツキ防止のため内笠木受けにシーリング後、取付けてください。

共通



ポイント

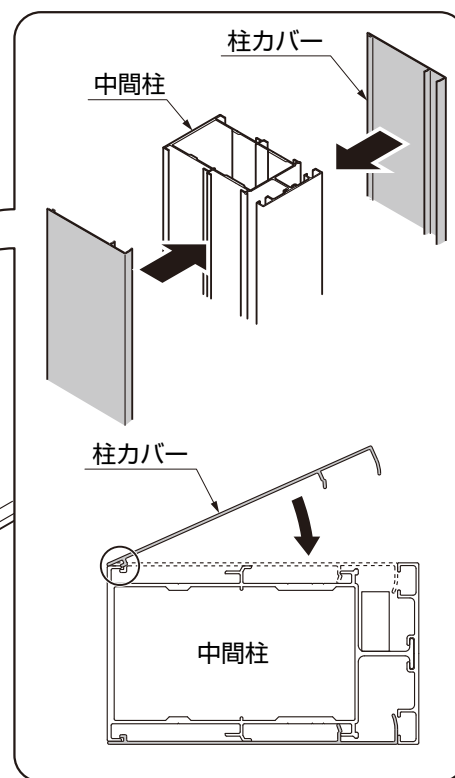
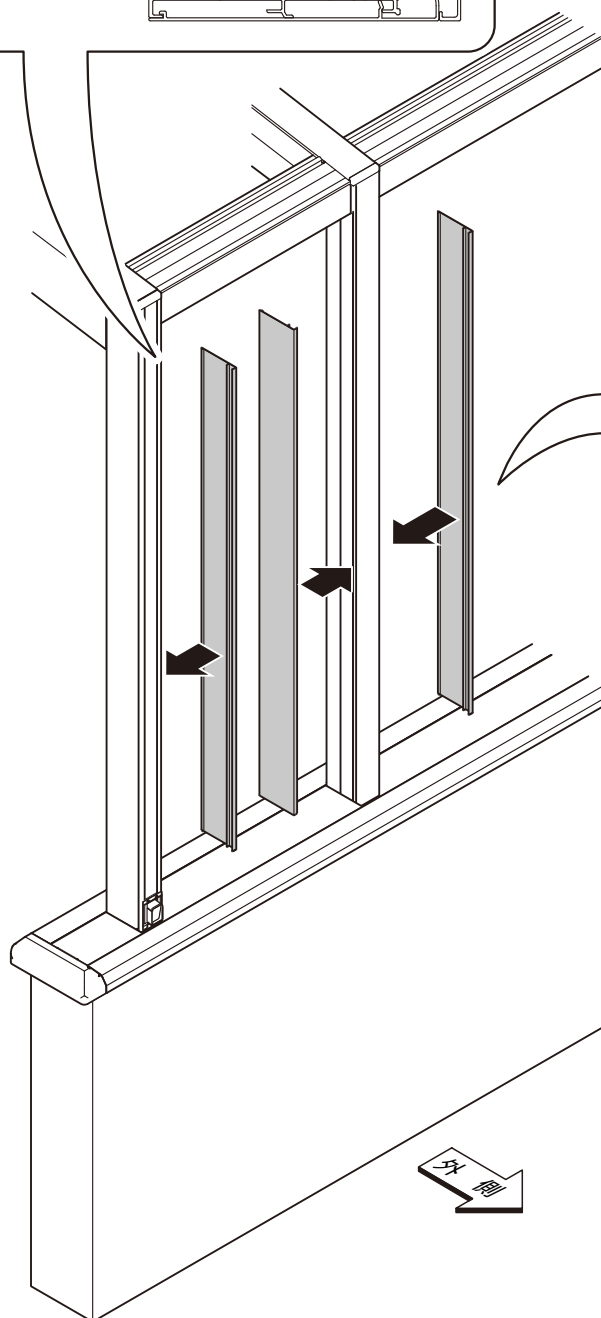
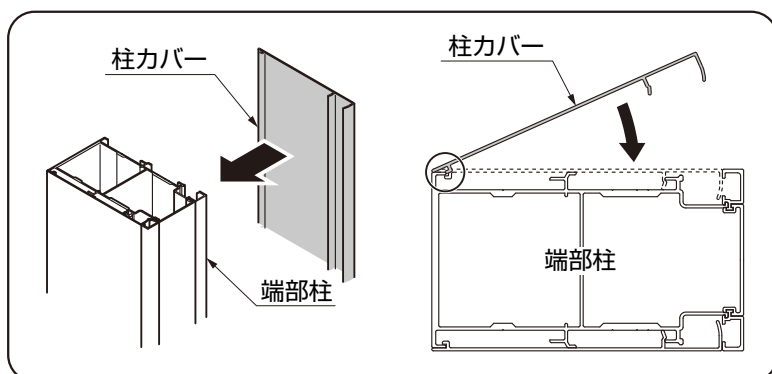
- ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



4. 柱カバーの取付け

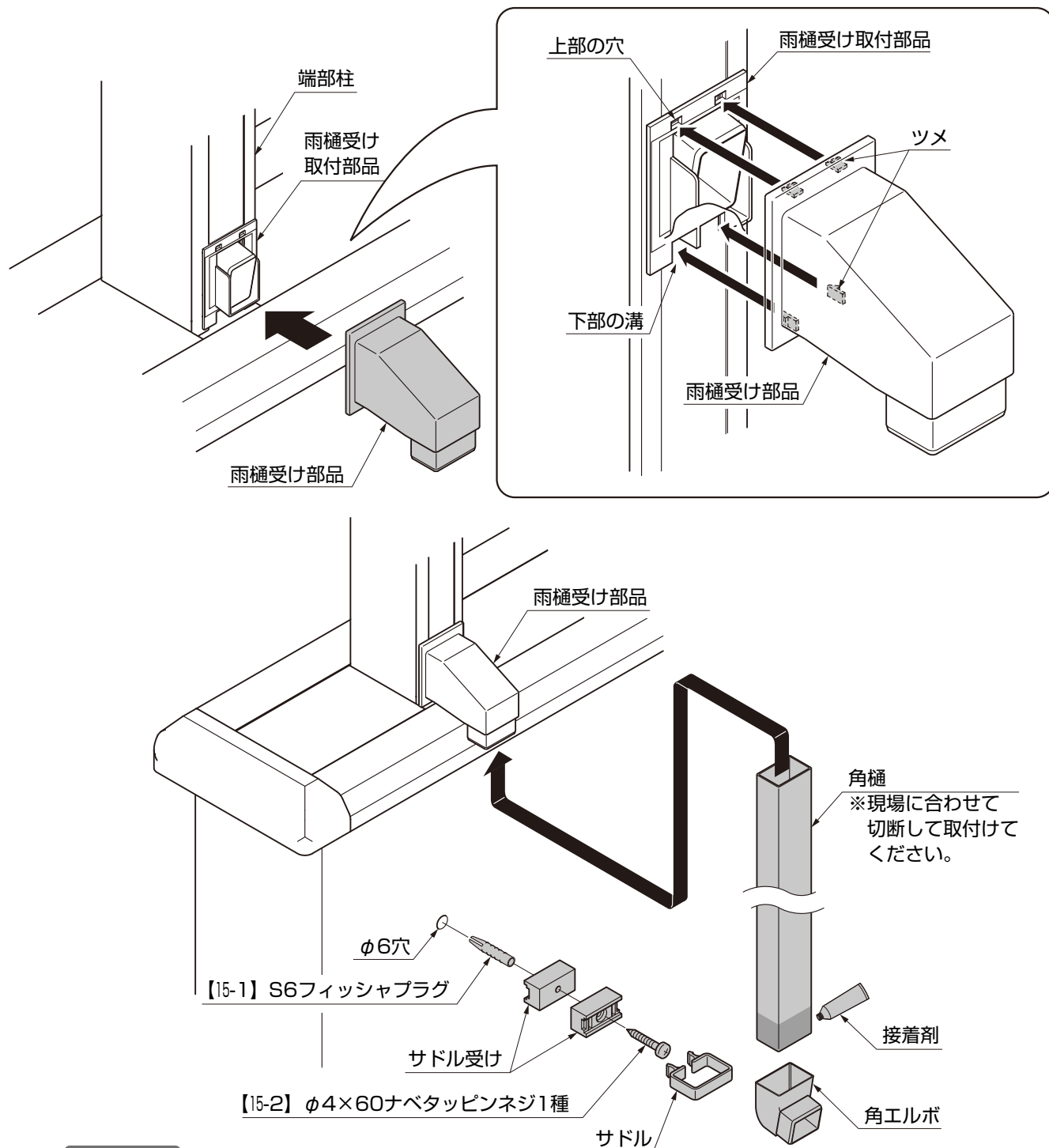
※オープンテラスタイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
 OT				



①柱に柱カバーをはめ込んでください。

5. 雨樋受け部品の取付け

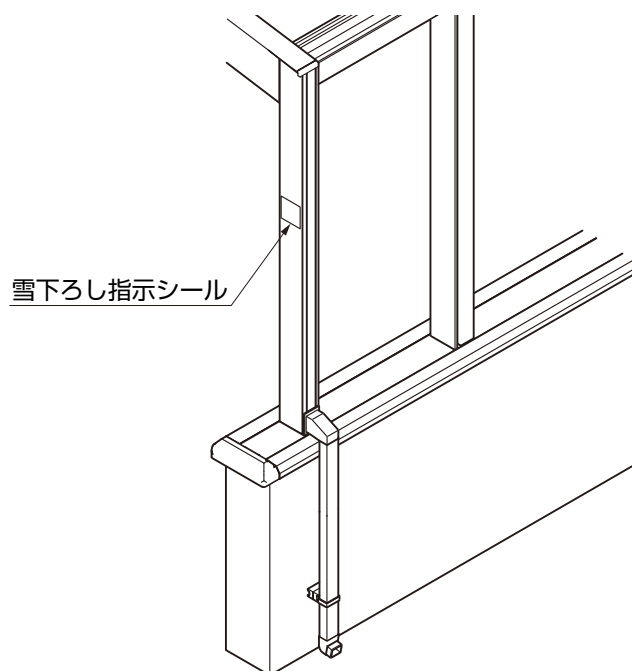


ポイント

- 「φ4×60ナベタッピンネジ1種」を固定する際は、腰壁の強度を確認してください。
- 清掃時に取外す必要があるため雨樋受け部品の下側は接着しないでください。
- 壁面を仕上げた後に雨樋部品を取付ける場合、仕上げの厚さにより、必要に応じてスペーサーなどを現場手配し、サドル受けと共締めしてください。

- ①雨樋受け部品のツメを雨樋受け取付部品の上部の穴、下部の溝に入れて取付けてください。
- ②腰壁にφ6の下穴をあけてください。
- ③サドル、サドル受けを腰壁に【15-1】【15-2】で取付けてください。
- ④角エルボを角樋に接着剤で取付け、雨樋受け部品に取付けてください。

6. 雪下ろし指示シールの貼付け

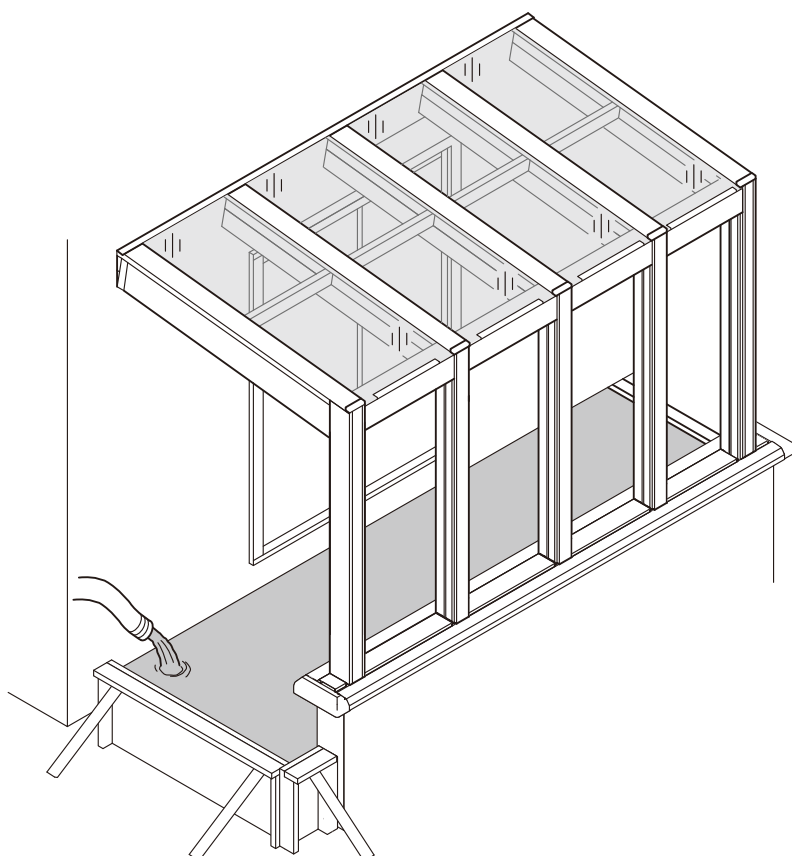


①端部柱の側面（目線高さ位置）に雪下ろし指示シールを貼付けてください。

7. コンクリートの流し込み

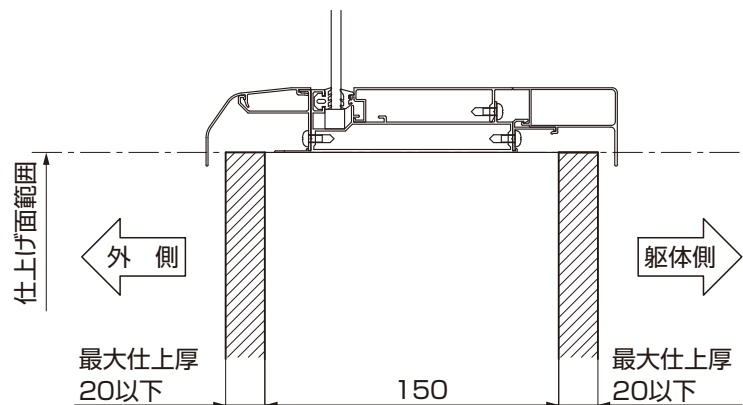
※土間仕様の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
		 土間		



①土間を打設してください。

8. コンクリートブロックの表面仕上げ ※本体施工完了後でも仕上げ可能です。



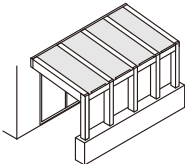
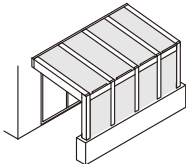
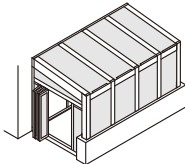
ポイント

- コンクリートブロック自体の防水のため、必ずタイルまたは塗りにて仕上げをしてください。

9. 施工の後に

ポイント

- 本取付説明書での施工が完了したら、次の工程を確認して、参照する取付説明書の施工を行ってください。

タイプ	オープンテラスタイプ 	サイドスルータイプ 	ガーデンルームタイプ 
略図			
参照 取付説明書	↓ 【施工終了】 ●本ページにて施工は終了になります。	↓ ココマⅡ 開口部編 取付説明書 (E370) ↓ 【施工終了】 ●引き続き「開口部」の施工を行ってください。	

